
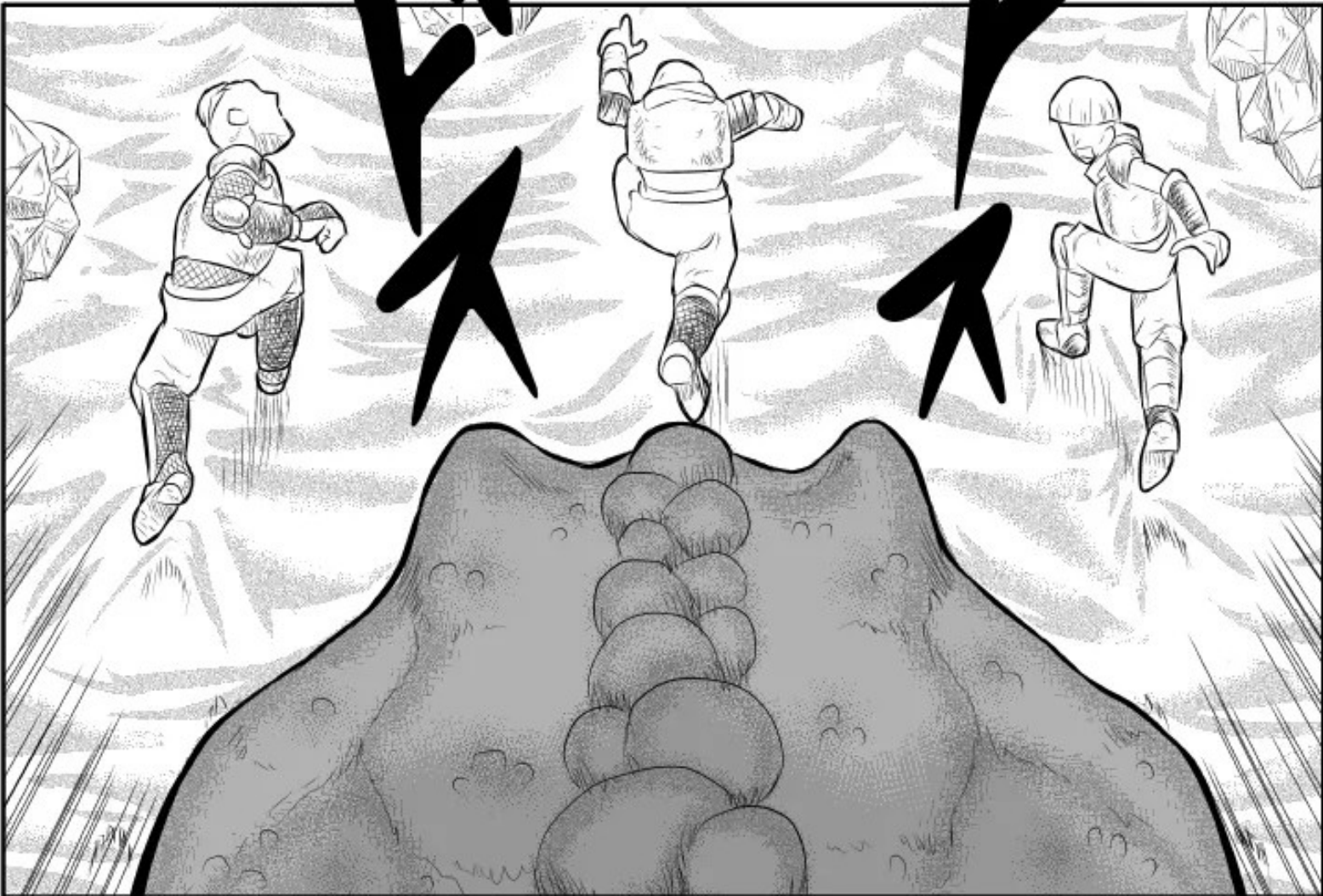
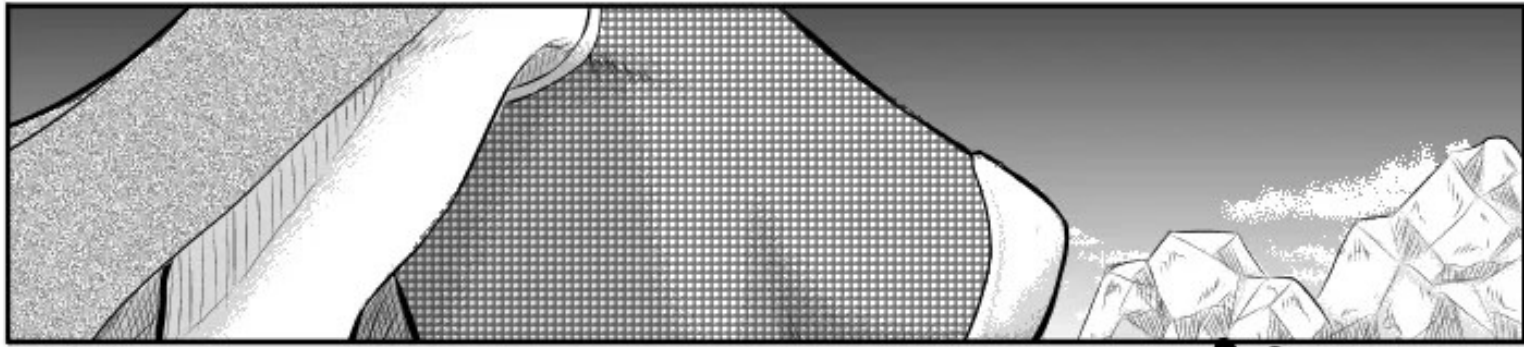


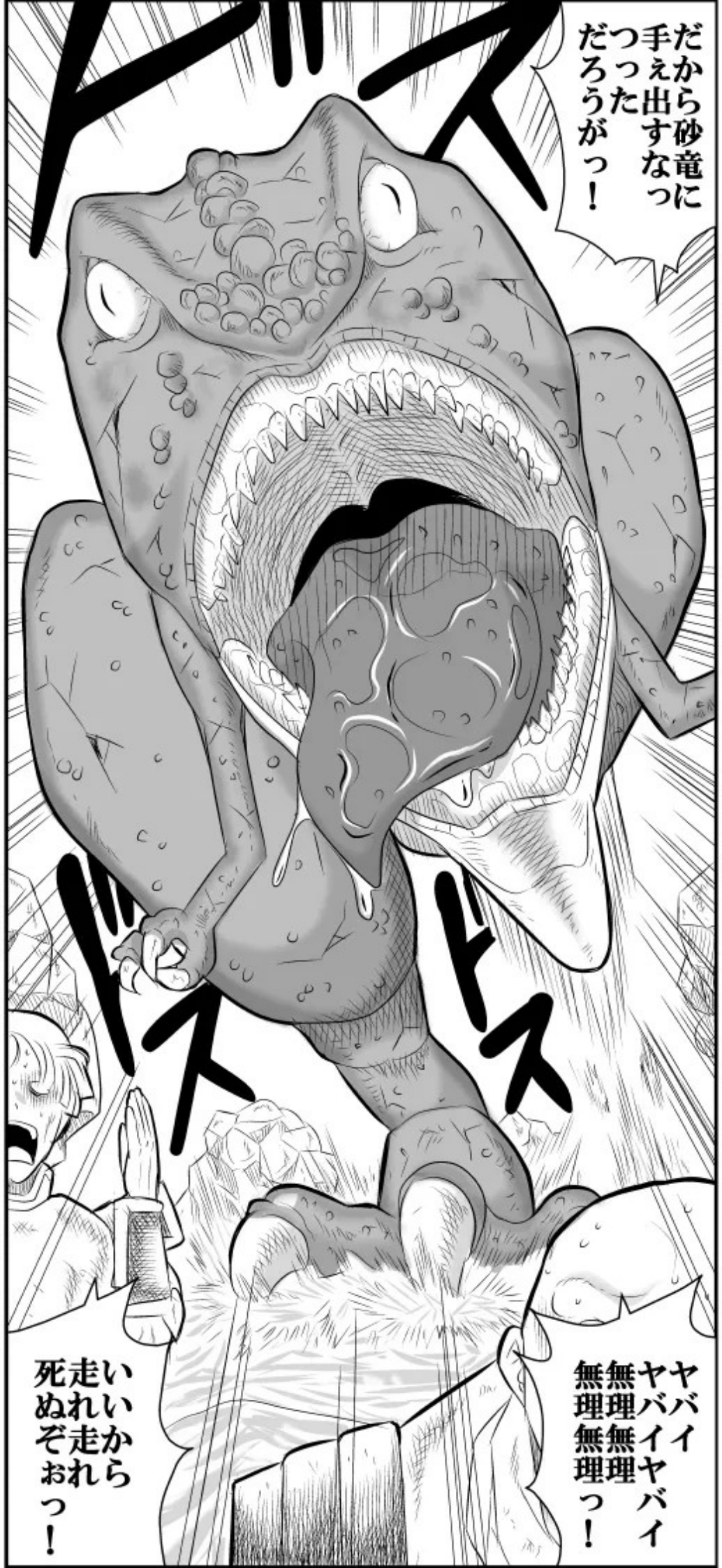
成年向

だまされ
美剣士 30  総集編

だまされ美剣士コロナ総集編



だから砂竜に
手え出すなつ
つたがっ！
だろがっ！



ス
ス
ス
ス

ヤバイヤバイ
無理無理
無理無理っ！

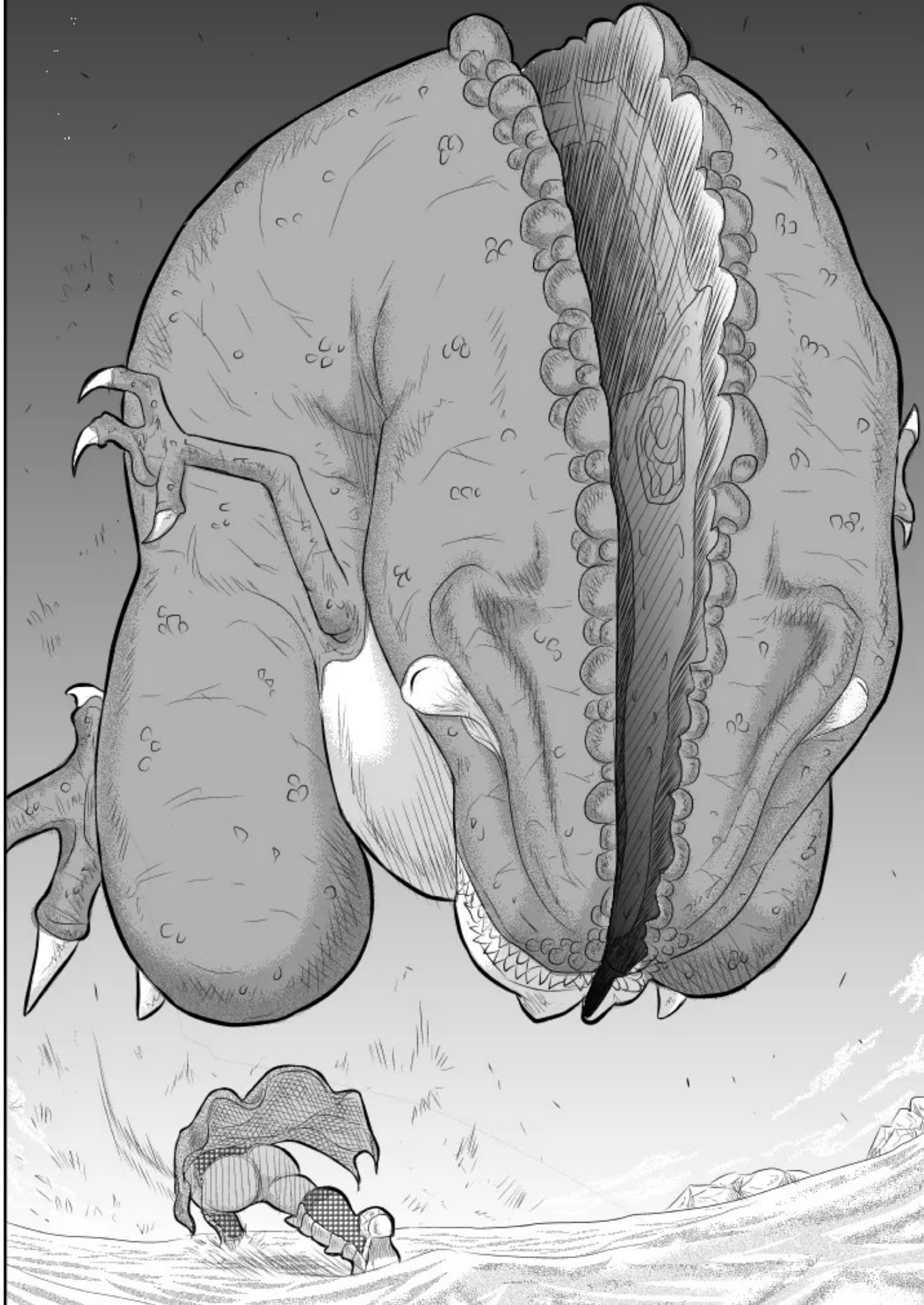
いれから
走れ走れ
死ぬぞおっ！

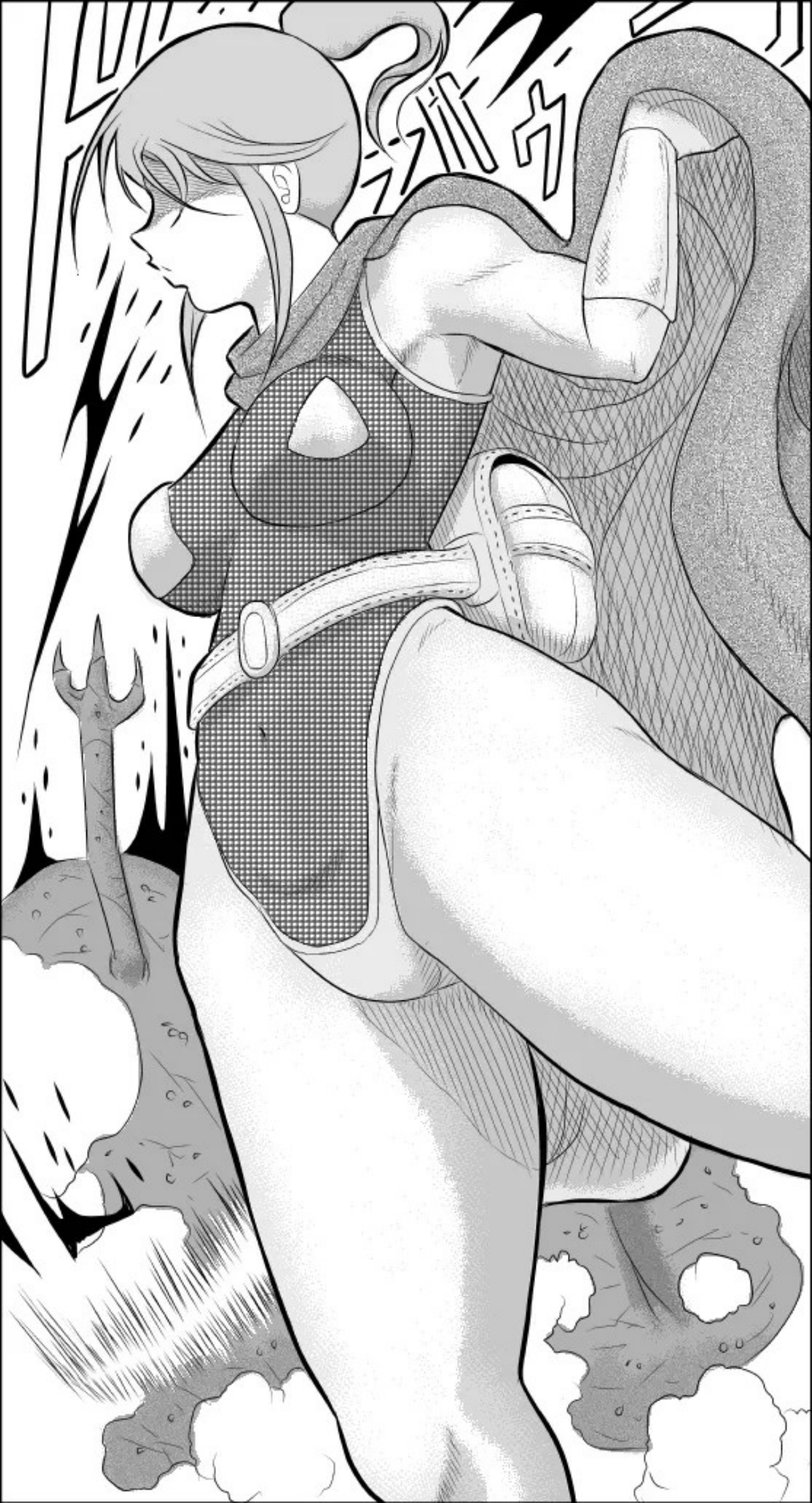
…？
人…？



おおいお！
逃げろお…











紅のコロナか……



大丈夫か？

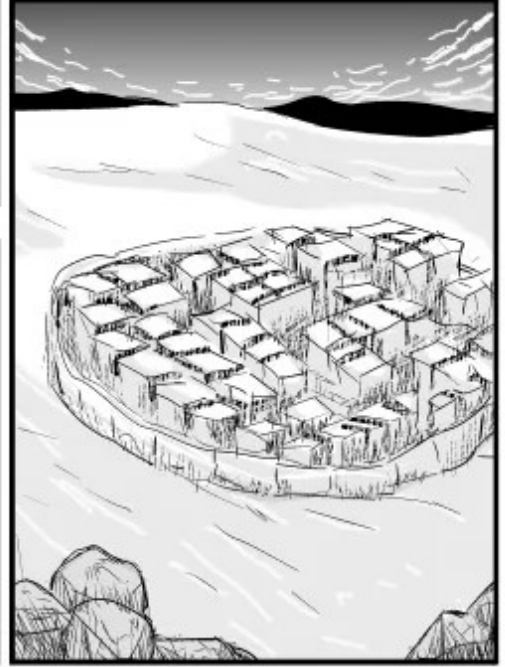
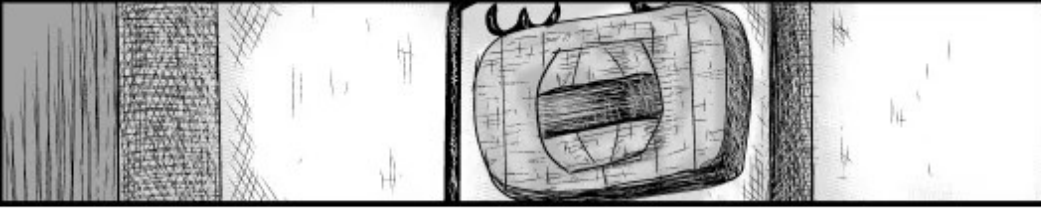


あ……ああ
すまねえ
命拾いました



燃えるような赤毛に
竜骨刃の長剣……

あ……
あんた……
辺境一の剣士



ありがとうございます
コ罗纳の姉さんっ！

あんなに
あらためて



あやうく
トカゲの
腹の中に
おさまると
だっしなあ

命の恩人
いや実際
ですから

砂
エー

お前達も
冒険者だろ
ちやんと
自分達の
力量を把
死ねぞ



だからもう
礼はいいと
言ってるだろ

偶然の
出会いが
だったし

あと
姉さんは
どう見ても
私のほうが
年下だ



あー
すみません
俺達
冒険者じゃ
ないんですわ

ん？

全員普段はこの街で屋台引いてるしだいで

いや〜と商売が厳しくて〜おまけに家には病気のアカアと腹をすかせたガキが

嘘つけ
コラッ

博打でできた借金返すのに一攫千金狙ったんだろうが

にしても慣れないことばするもんじゃねえっすね

武器も全部ぶっ壊して結局大損で…

…それがどうして冒険者の真似事なんかしている？

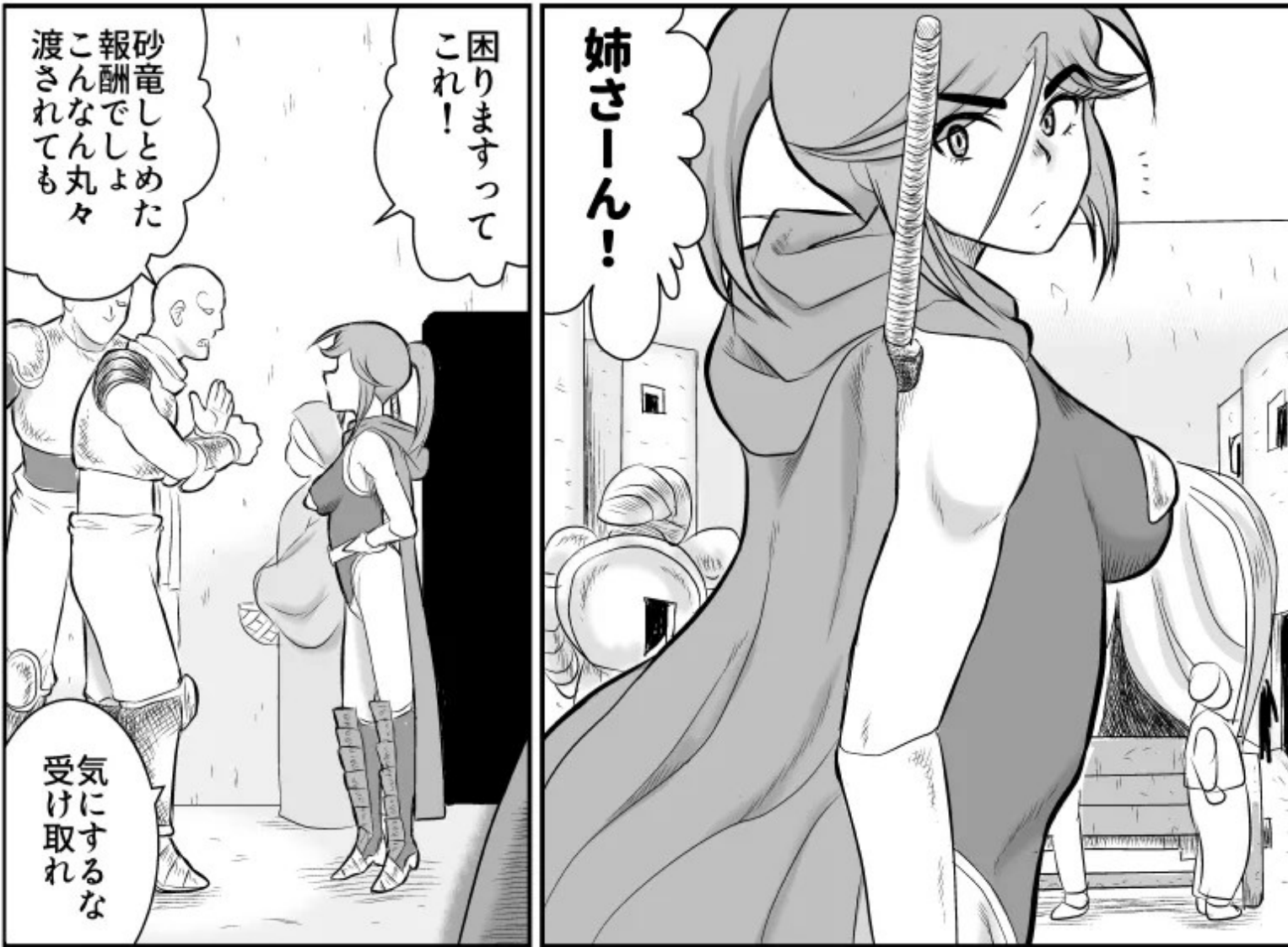


姉さーん!

困りますってこれ!

砂竜しとめた報酬でしよたこんなん丸々渡されても

気にするな受け取れ



お前達の
家族愛はの
賞賛されて
しかるべきだ

では
本来の依頼が
あるのにな
ご家族の
健勝を祈る！

あ……
あのう……っ



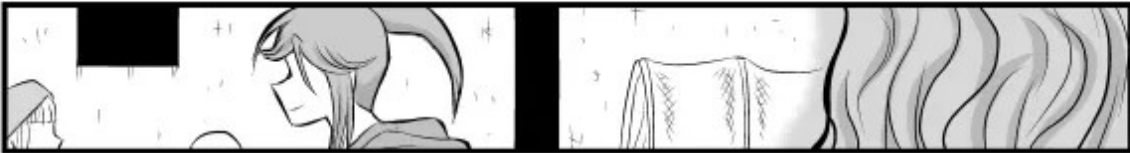
私も
ささやかながら
その一助に
なれたら幸せだ

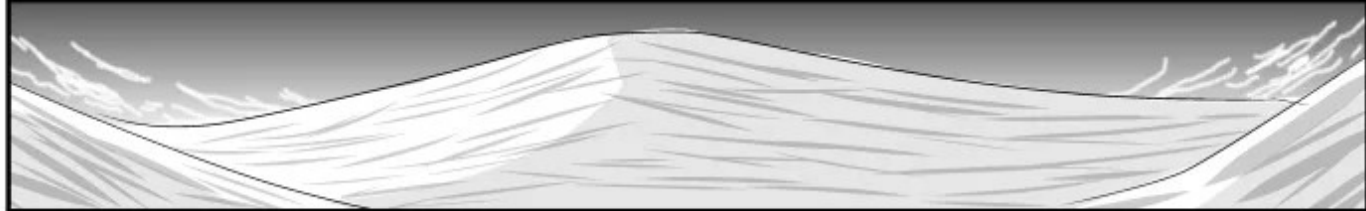
信じ
ちゃったよ
どうすんだ
これ

そーい
聞いたこと
ある

紅のコロナは
めっちゃやくちや
腕が立つけど

めっちゃやくちや
だまされやすい
アレだつて





オアシスに
出没する
大砂竜を
退治せよ……か

砂漠都市で
水源地の確保は
絶対だしな



街で
食料も
用意済み

あとは
じっくり
腰をすえて
待つとして……



おゝ

素晴らしい
水辺だろ



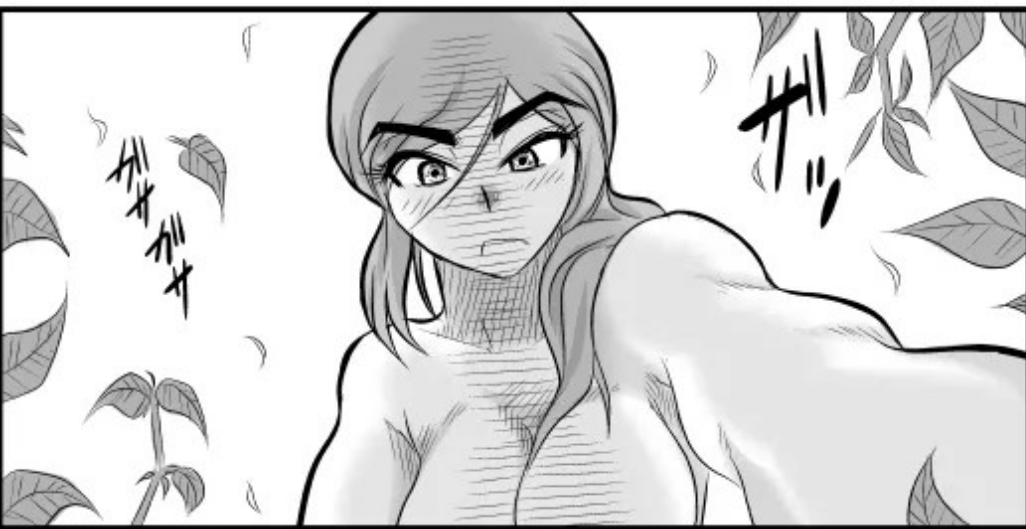
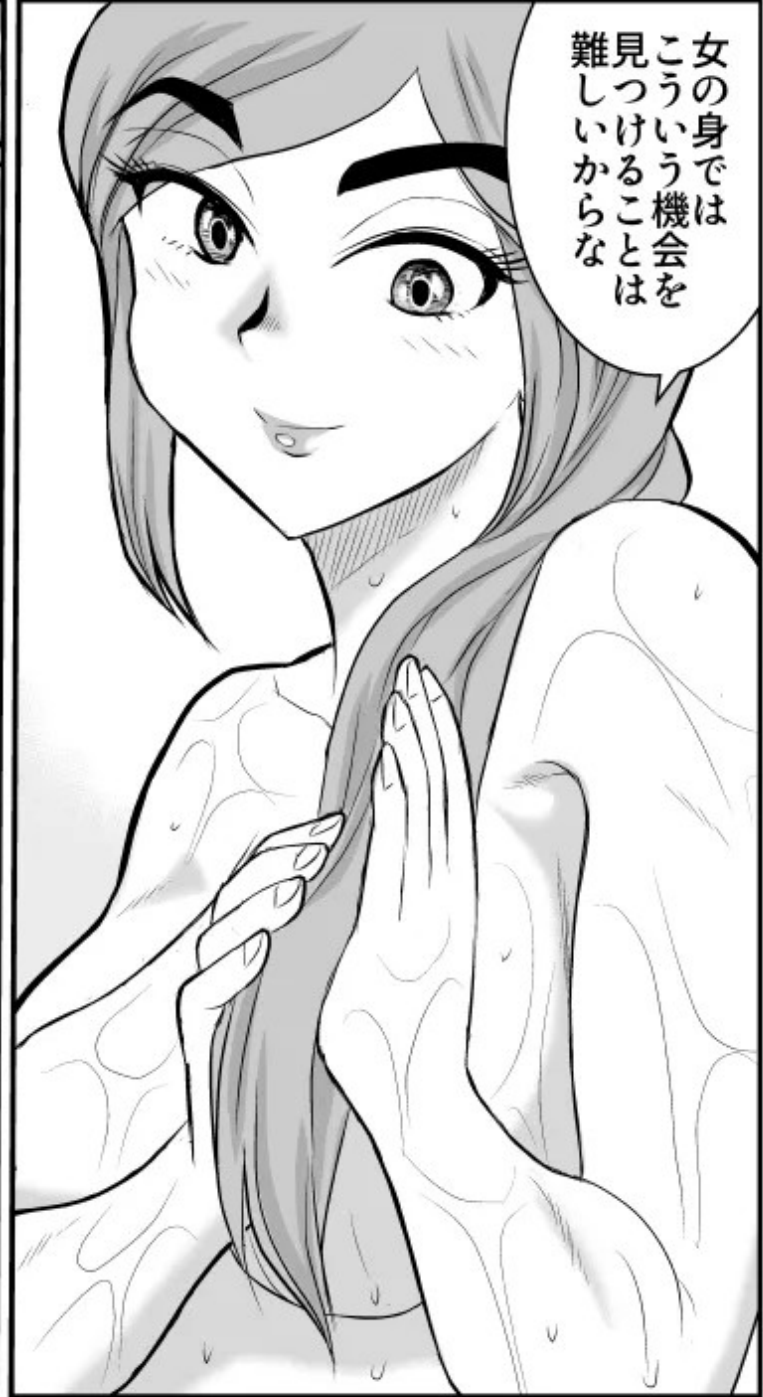
はあ
気持ちいい



砂漠踏破での
汗砂まみれの
身体が返るな
生き返るな

アハハ...

アハハ





う…
む？
手加減
しすぎたか

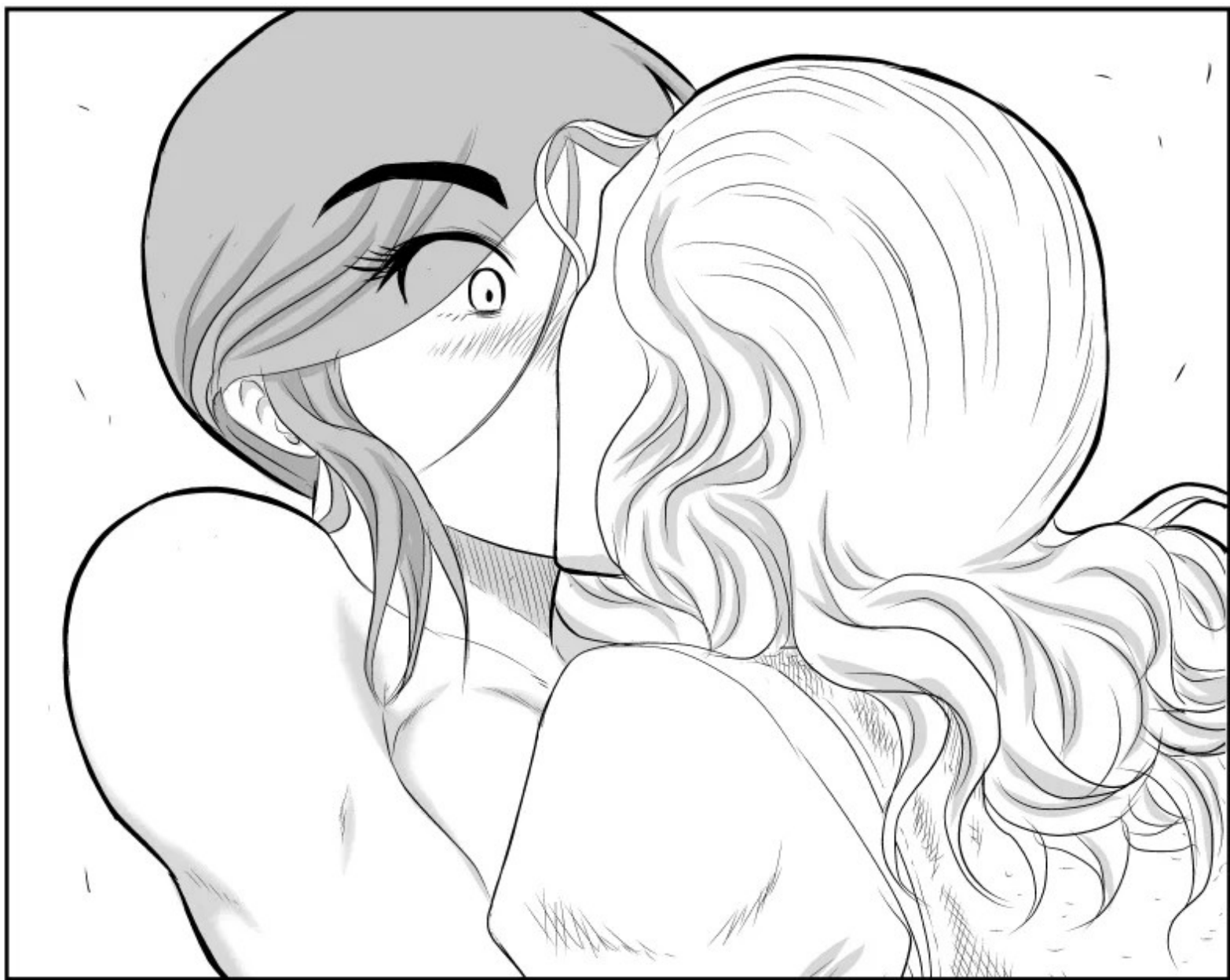


こういう奴が
いるからな



え？

シャロンツ！





手伝い：：？
私は基本
ソロで
動くから
助勢は不要と
ギルド長に
伝えただが

ええ
そう聞いて
ます

大変
失礼しました
砂の街の
冒険者で
アランと言います

なら何故
ここに

おまけに
裸をのぞき
く…唇まで

コホン

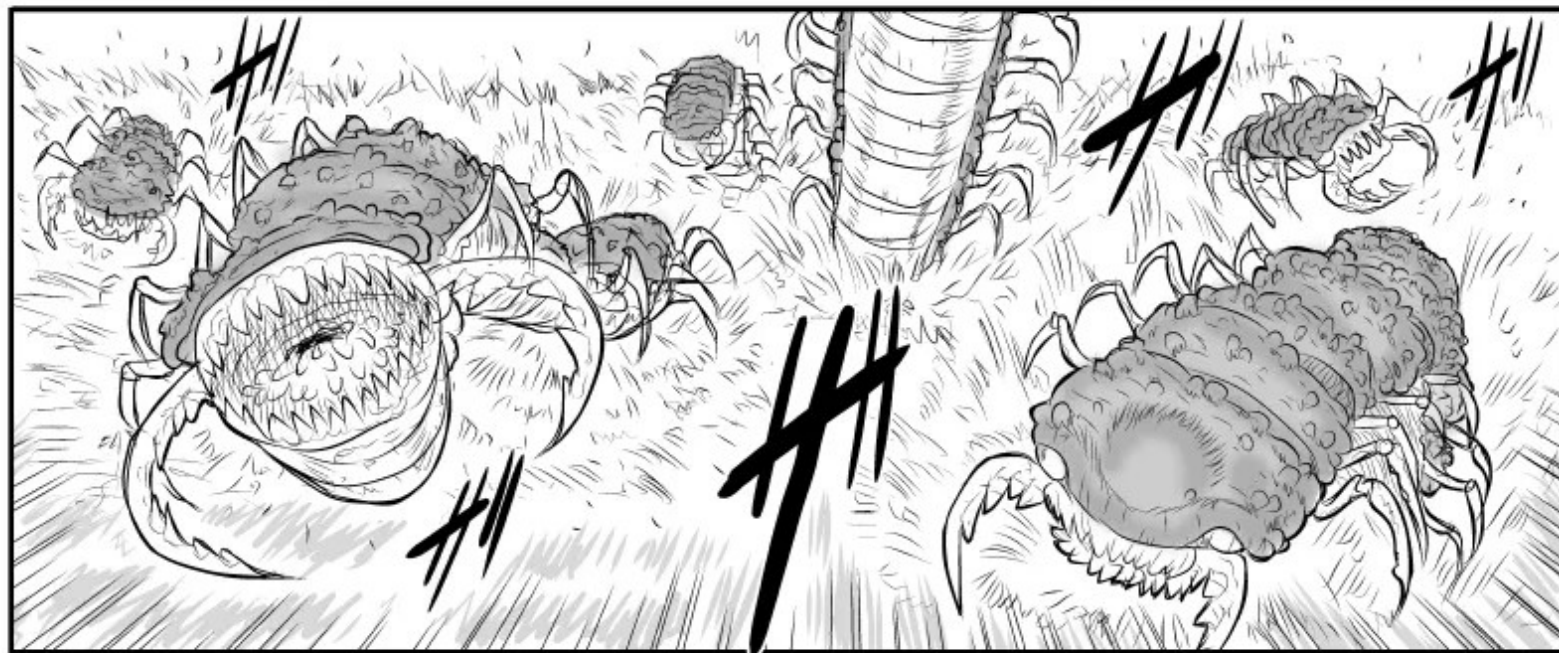
コロナさん
のお手伝い
きました

コロナさんは
大砂竜討伐のため
ここに
いるのでしよう

あの怪物は
街の住人を
何人も
喰い殺してます

私の……
恋人も……

サササ



砂百足か……
数は多いが……
たいした魔物
だとは





それを相手に
そのザマだ

言っではなんだが
お前の腕では
大砂竜を
どうこう
できると思えんぞ

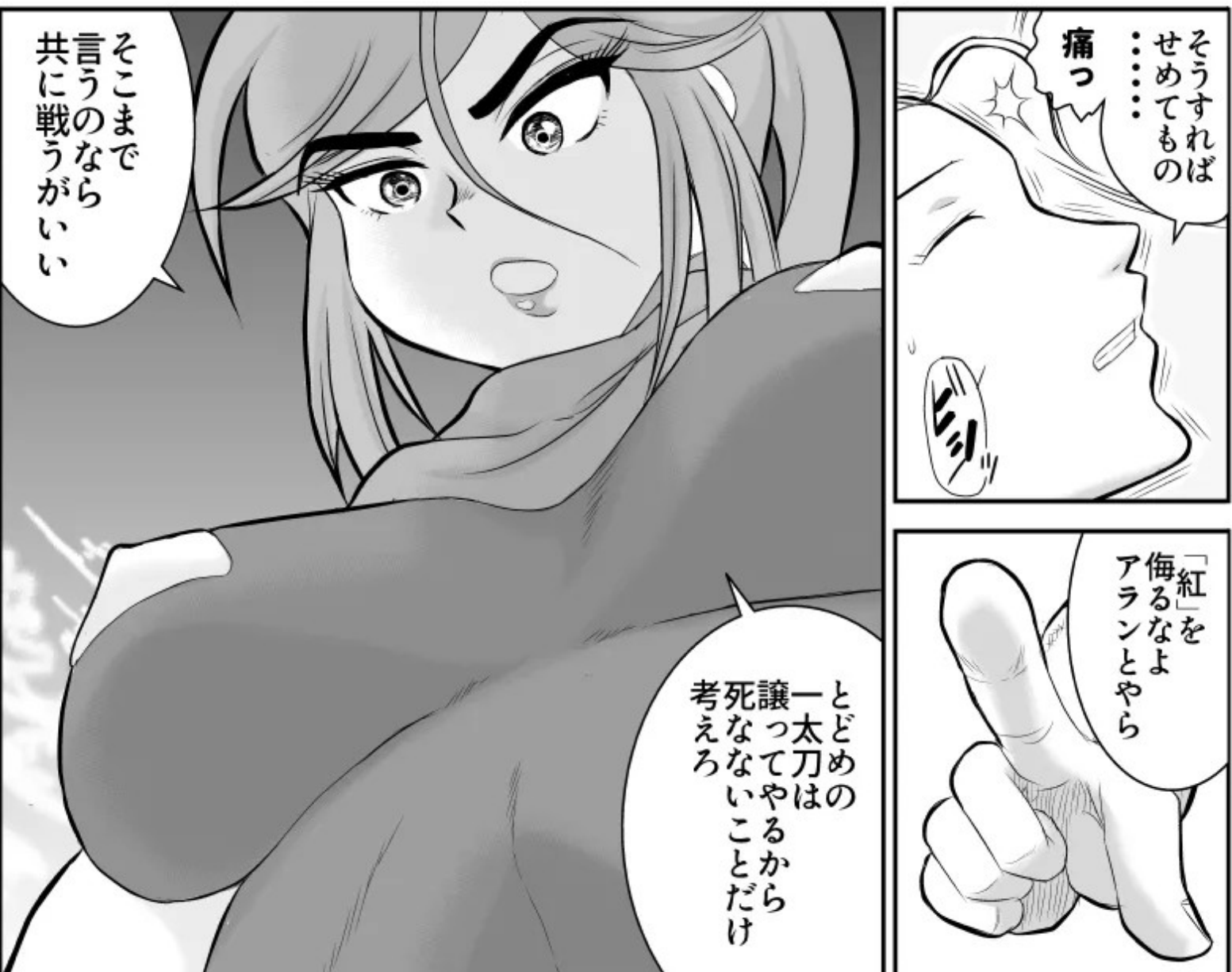
わわわ
わかって
ます



それでも
奴は仇……
せめて一太刀
あびせないと
気が済まないんです

むう……

それがダメなら
いっそ私を
生餌にして
奴を倒して
ください



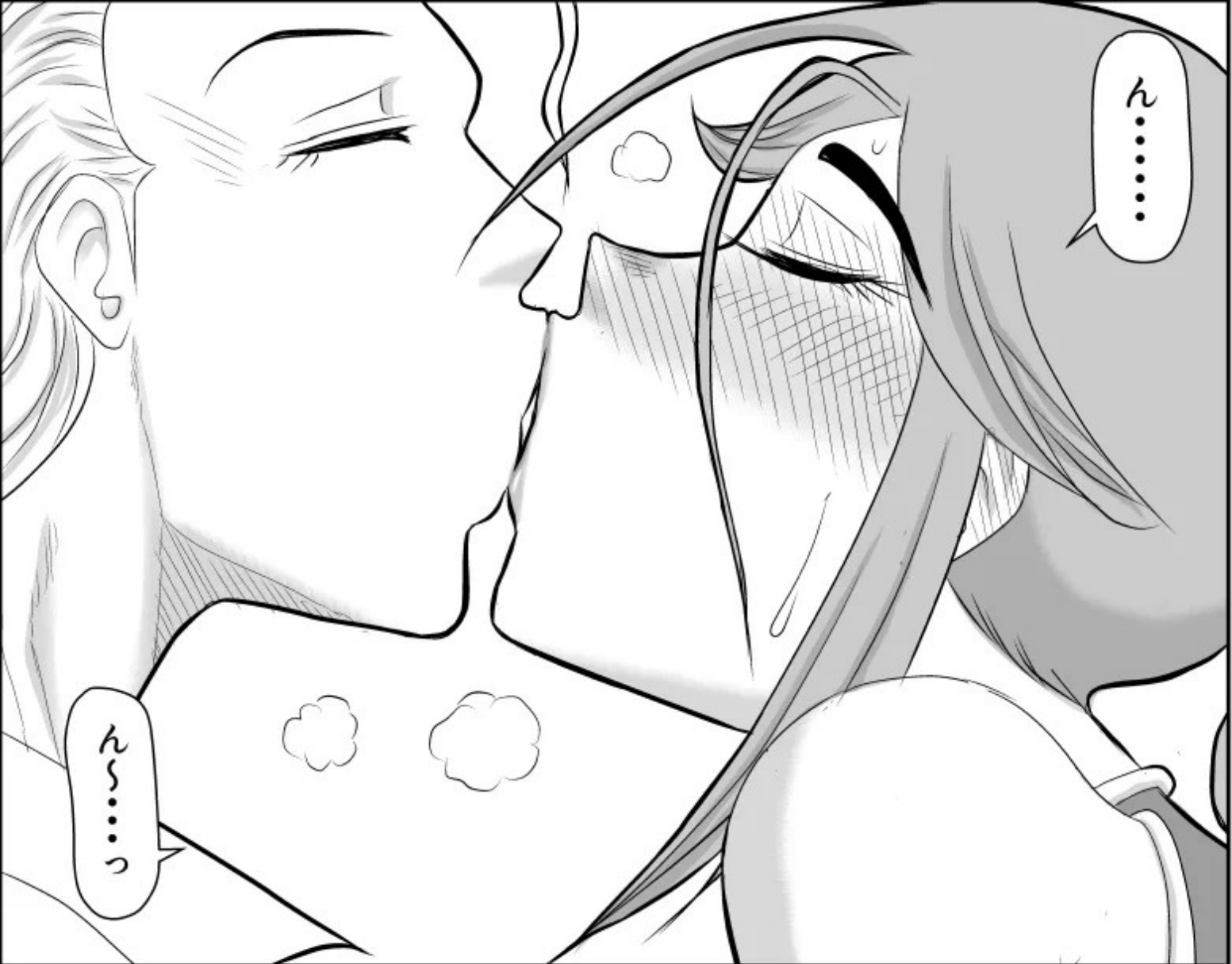
そこまで
言うのなら
共に戦うがいい

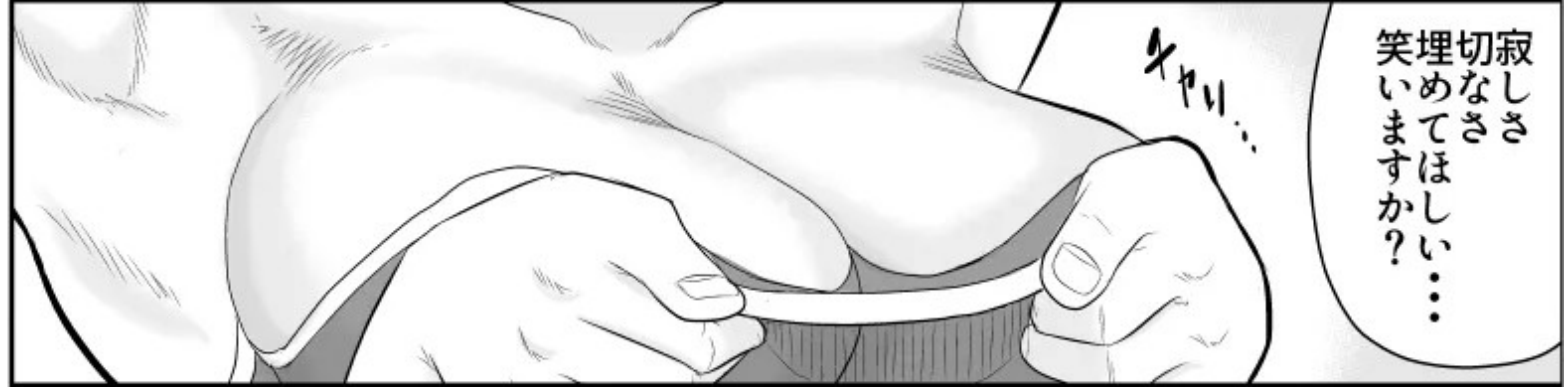
とどめの
一太刀は
譲ってやるから
死なないことだけ
考えろ

そうすれば
せめてもの
……
痛っ

「紅」を
侮るなよ
アランとやら

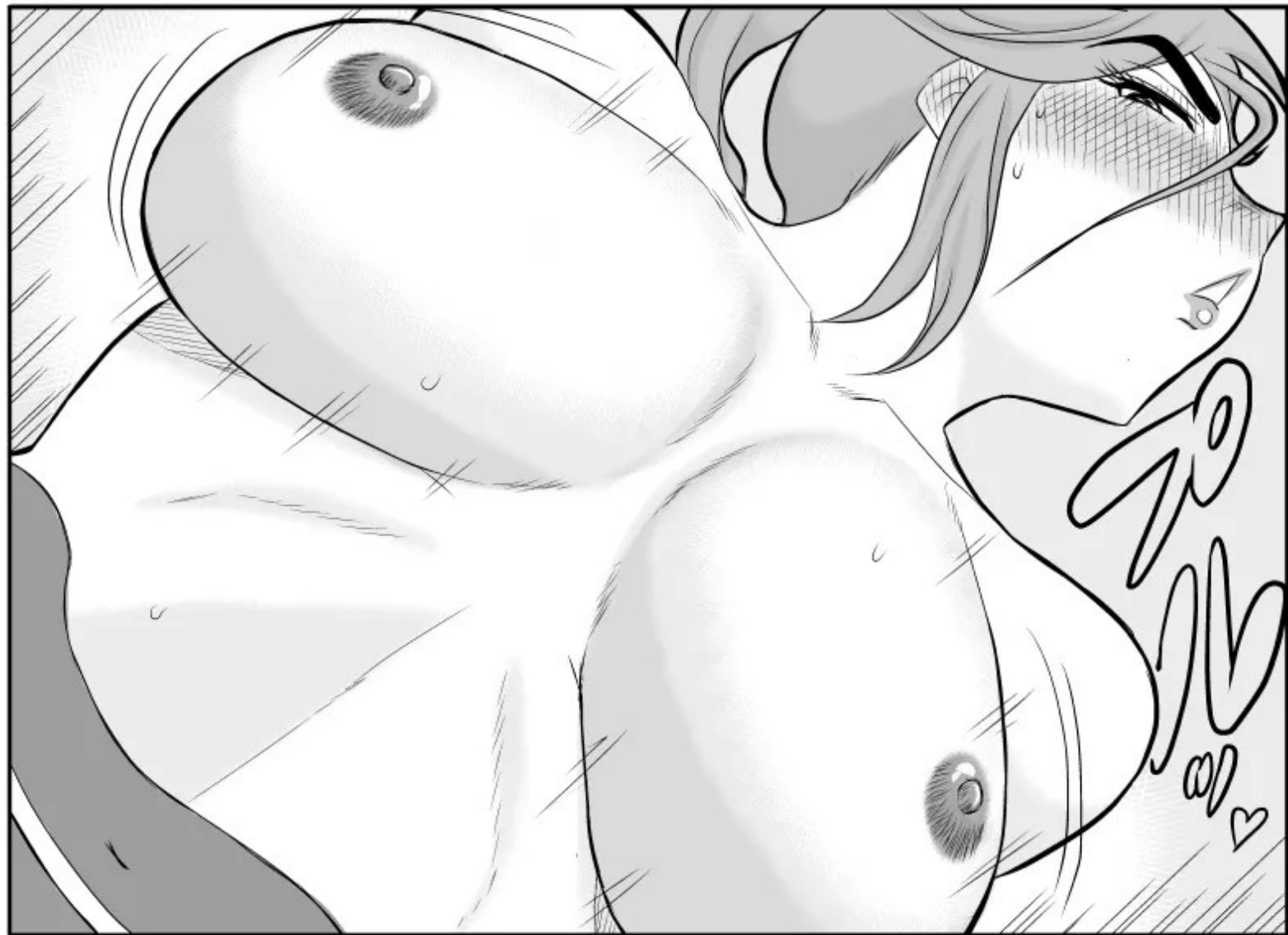






寂しさ切なさ埋めてほしい…
笑いますか？

キヤリ…



ロ
ロ
ロ
♡

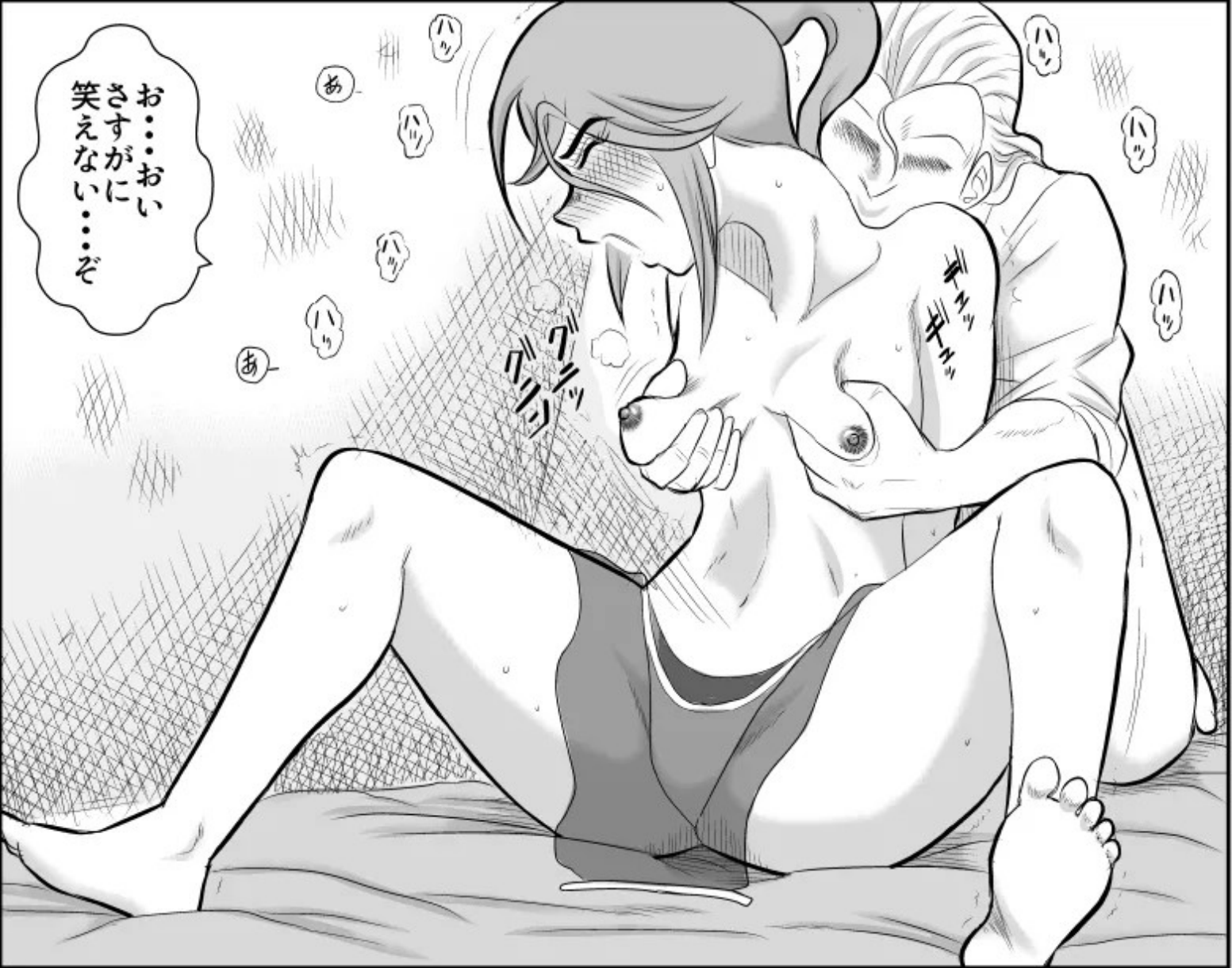


はらっ

ゴウッ

キキキ
♡♡♡

キキキ
♡♡♡



お……おい
さすがに
笑えない……ぞ



いいか
生活に飽きてきた

こいつ使って
手に入るってのも



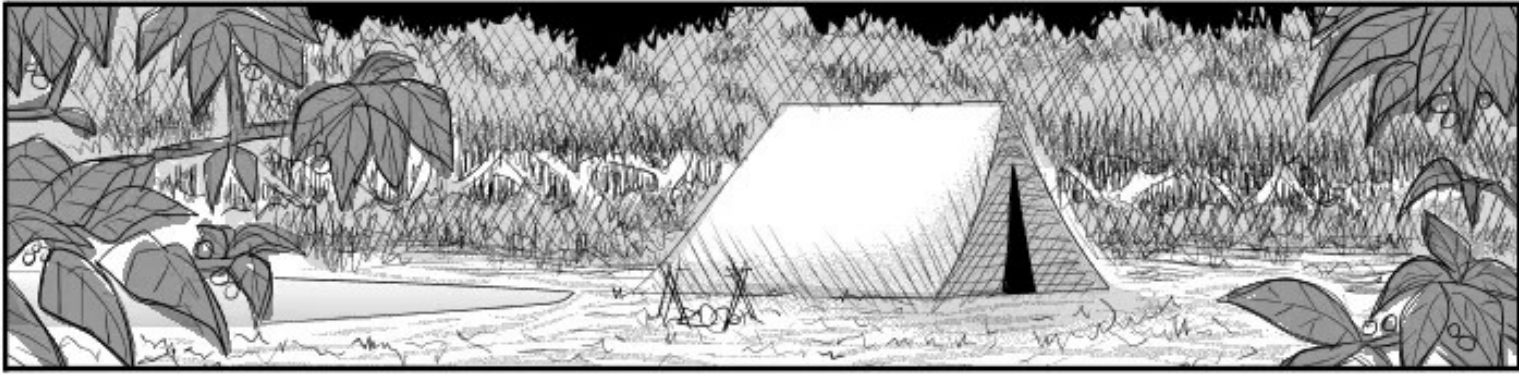
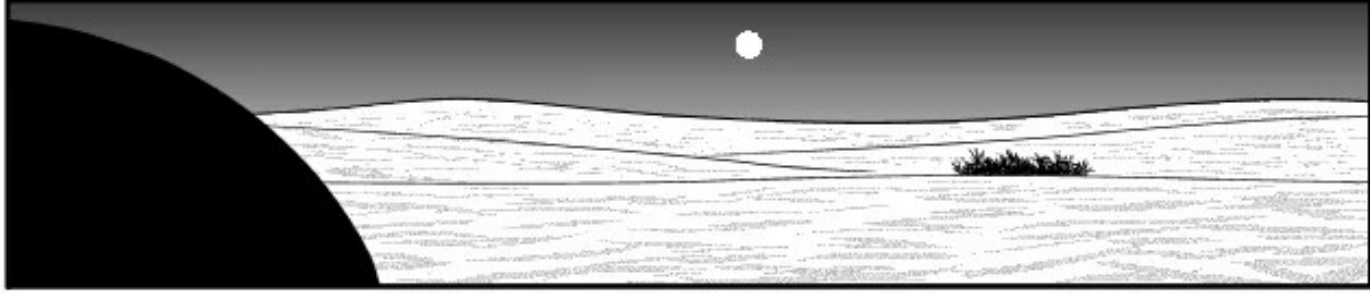
物は試しとコナかけてみりや
噂以上にチヨロいときた

俺は笑いが止まんねえよ
「紅」さん



お静ちはい
とめやんと
なしてくれ
たから
し
ま
す
か
ら

こ...こ
ら
脱
が
す
な
っ
言
わ
れ
た
と
お
り
し
て
る
だ
ろ
っ





あっ

っあ

あっあ

うああっ

あああ〜っっ!



気持ち
よくないですか？

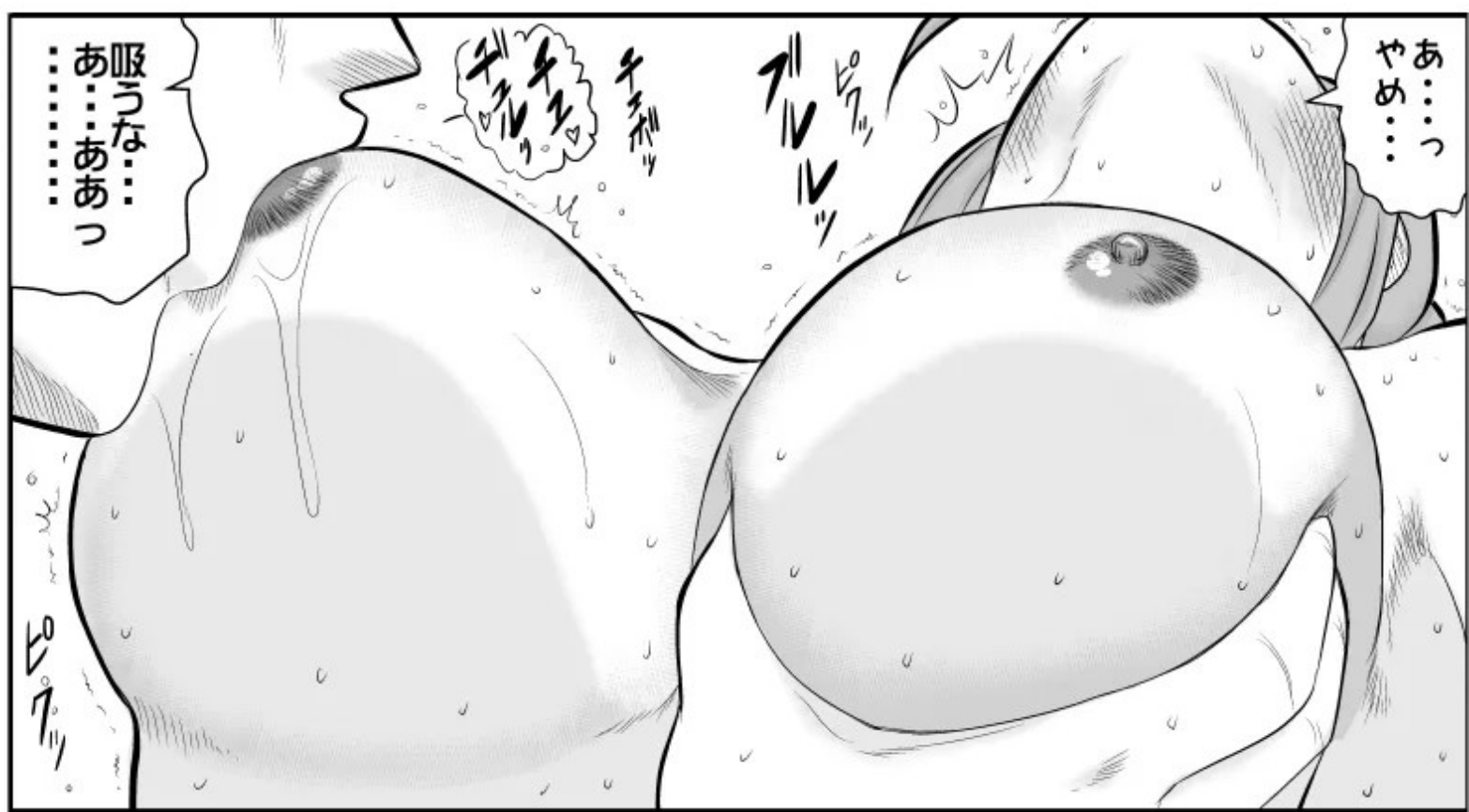
お……い
少しだけと
言った……ろ
早く
終われ……っ

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ



ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

そういう
問題じゃ……
ない……っ



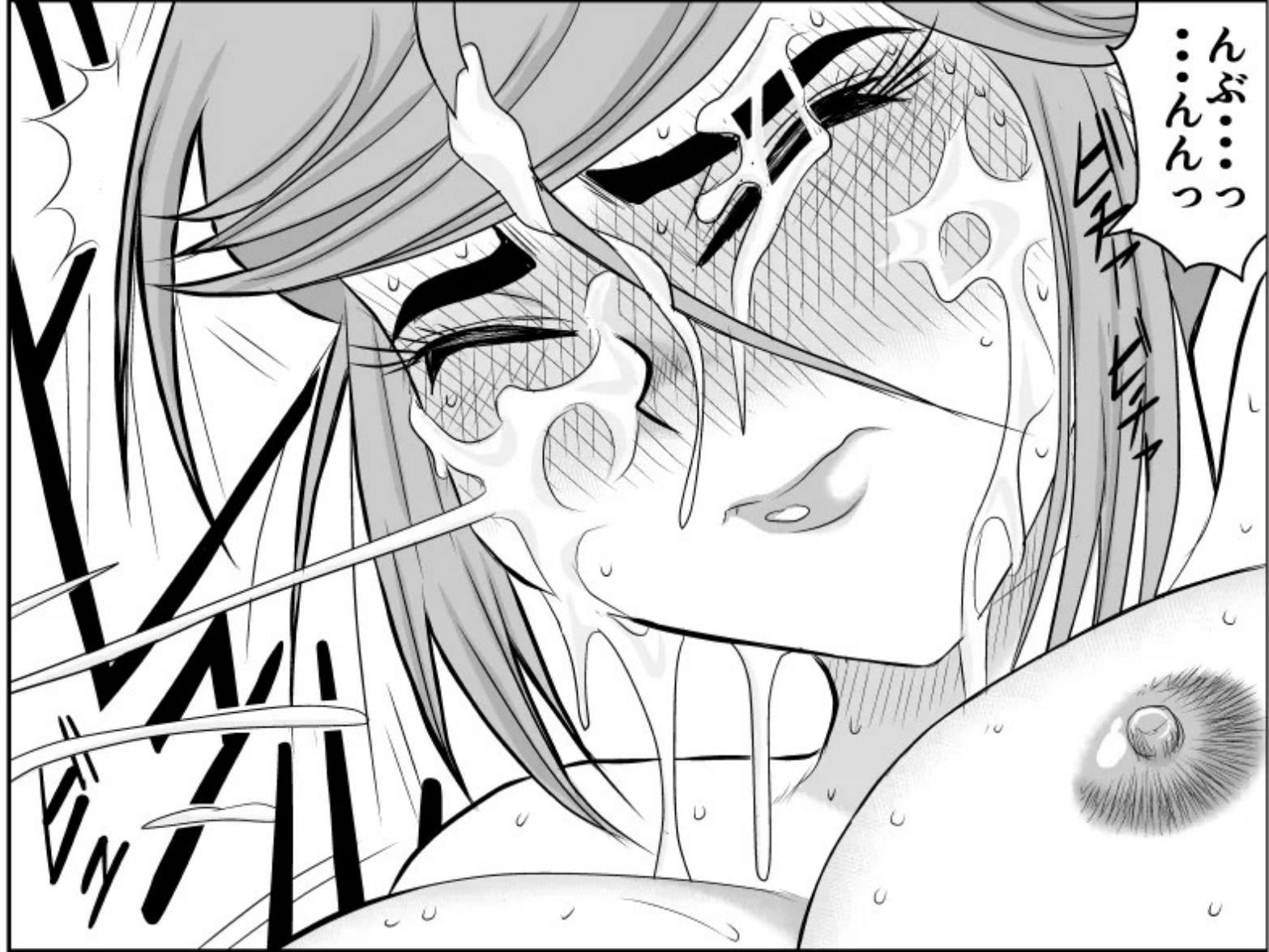
吸うな……
あ……あ……

ク
ク
ク
ク
ク

ゲ
ゲ
ゲ
ゲ
ゲ

あ……っ
やめ……

ク
ク
ク
ク
ク



んぶ...
んん...
んっ



か：顔に
か：けて
い：な
い：ん
て：な
い：て
：そ

膛内に
出かけた
よかったですか？
はうが

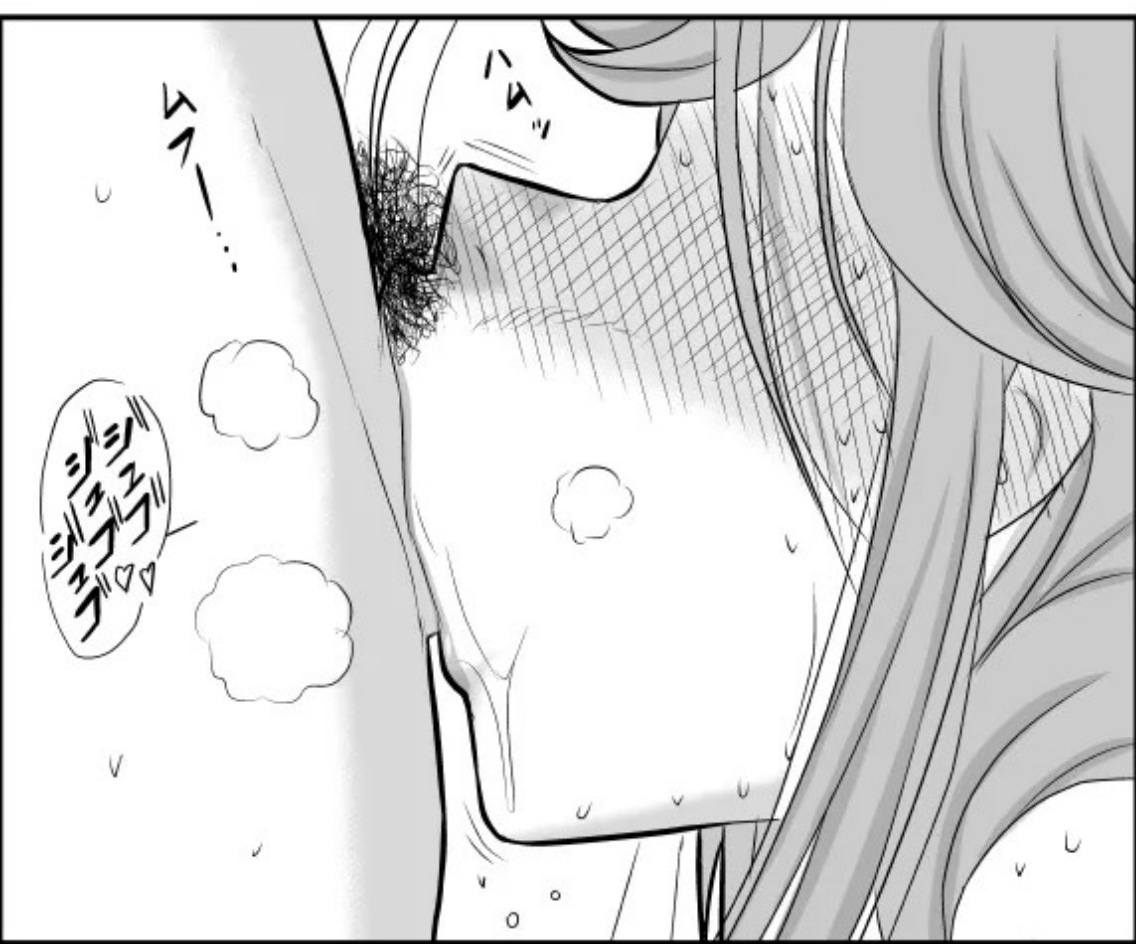
そうじゃ
意味ない
：ない
：バカ
：カ



ほら
気が済んだろ
とつとと
どけ……
おいつ!
なんで
かぶさって
くるっ!



まだまだ……
これからが……
本番ですよ……



こ……の
いいかげんに
……ンツ……!
……ンツ……!
……ンツ……!
……ンツ……!

ん…
ほら…
キレイになったぞ

ごくろう様
コロナ

まったく
とんでもない
やつだ
お前は

結局
一晩中
私を
なぶりおって







ま...まだ
やるのか？
お前
いいかげんに
しろ...よ



アラン

まだ素直に
ないからね

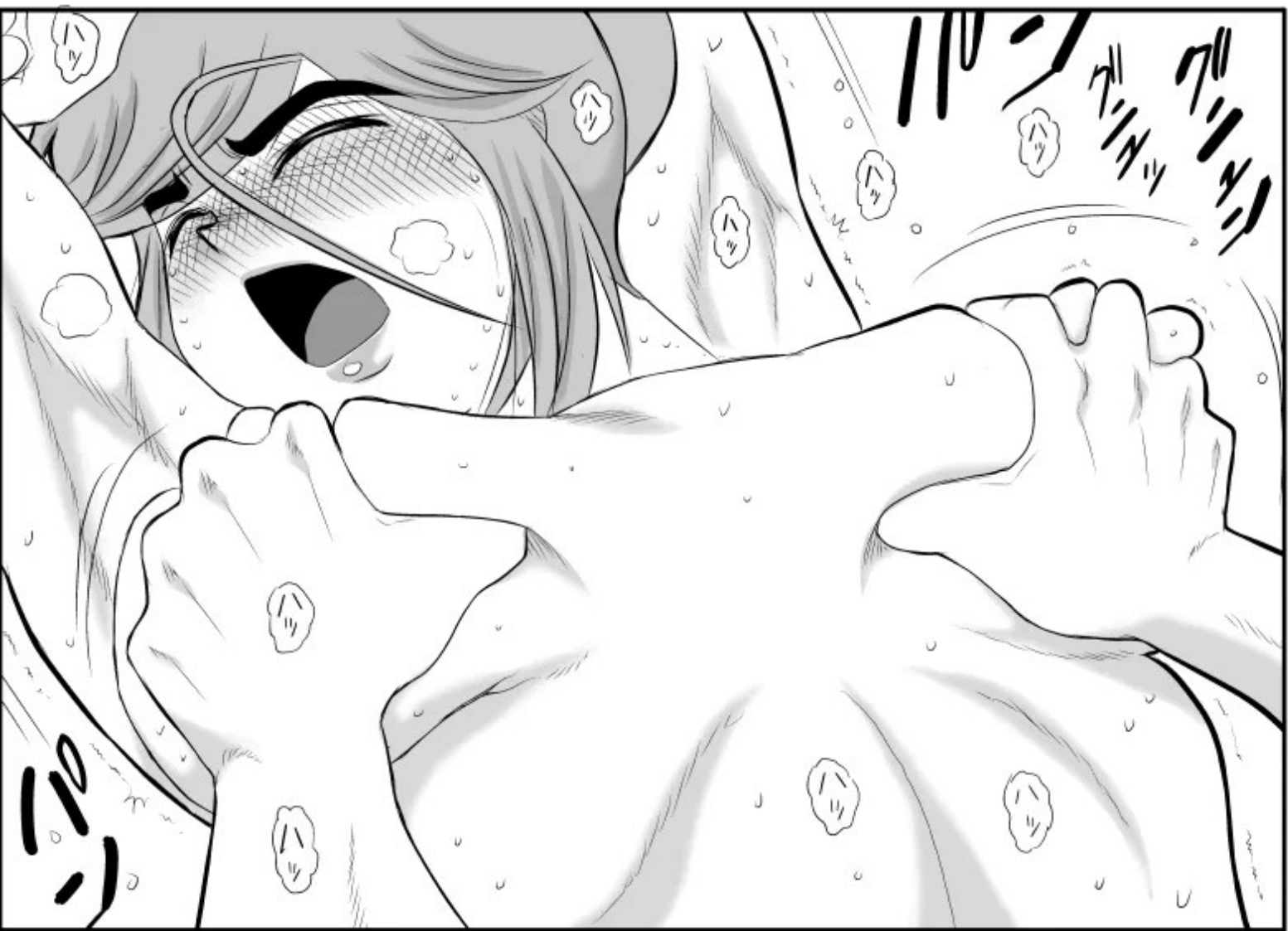
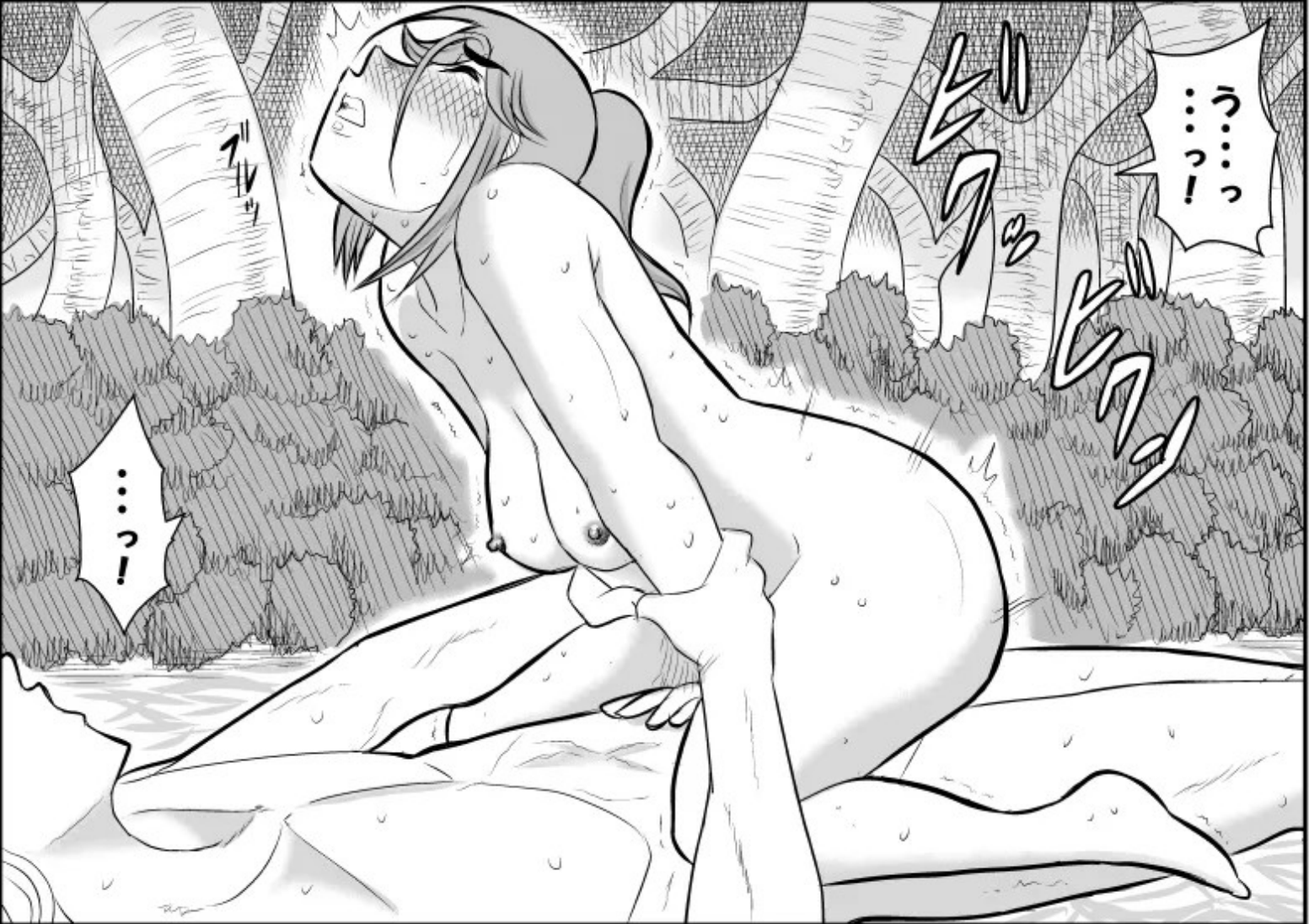


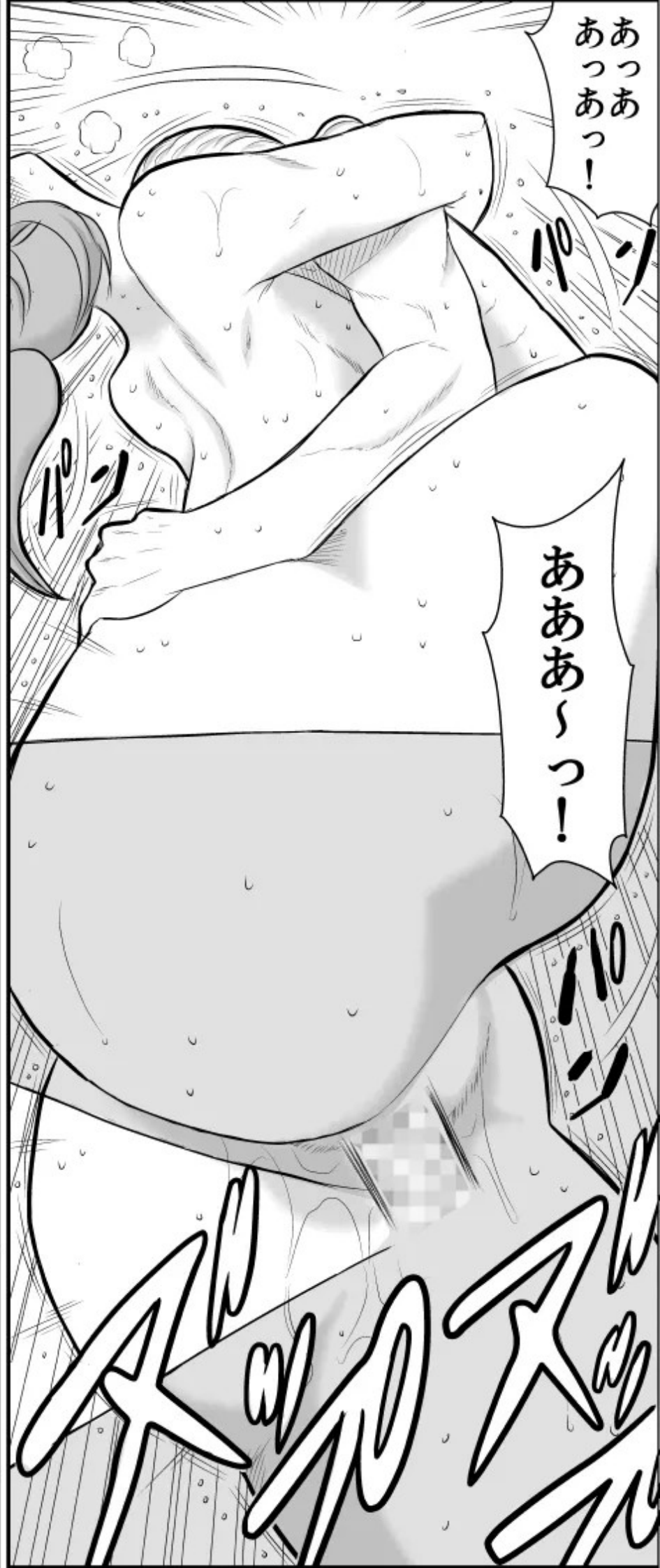
言うとおりに
食事のなに
にしたのになら
むんだよ

ケホッ...

ハ...
クワッ

ほわっ
しわっ
味わたり



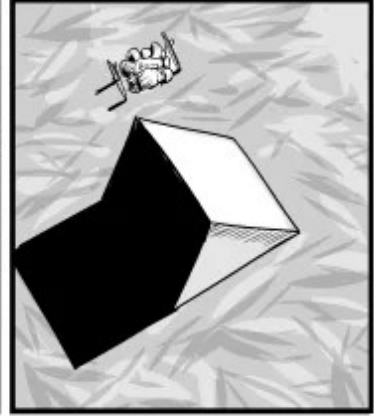




前の人の恋
悪いので
心だけど
着け心地は？



キッ...



ア：：アラン
これ奴隷用
じゃ：：：：

シヤロ...

そうだよ
シヤロンは
僕の可愛い
奴隷だから
ね

おほら
いで

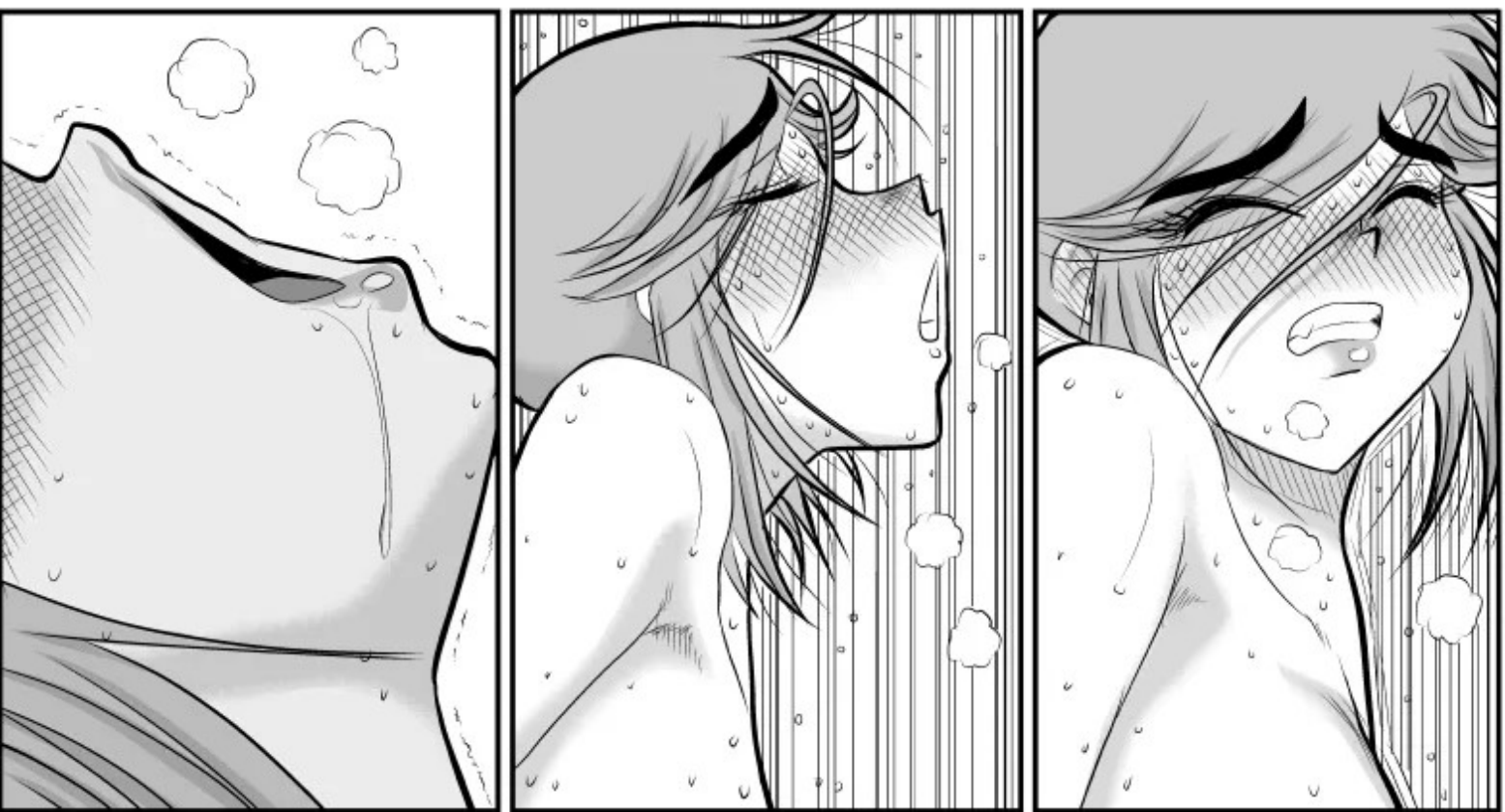
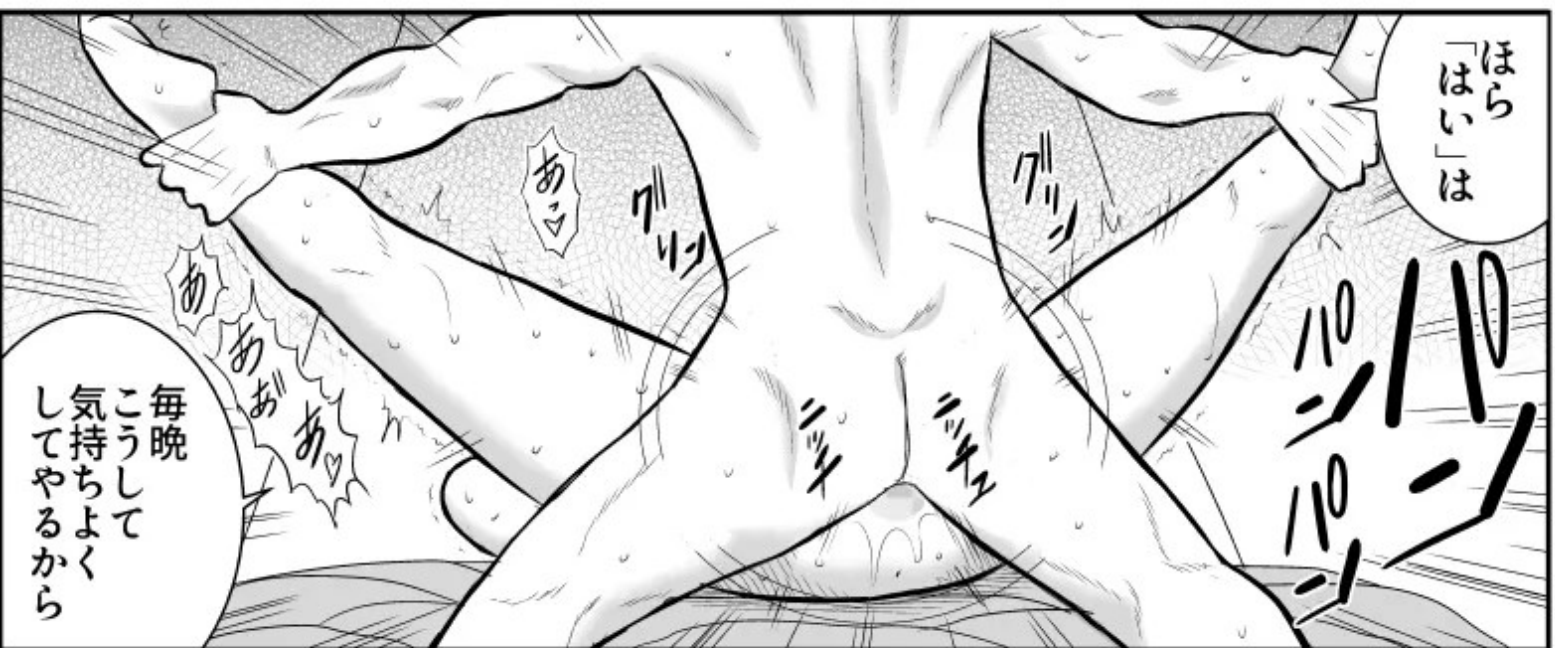
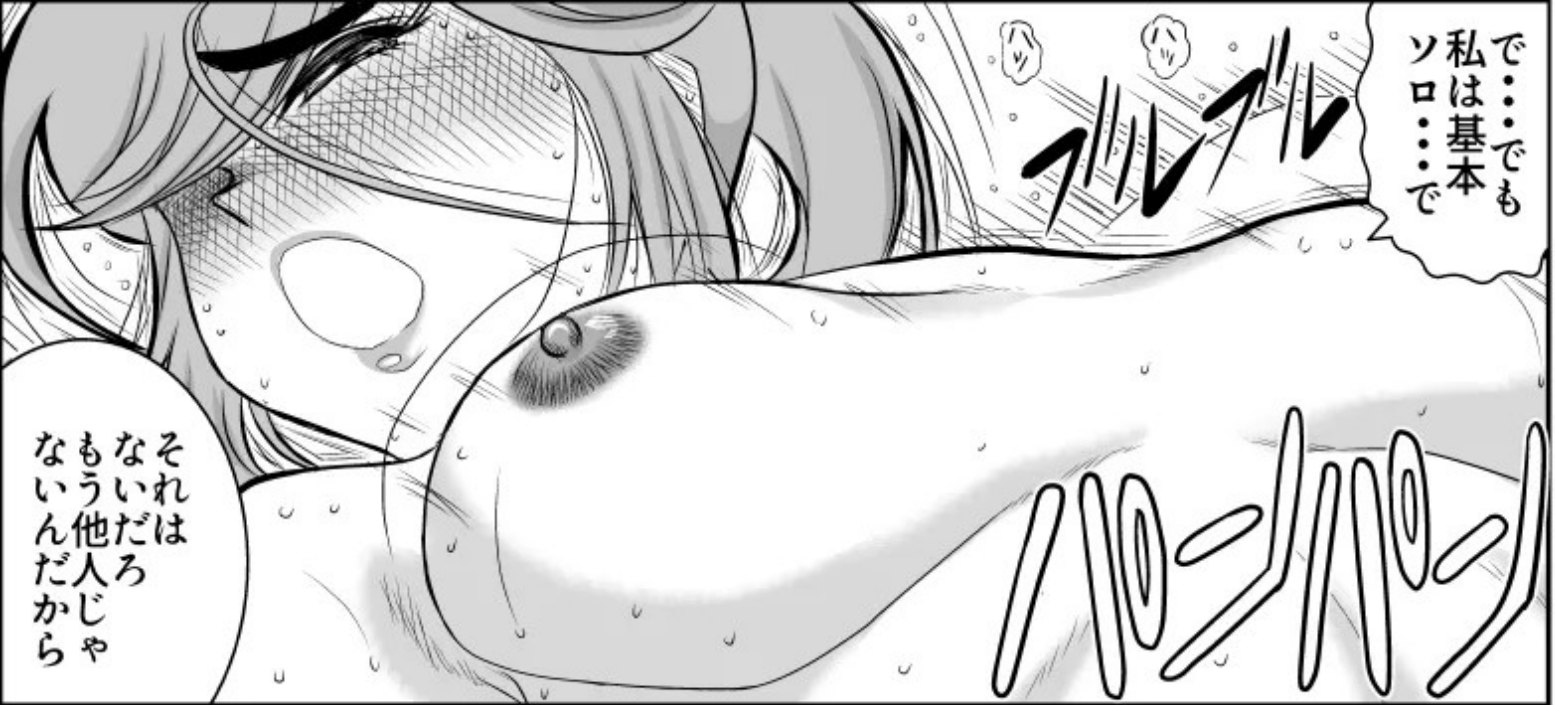


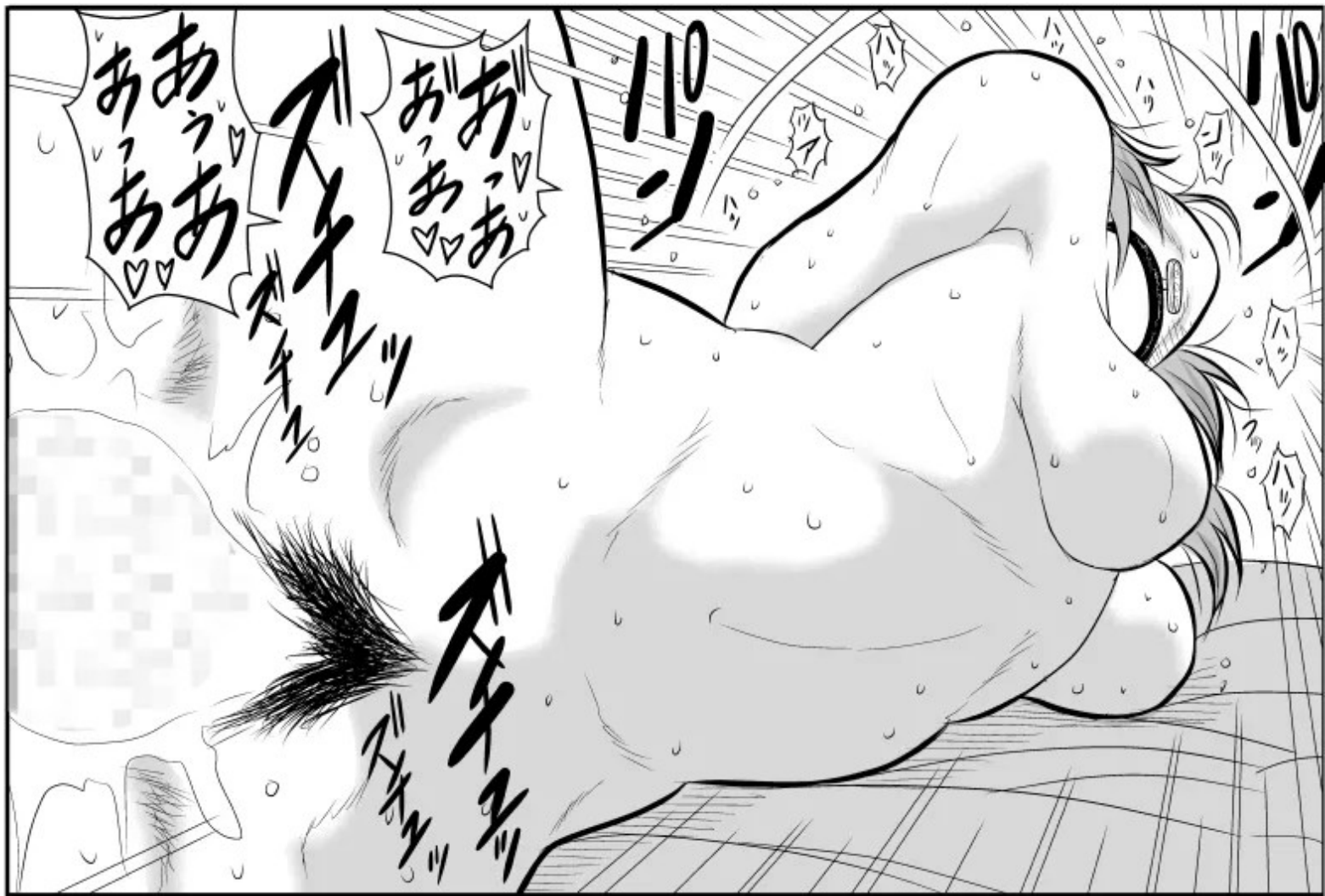
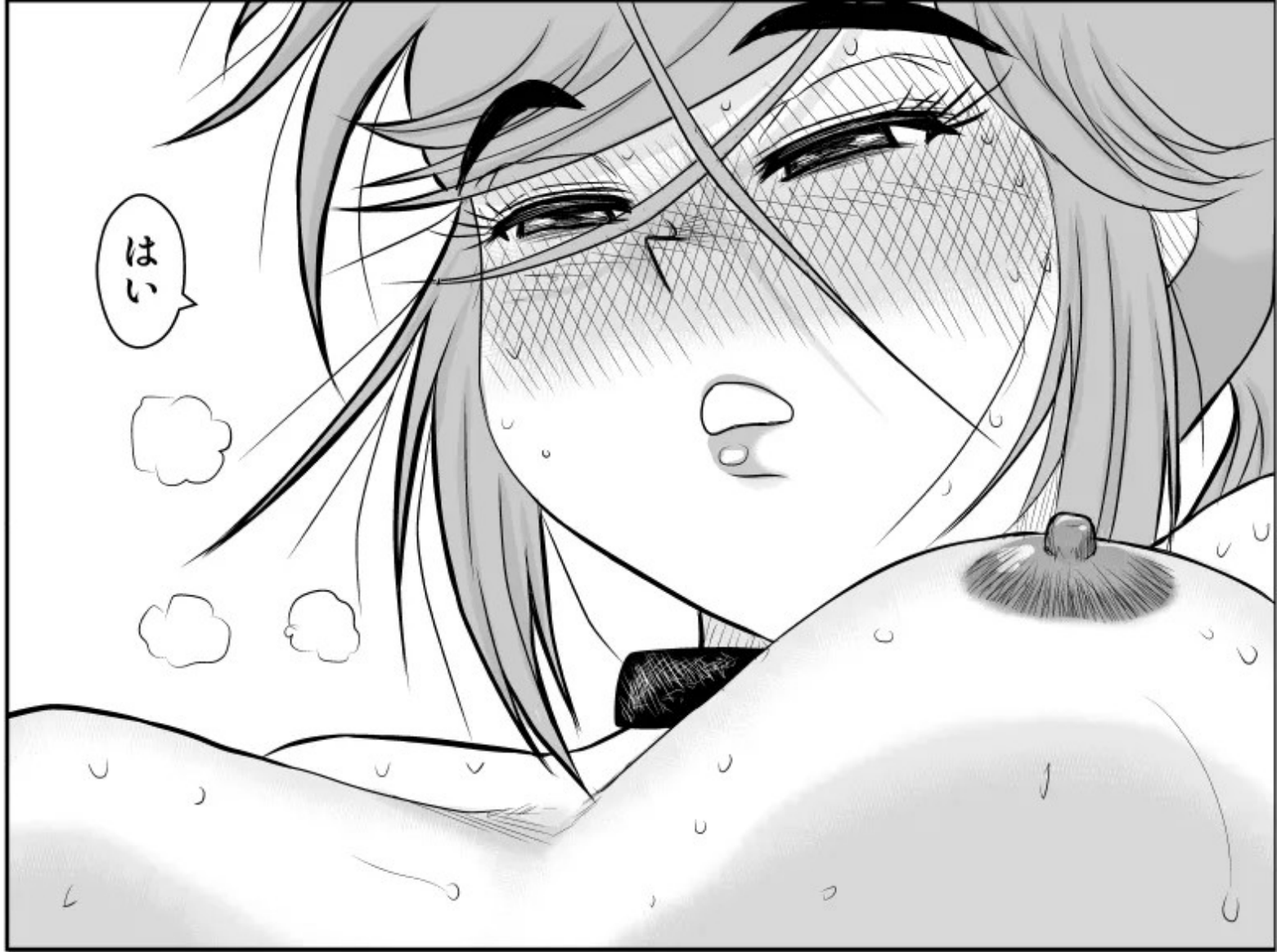
それで
僕と組む話だが

受けるよな

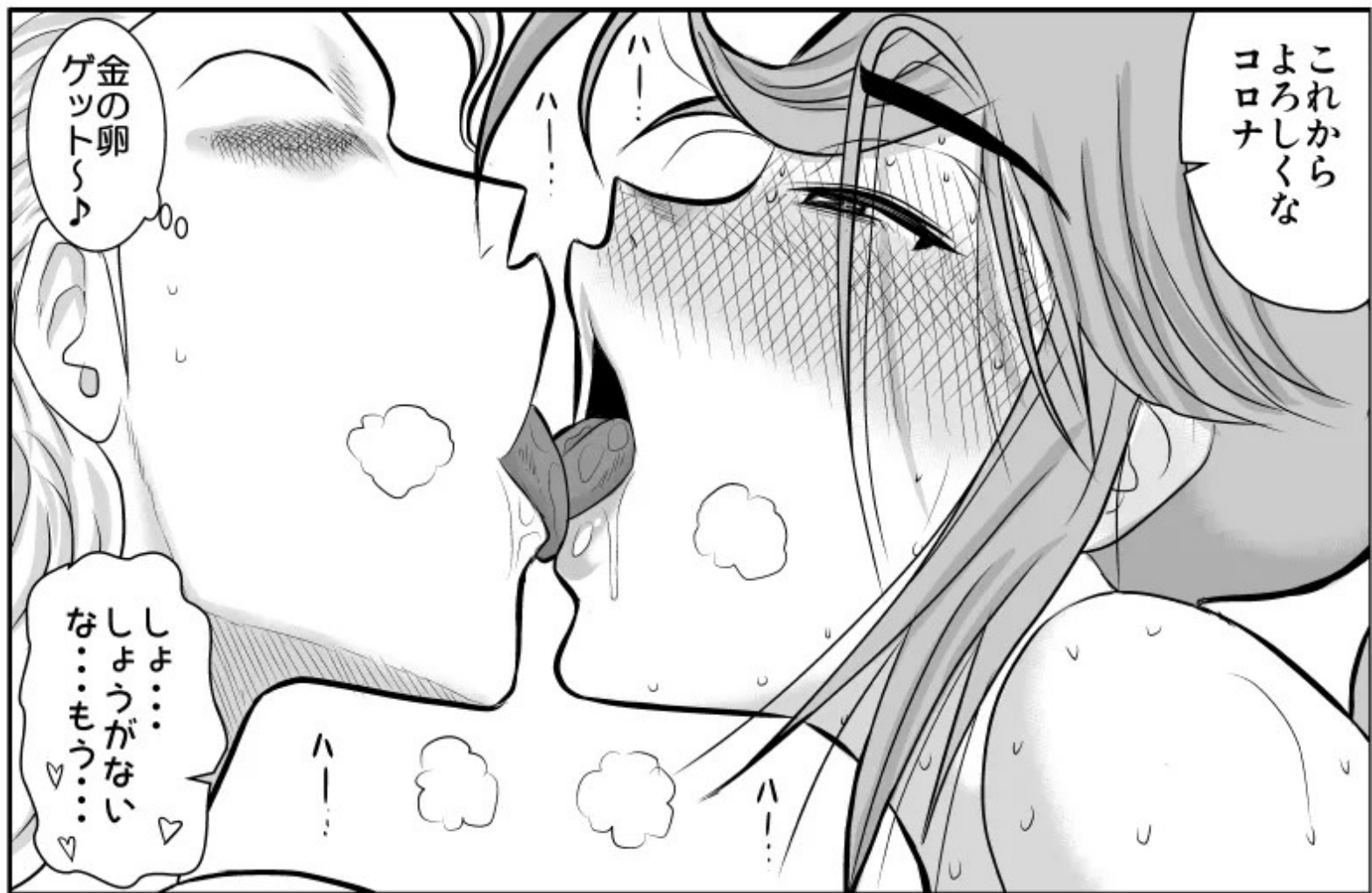
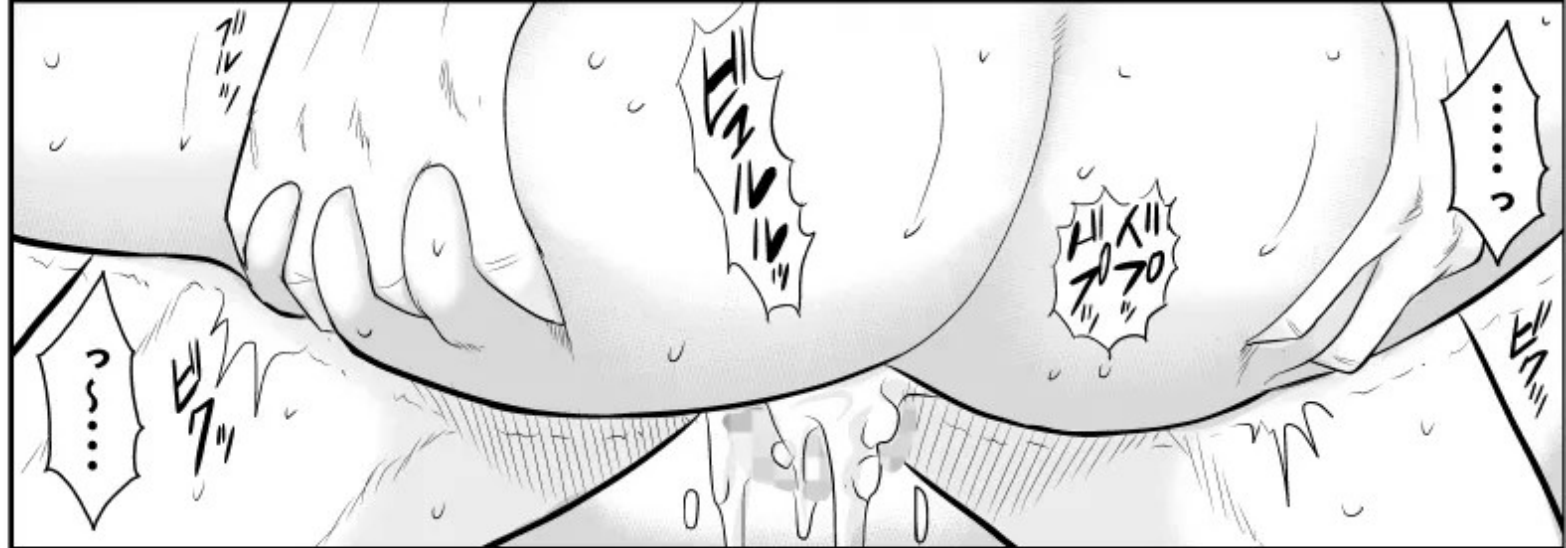
うっ
うっ
うっ

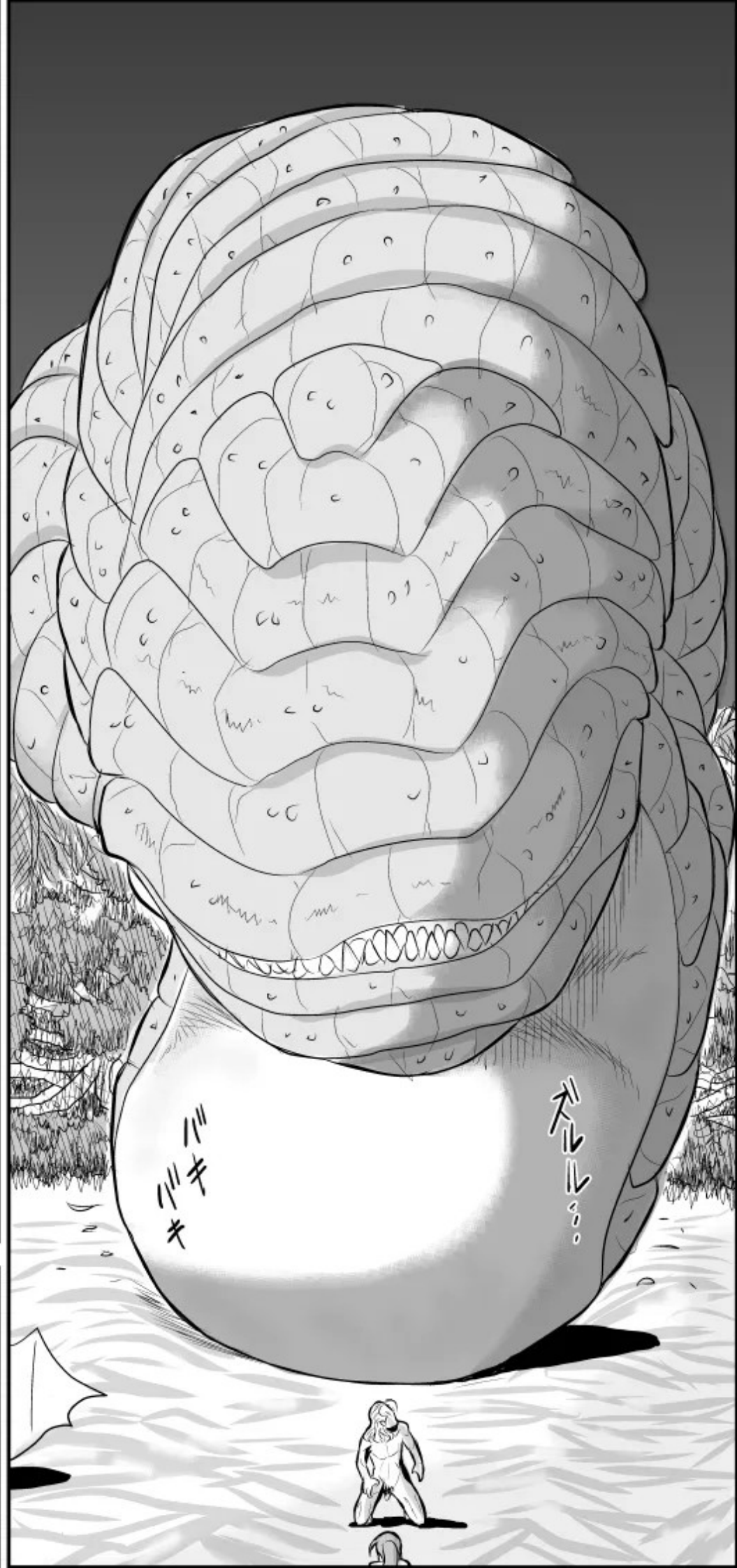
うあ
あっ
あんっ
あんっ





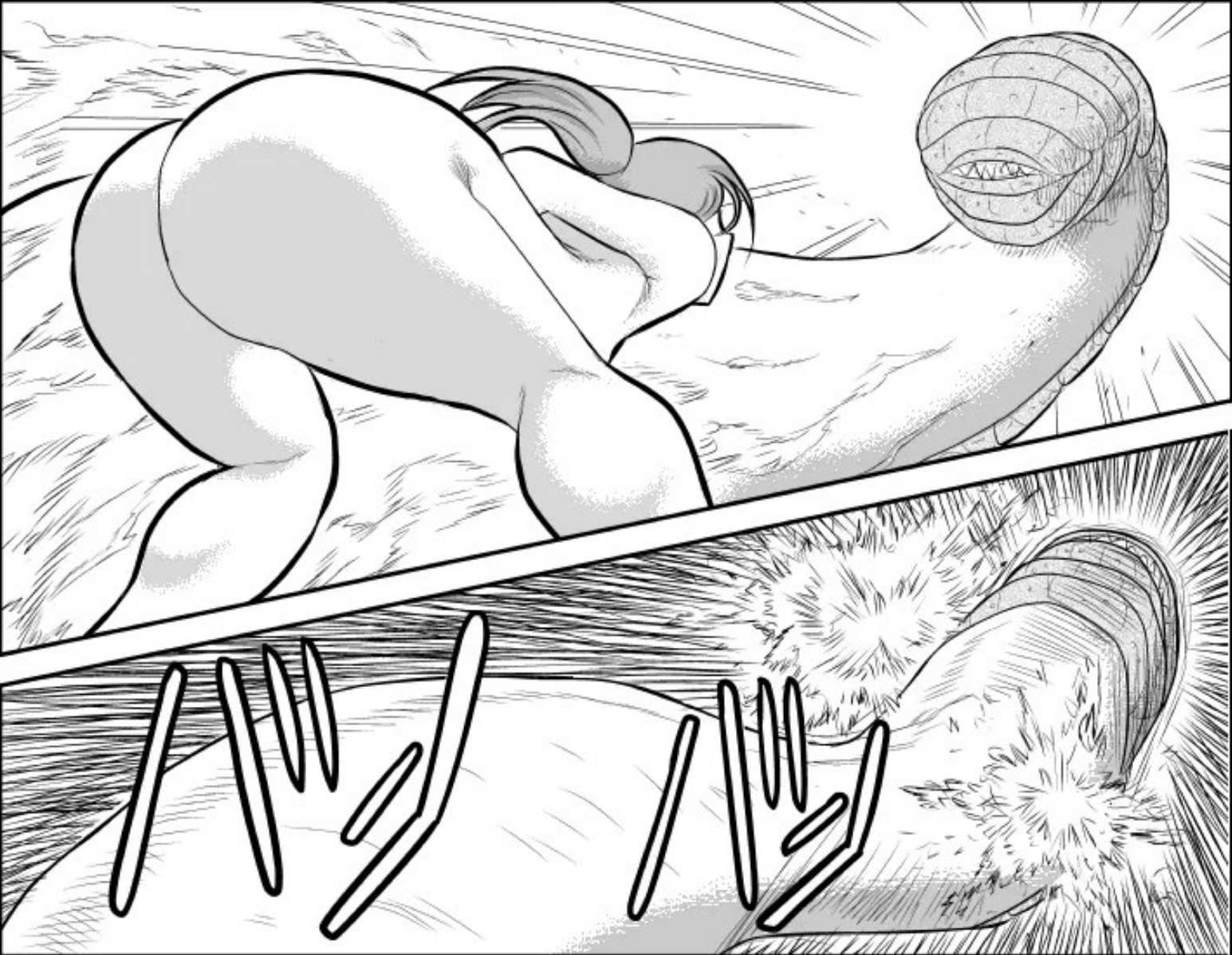






うわっ
うわっ
あああっ！







充分だ



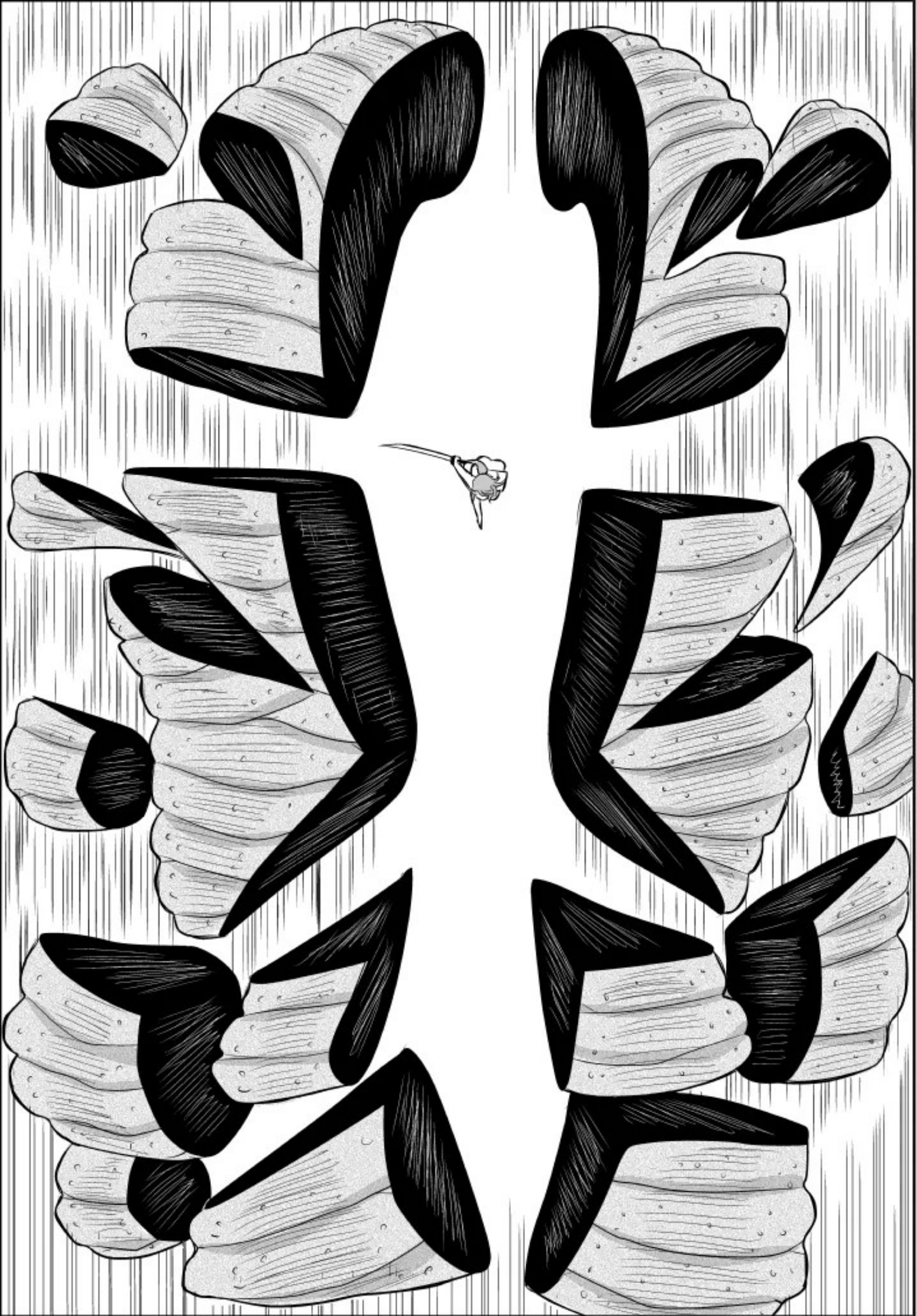
お前早くしろ
バカーッ!

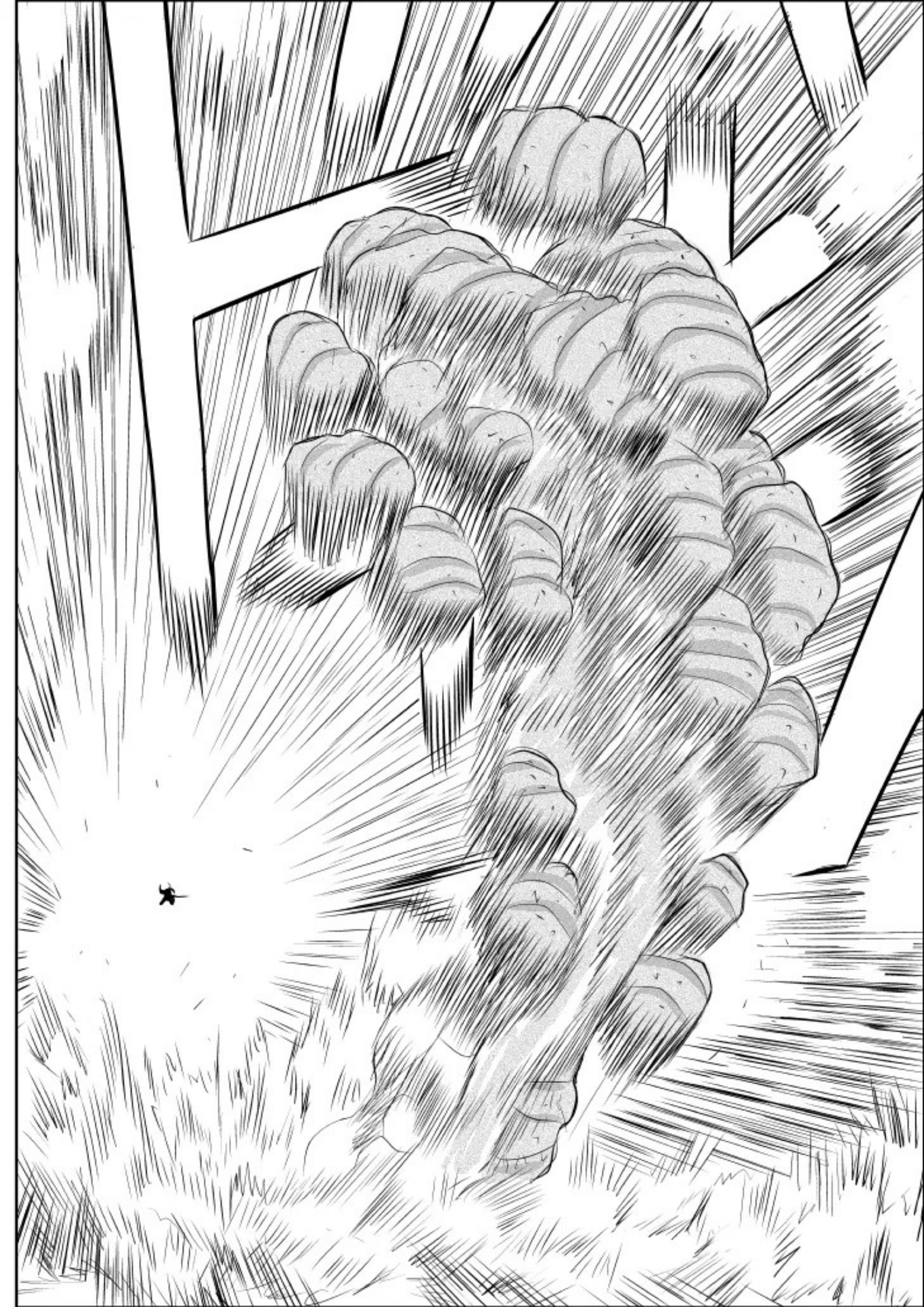
ぎやあああつ
来た来たあ!

このせえー
硬...っ！



よっしや
片方とれた
あとひとつ...







状況的には
あまり
変わって
ないように
思うぞ...

へ...
へ...

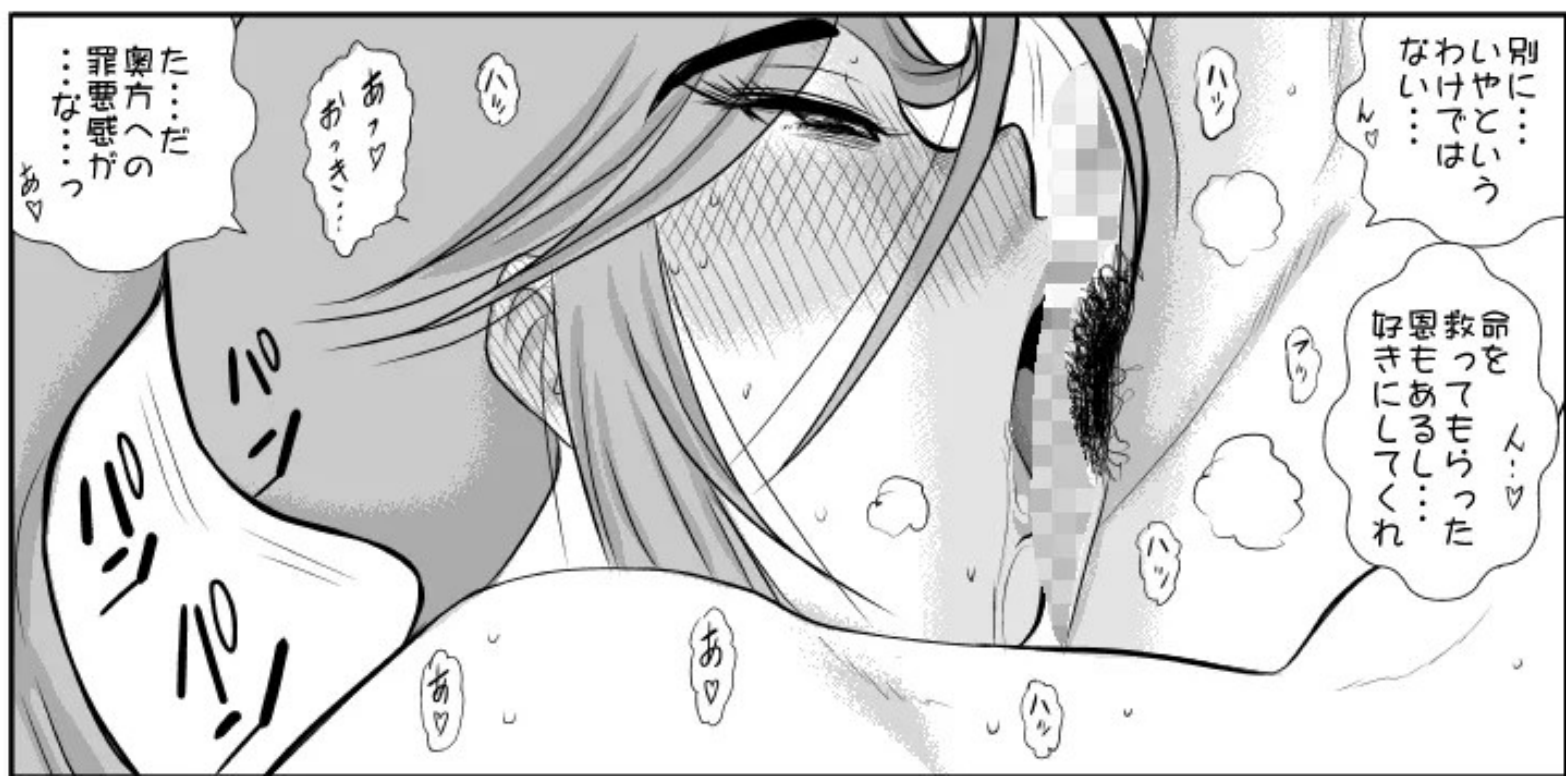
ササ...

なんでも
礼をするつて
言われたから
つい...



んんっ！
ササ...

アハハハ♡
アハハハ♡
クハハハ♡
クハハハ♡



別に...
いやという
わけでは
ない...

命を
救ってもらった
恩もあるし...
好きにしてくれ

あ♡♡
おっき...

た...だ
奥方への
罪悪感が
...な...っ

ハッ
ハッ
ハッ
ハッ

あ♡

あ♡

ハッ

おい
あの口から
でまかせ
信じられ
てるぞ

全員
独身なの

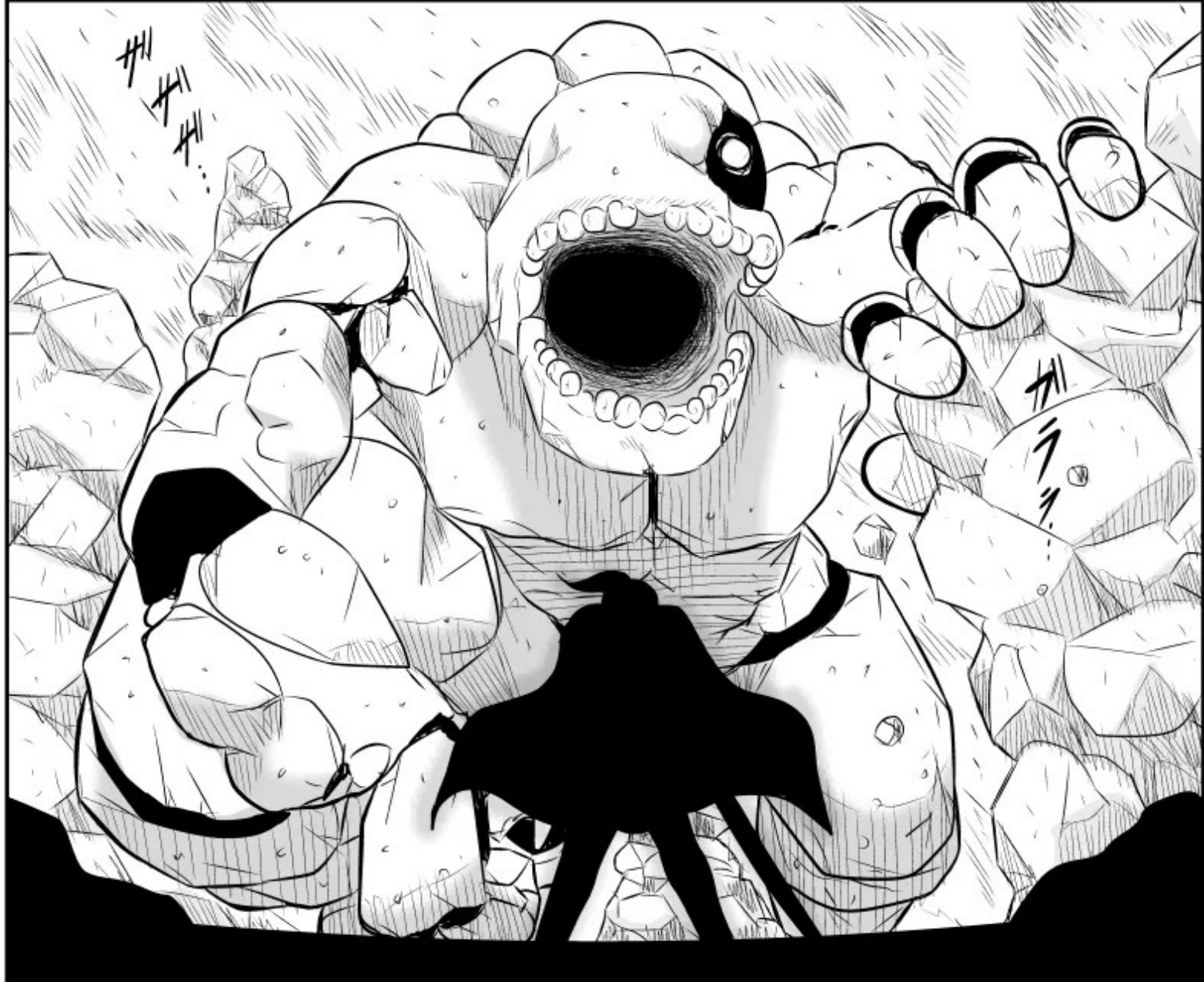
ていうか
俺ら一度
命救われてるから
トントンで
ここまでしてもら
う必要ないんだがな

気がつかれたら
殺されるん
じゃね
俺ら

大丈夫だろ
このひとなら

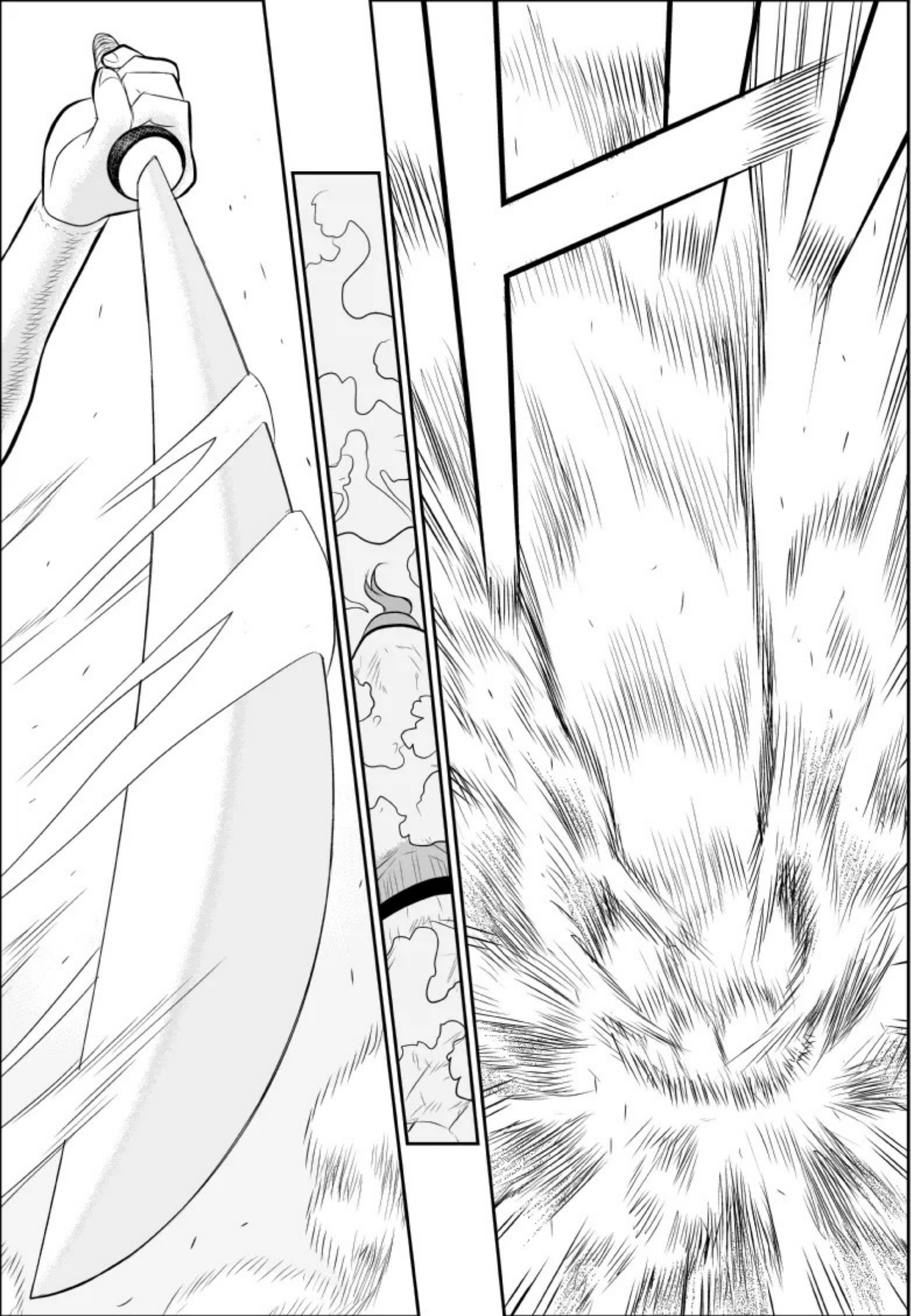
おお
おお
おお

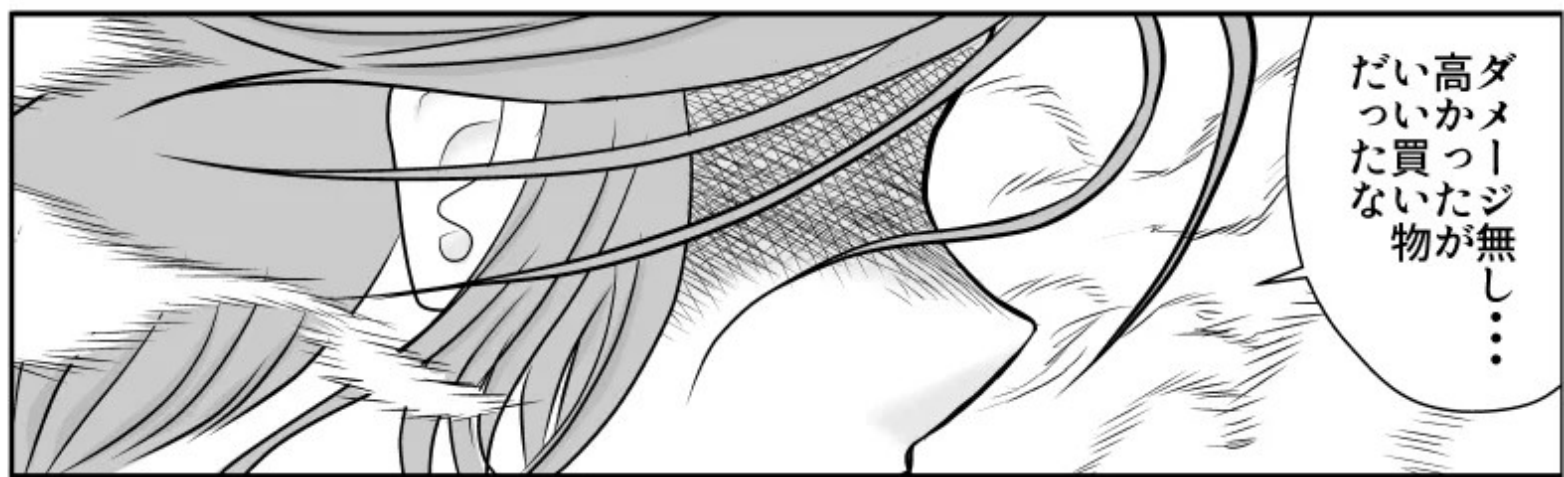
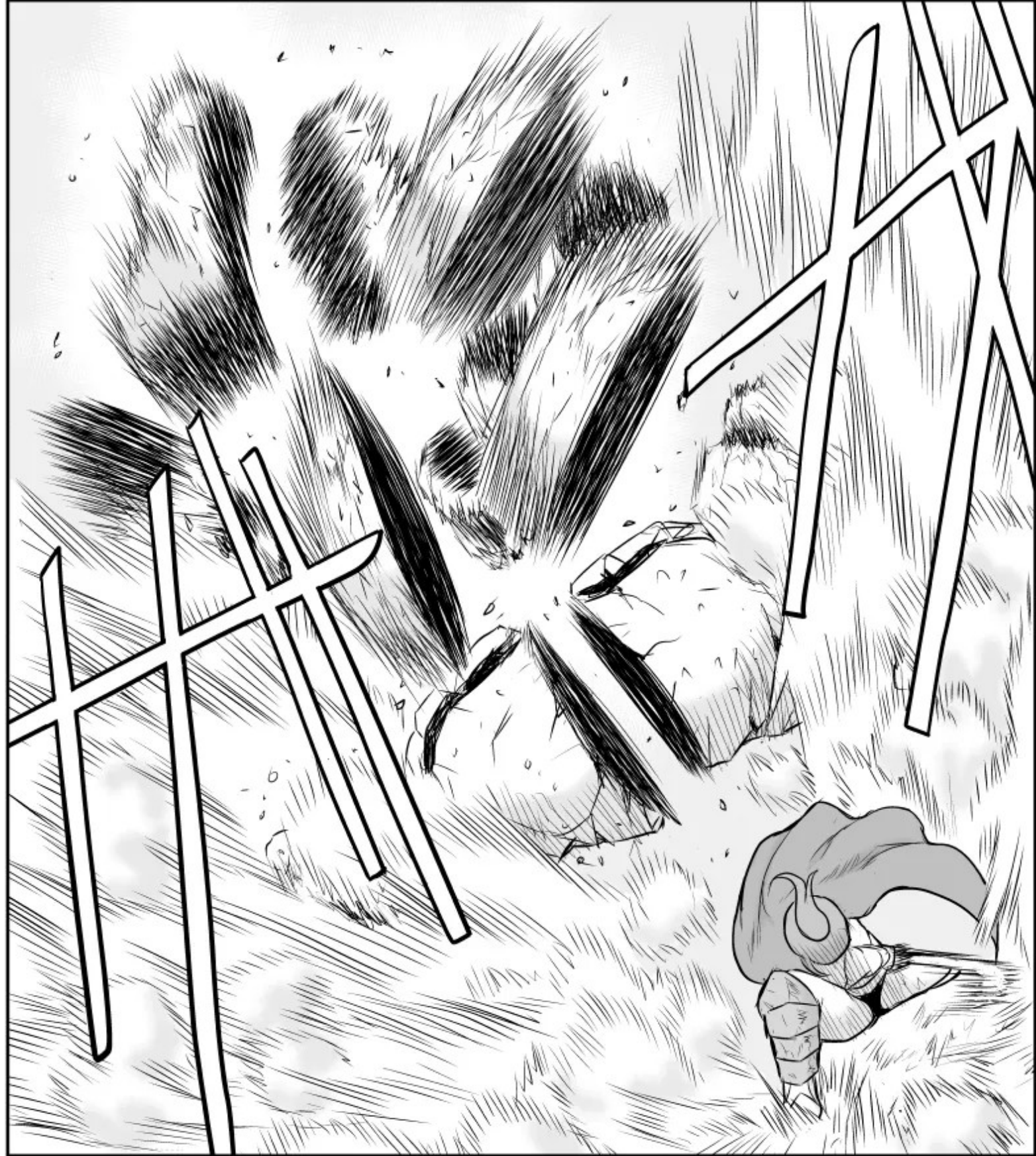
「だまされ美剣士コロナ」終



ギガント
ゴレム…
その破壊力…
鉄をも砕く…
だからこそ
この新装備を
試せる

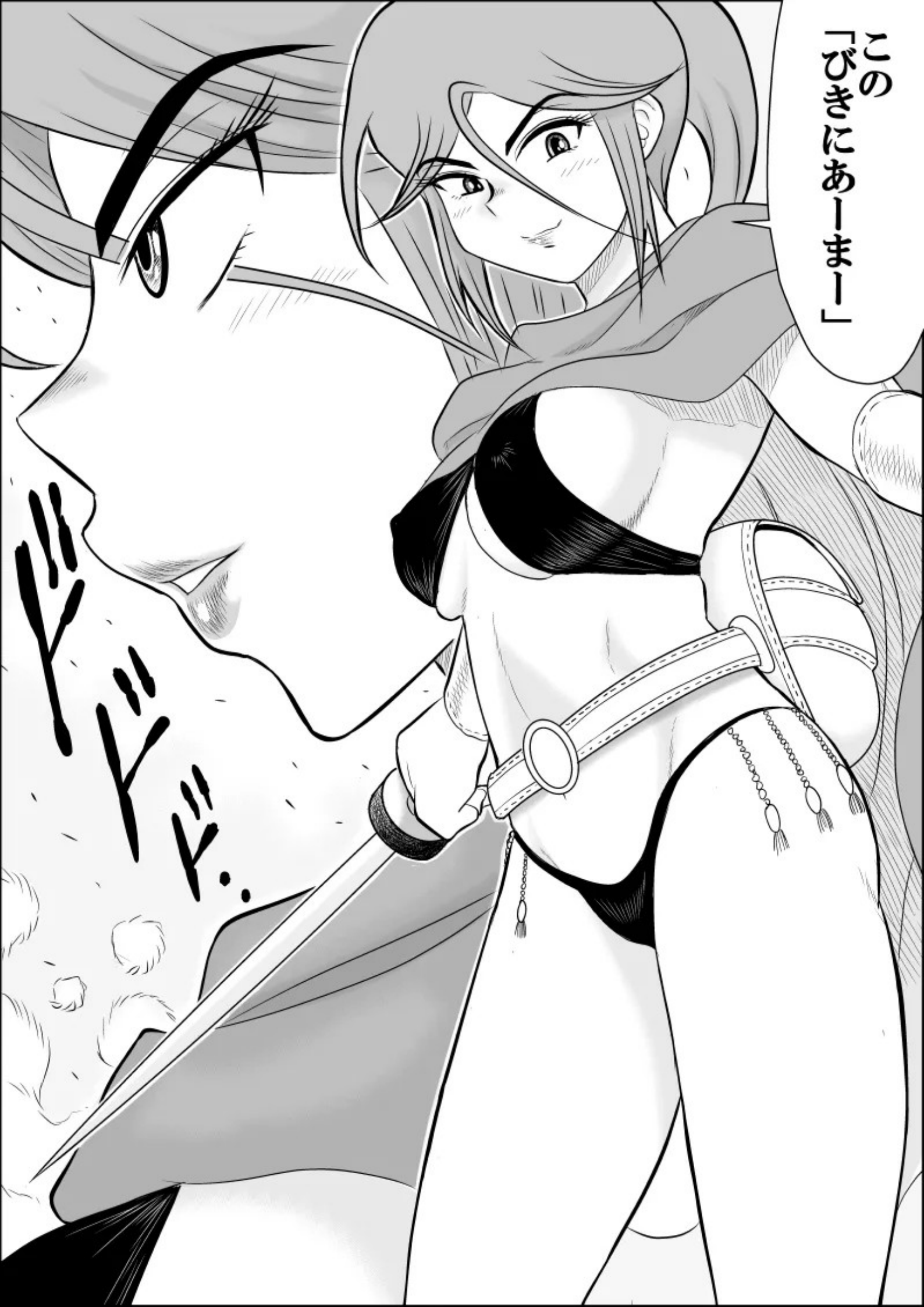






ダメージ無し…
高かったが
買った物
だいたない

この
「びきにあーまー」

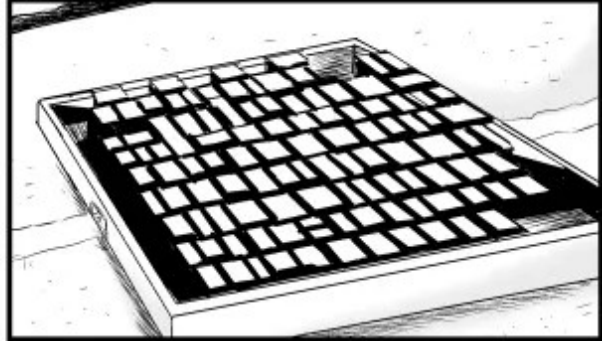




うむ

ジャクッ

では
ゴガレント
討伐料です
ご確認を



あ？
お前
らんのか

おいおい
誰よ
あの
エロ
ちゃん
い



大砂竜
しソ口
たつで
て退治

マジかよ
はじめて
見た

つかなか
踊りなん
で着てん
のか



あれが
紅の
コロナ
だよ

げっ！

辺境一の剣士！



コロナ様……
鎧を破損
したので
ギルドお
すすめの
武具屋を
ご紹介し
ますが……



ん？
鎧なら
着てるだろ

びきに
あーまー

ちがう

それ鎧
じゃない

いやー
すすめ
ときは
どうか
大枚は
だけあ
防御力
素晴ら
しいな

いられた
直った
思った
たが

いやいや
いやいや

…失礼ながら
だまされて
ませんか？
それは
どう見ても
身を守る
ものでは…



？
ゴーレムの
拳が直撃しても
平気なのか？

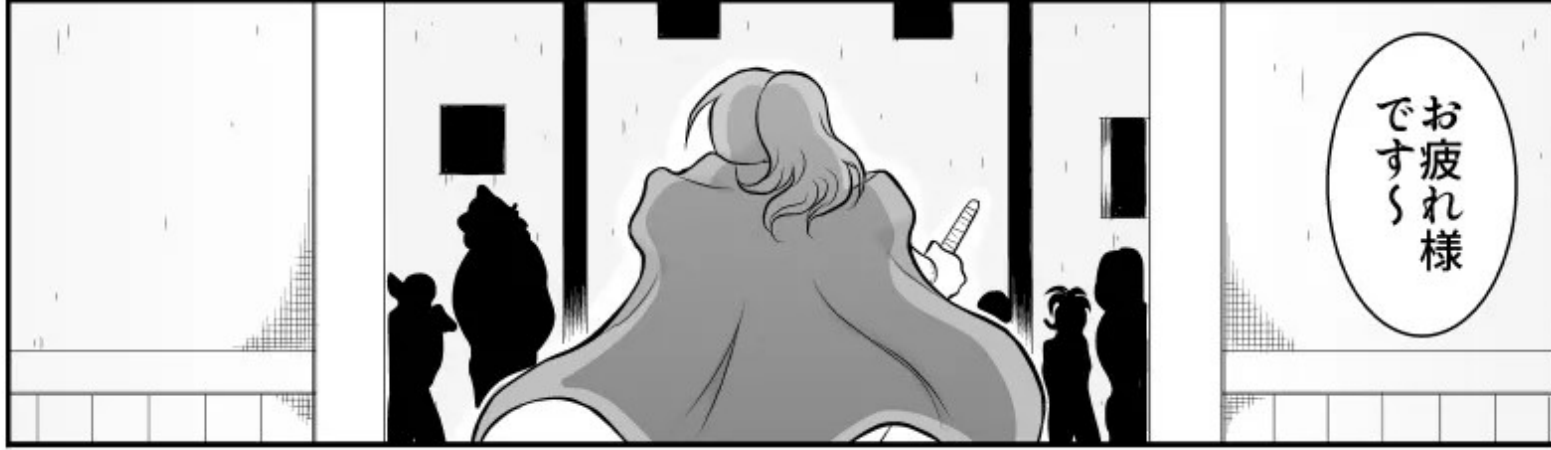
私ピンピン
してるぞ

いやいや
いやいや！

ガフ

ガフ
ガフ

お疲れ様
です



なんなんだ
あの女

ガワ ガワ ガワ

紅のコロナ…
辺境で
並ぶ者無し
強者が…
話だが…



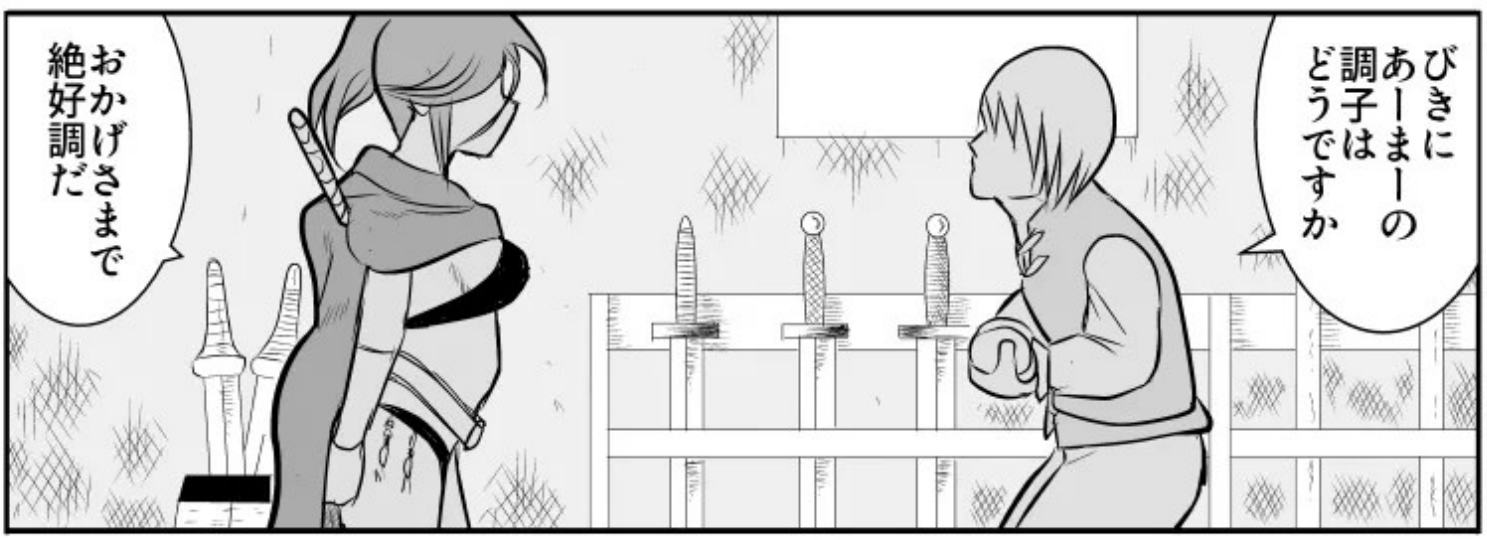
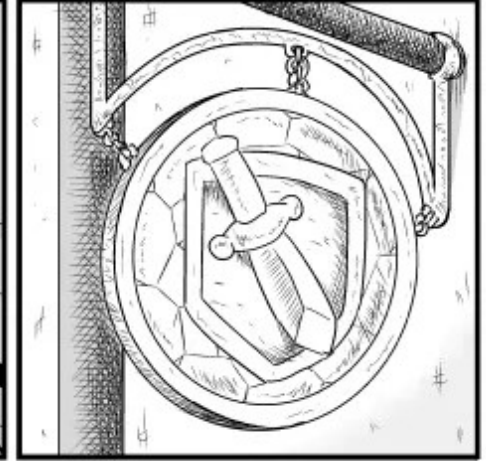
類をみないほど
だまされやすいって
話だ

あ





やあやあ
お帰りなさい
コロナさん



びきに
あーまーの
調子は
どうですか

おかげさまで
絶好調だ



う…
なあ…
もう特に
気にするこ
とないんじ
ゃないか？



では
いつも通り
チエックを
させていただきます



何を
おっしゃいます
天下の紅様に
提供した鎧です

万が一にも
不備があつては
武具屋ゴメスの
名折れですから

おうおう
あい変わらず
綺麗なお肌で

だから
そういうのは
いいから
さっさと済ませろ

はいはい
びきにあーまーは
いまだ
未完成ですから
こうやって
身体つきを
完全把握しなければ

ヒクッ
ギクッ

わん……
わかってる

だから
こうやって
毎回協力
してるだ……ろ



大きな武具屋
として
名をあげたい

そうやって
土下座まで
こしてき
た男



まったく
おかしなこと
になってしまっ
た……



その心意気にうたれて
武具の宣伝を
手伝ってやることにしたが……

シユッ

どうにも
この下心の
強さはな
あ……

まあ健康な
男であるか
ら
ないが……



まったく
幸運のた
く
女神様に
感謝だぜ

借金まみれ
の店をもう
たてたも
うって
とくに力
が
現れる
とはな



なかにクソで
ヤケにあーま
びきにけー相
売りの猛者手
辺境の者
紅つて後で
知ったとては
マジで死を覚
たけどよ悟

こんな脳天女なら
いくらでも
利用し放題だぜ
……ヒヒ

ただ……金もそうだが

このエロい身体も
手に入れたいもんだ

グ
グ

ハ
ハ

あっ

こ
こ
らっ

慌てねえ
慌てねえ

す……
すいません

調子に
のるな
毎回言
だろ
まった
く

仕込みは済んでんだからな

そーいや紅様
お預けしてた
劍の具合はどうでした？

たしかの
貴族用の
ものだったか

ええ
最強名高い紅様が
品質を保証
したとなれば
お客様も
喜びますから



何
——
!?



ん？

実戦で切れ味を
試されてくれれば
言われてたあれが
何かわらなかつた
問題なかっただぞ

剣が折れてた……？



ええ……
正確には
亀裂が入った
よう……
言いづら
いんですが
あなたの力
には耐えら
れなかつた
らしく

持ち主が
振ったら
ポツキリと



わ……
私のせい
か……
それ……
で……
どうな
った？

幸いというか……
賠償金で
済みました
金貨百枚
ほどですが……



っ……

わ……私が
払おう！いや
払わさせて
くれっ！

いえ
私の管理不足
です……
お気になさ
らず……



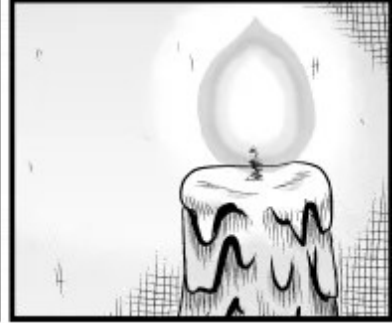
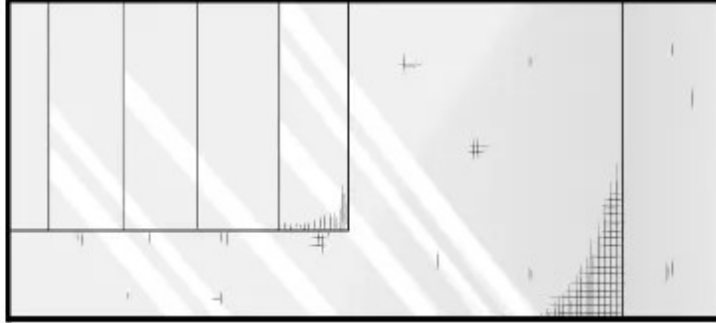
そういうわけにも
いきまい！
原因は私にこそ
あるのだから



ん……っ

ん……っ
ん……っ
ん……っ





お前本当
最低だな……

人の弱みに
つけこんで……

それは
ないでしょ
あたいは
気が持ちは
知つてる
くせに

……
どうだか……
ン……

言つとくが
私は武具屋の
女房になる気は
ないからな

とうわけ
朝の一戦
まいるか
ましようか

はあ？

おま……
しといて……

承知してます

しばらく
夫婦ごっくに
お付き合
くださる
望外の幸
せですよ





ははっ
はっ♡♡

うっはうっは
うっはうっは!

はっあ!
♡♡

ははっ
ははっ
ははっ♡♡
ははっ!

うっはうっは
うっはうっは
うっはうっは
うっはうっは
うっはうっは

ギッ

ギッ

ギッ

まったく何度も何度も……

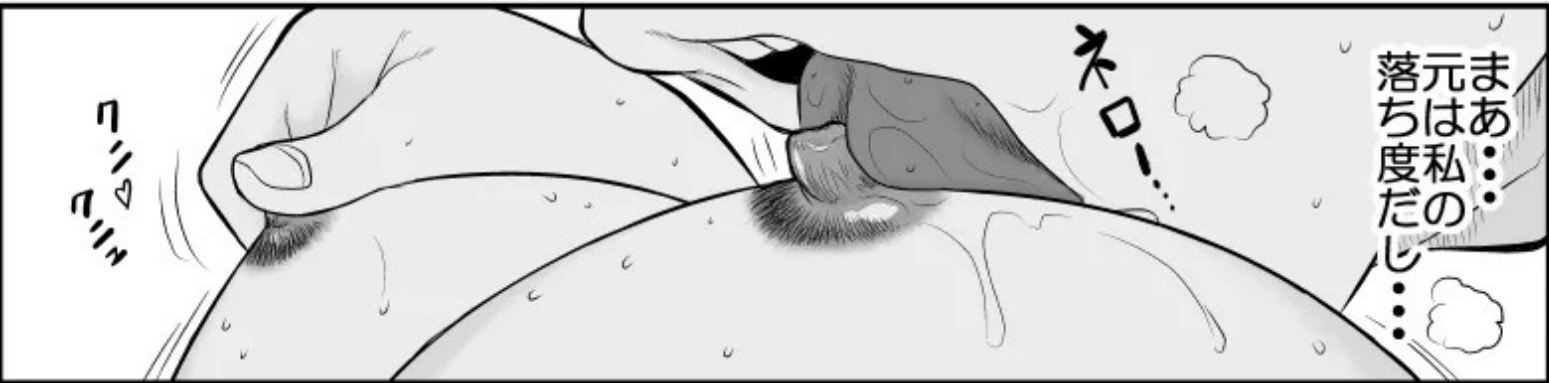
根が真面目だから
抑制が効かなくなるのか……？



まあ……私のし……
元は落ち度だし……

ネロ……

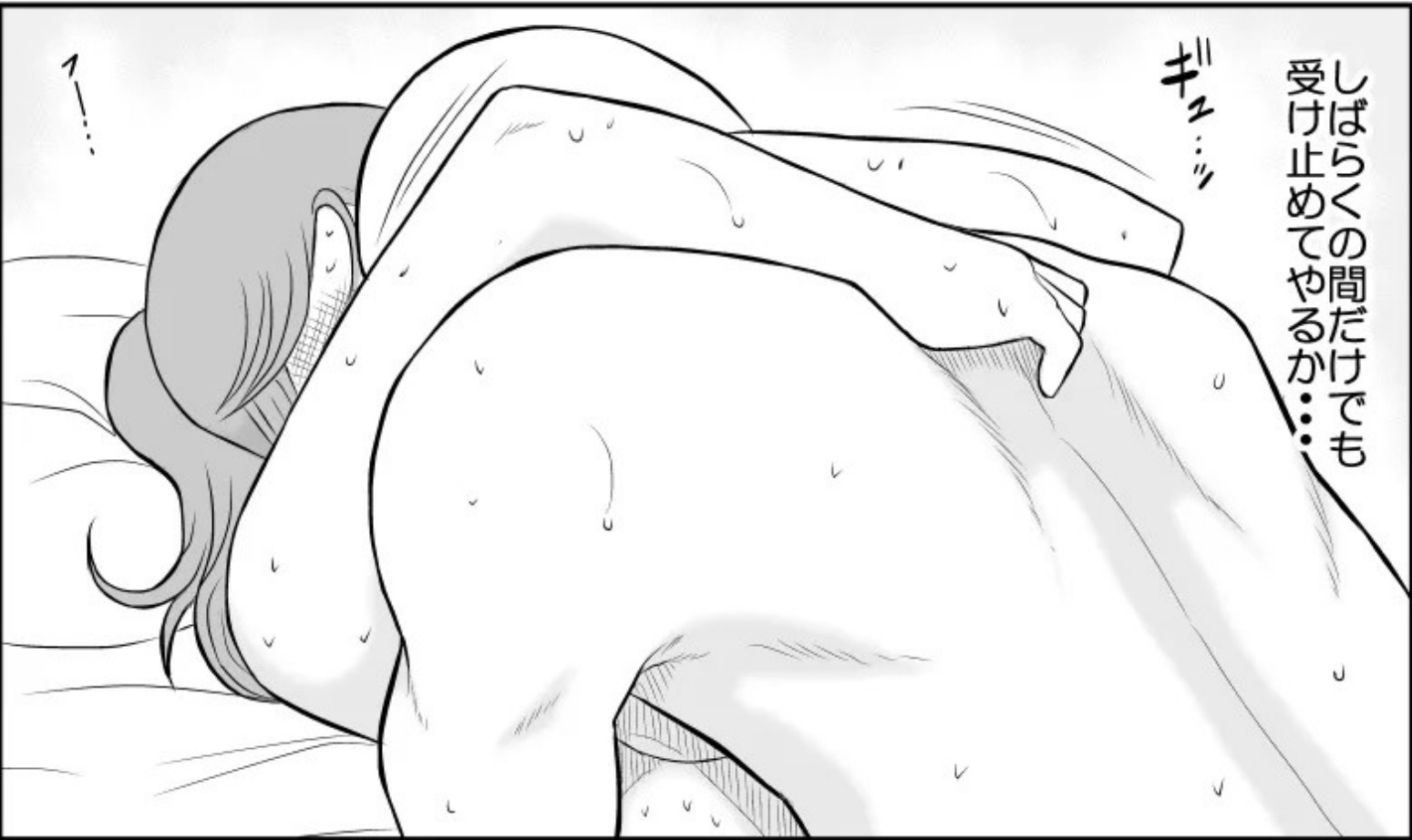
フムフム



しばらくの間だけでも
受け止めてやるか……

ギューッ

↑……



ハハ！腰も
笑いもねえ
止まんねえ

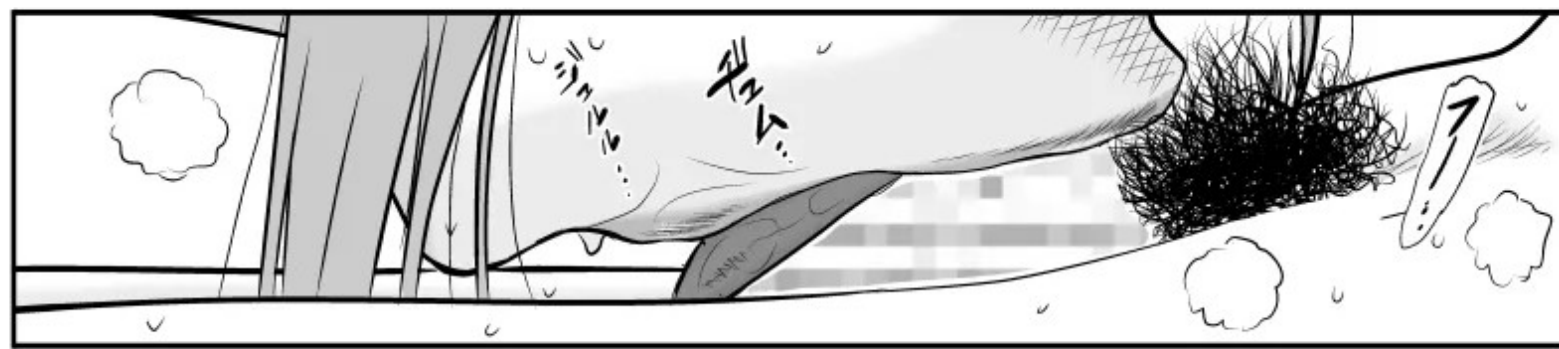
つーか
身体も想像以上に
良すぎ

あッあッ
あッあッ
あッあッ

あッあッ
あッあッ
あッあッ

想像以上に
チヨロすぎで
拍子抜けだわ
この女

胸も尻も
アソコの締めりも
超一級品
何度抱いても
抱き足りねえ



なによりのたまんねえのは
こいつがあらゆる意味では
格上だってことだ

そいつの顔を俺の股ぐらに埋めさせて
チヨロしやぶらせるこの快感……
ヤバえなマジで……



ほら中に残ってるのも吸い出して

これから毎日抱いて絶対ハメ堕としてやるぞ



まの女をこまにだけ入れたい

無論貴族うんぬんは全部嘘っぱち



それから
この隙だらけの女は
毎日金貨百枚を
稼ぐために
魔物を狩り続けた



だが腕利きといえ
辺境で大金
すぐに大金
手にできる
わけはなくなる



毎夜毎晩
俺に抱かれ続けた



おふふ！

んふん
つつん
ん！

ギッ

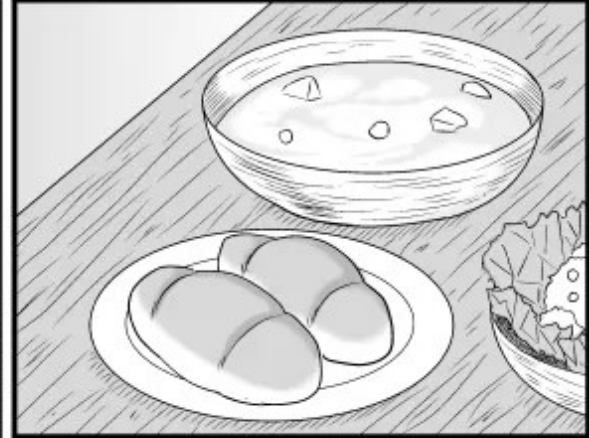
ハッ
ハッ
ハッ

ハッ
ハッ
ハッ



意外と言ったら
悪いけど料理も
出来たんだな
美味いよ

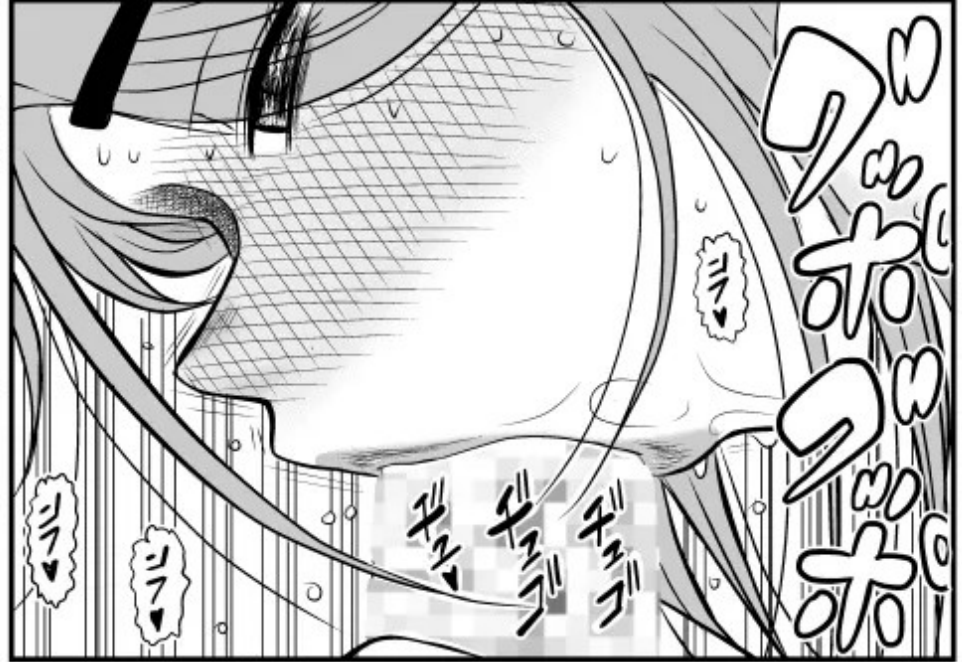
それは
どうも……



俺の
チ○ポも
美味いでしょ

風呂入って
ないから
塩味効いてて(笑)

馬鹿者
ふあかもも



あく最高
食べ終わるまで
そのまま
しゃぶってて

シラ...

シラ...

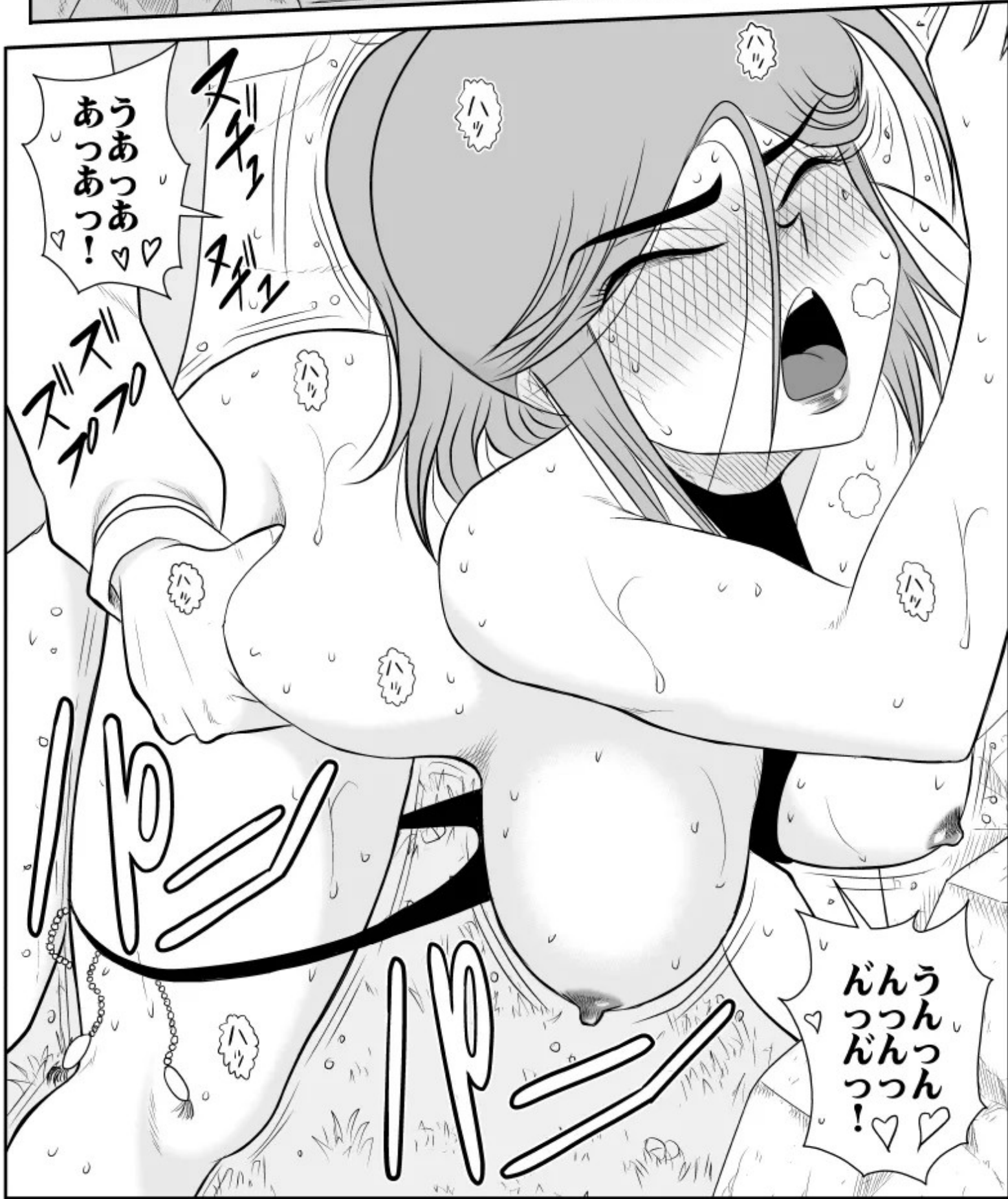
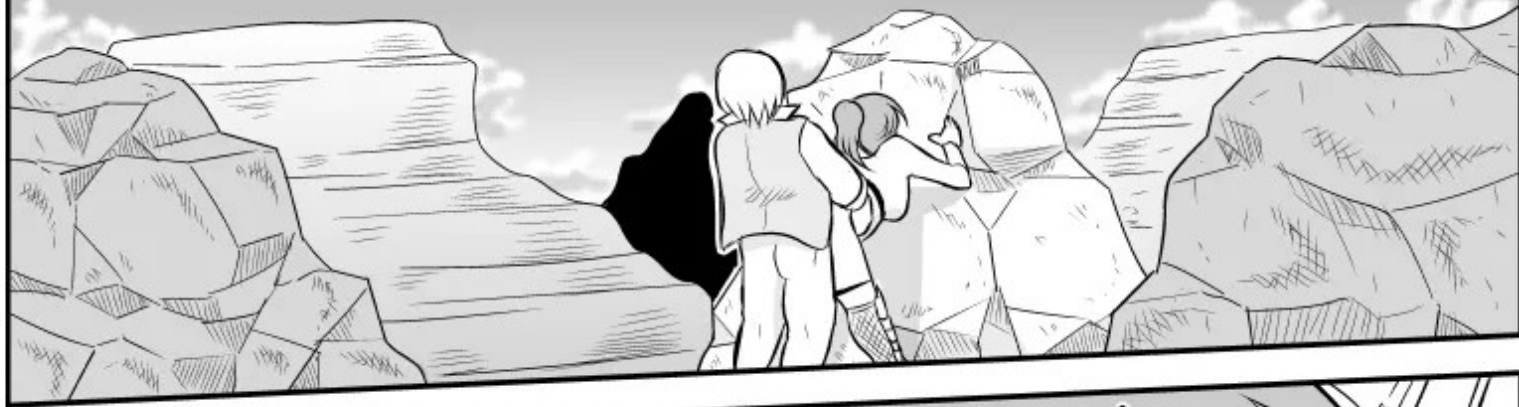
シラ...

ア...

ん...
っ...
...
...

ア...
...

ア...

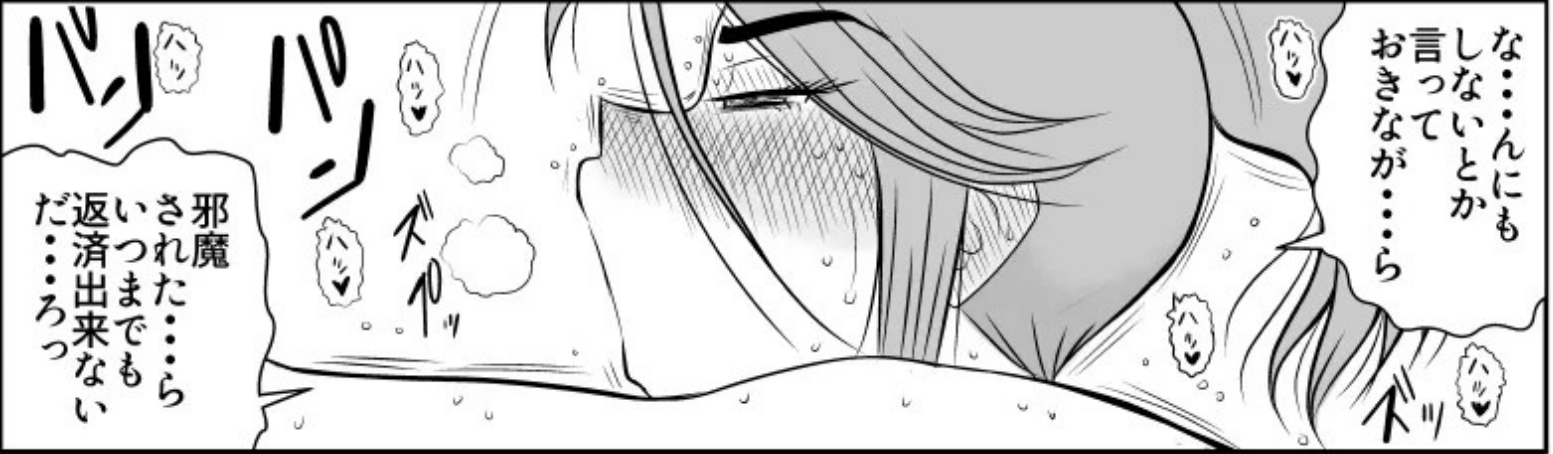


うあつあつ
あつあつ!

アツ
アツ

アツ
アツ

んう
っつん
っつん
っつん!
♡♡



な…んにも
言わないとか
おきなが…ら

邪魔
された…ら
いつまでも
返済出来ない
だ…ろっ

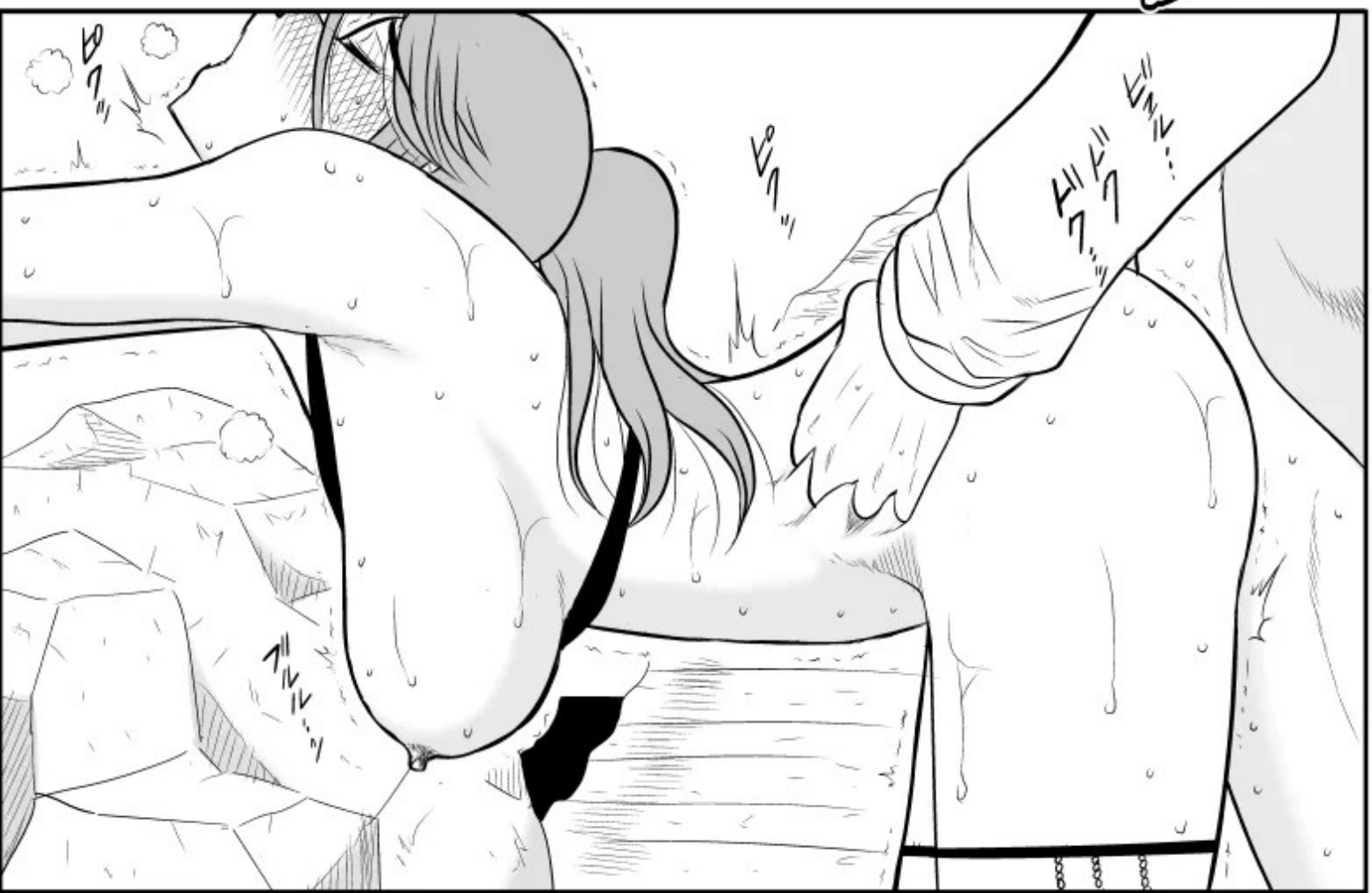


返済
されたら
困るん
だよ

だから
気にしなくて
いいって
ほら
イケそう
だろ？

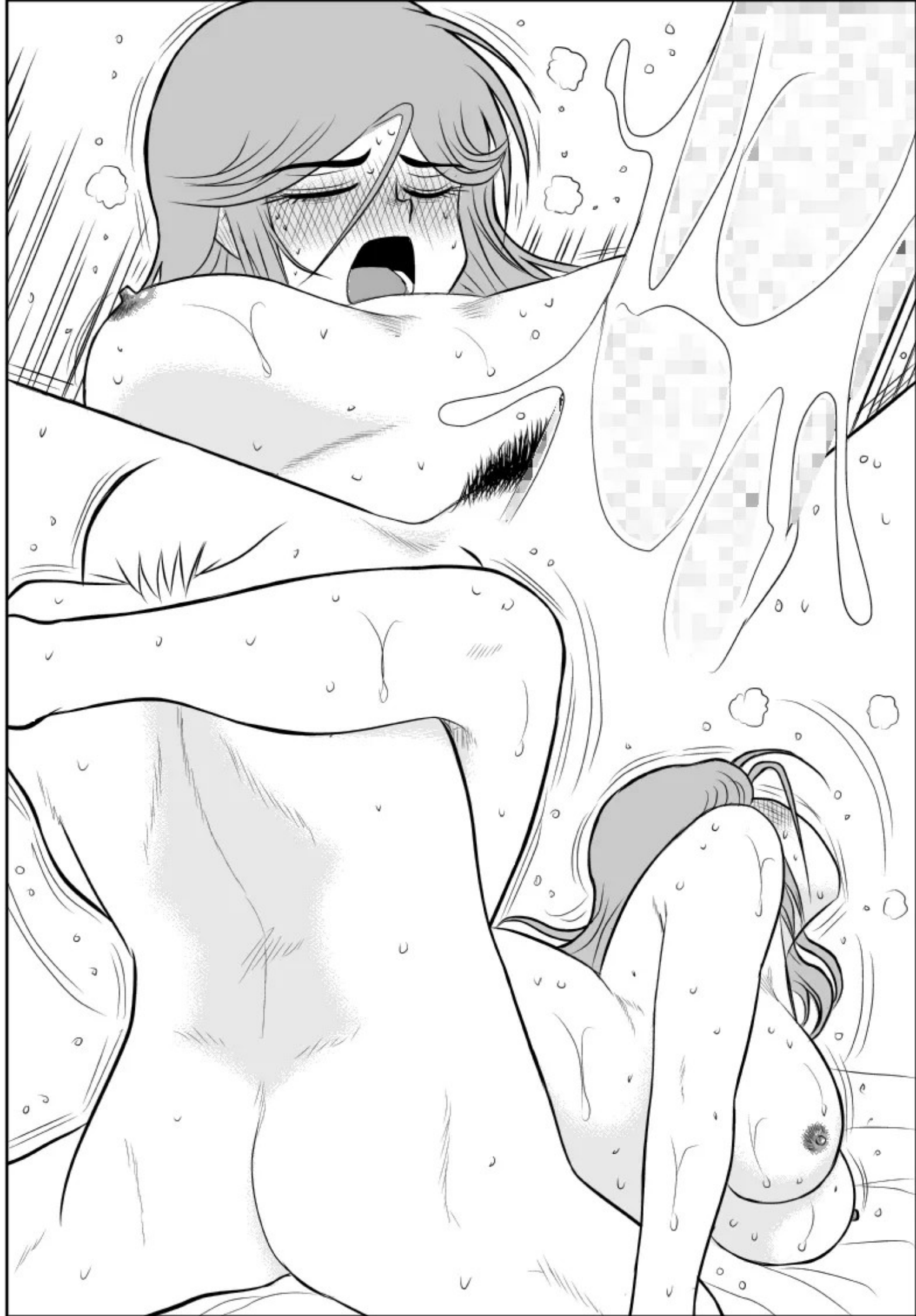


…っ！
く…っ



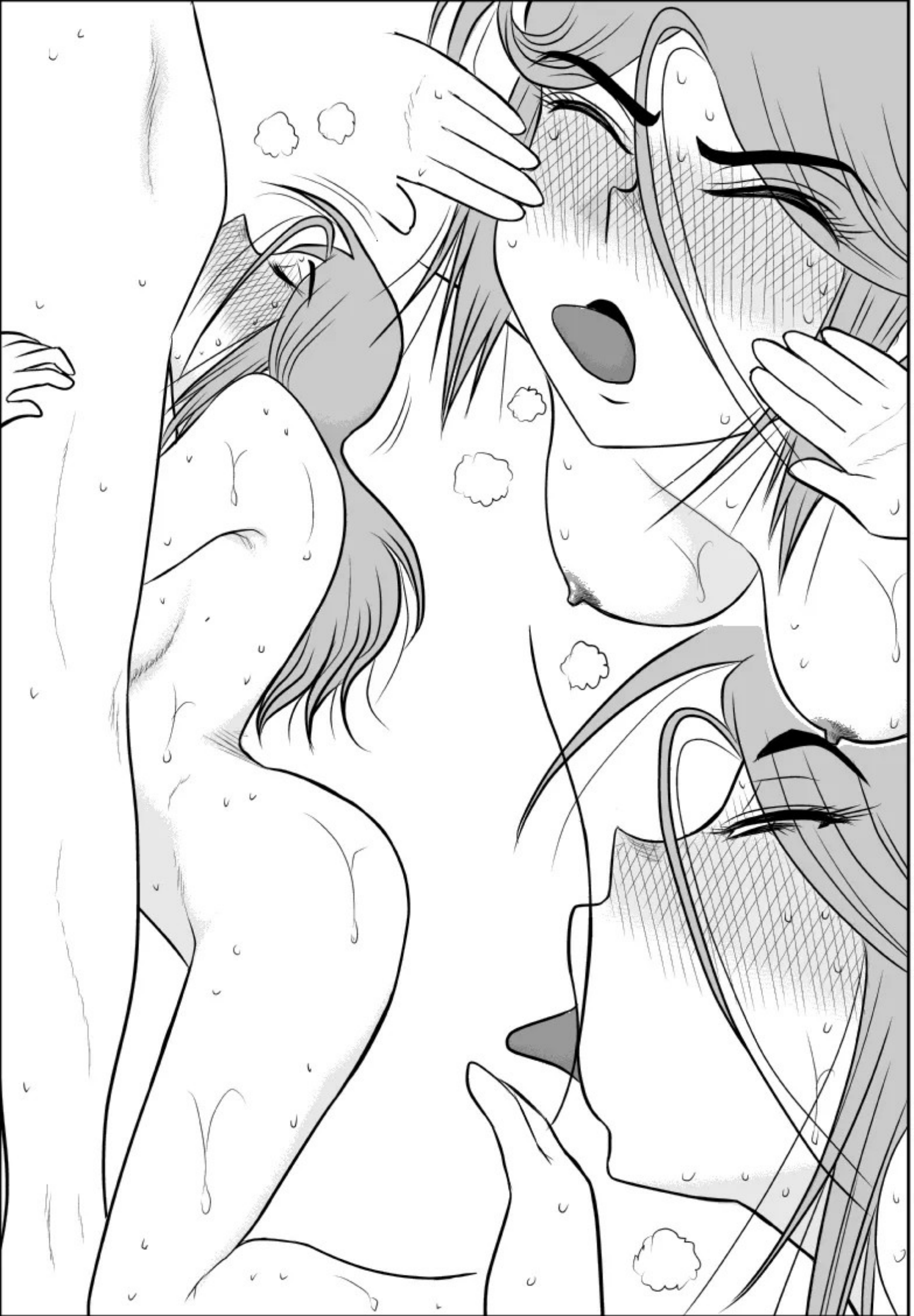
ハッ
ハッ
ハッ…

邪魔
された…ら
いつまでも
返済出来ない
だ…ろっ











良かったぜ
へへ…

ど…
ども…



ようやく
あたしの
番ですか
…へへ



有名な
紅さんが
娼婦の
真似事は…

それもこんな
熱心に…



グッホ
グッホ

この際どうだい
本業に
するってのは
あたしの店なら
もつと
いい稼ぎに

ギョギョ

さっさと
済ませろ
後がつかえて
るんだ

イテデデッ
冗談冗談!



あつあつ
あつあつ
あつあつ!

アツ

アツ

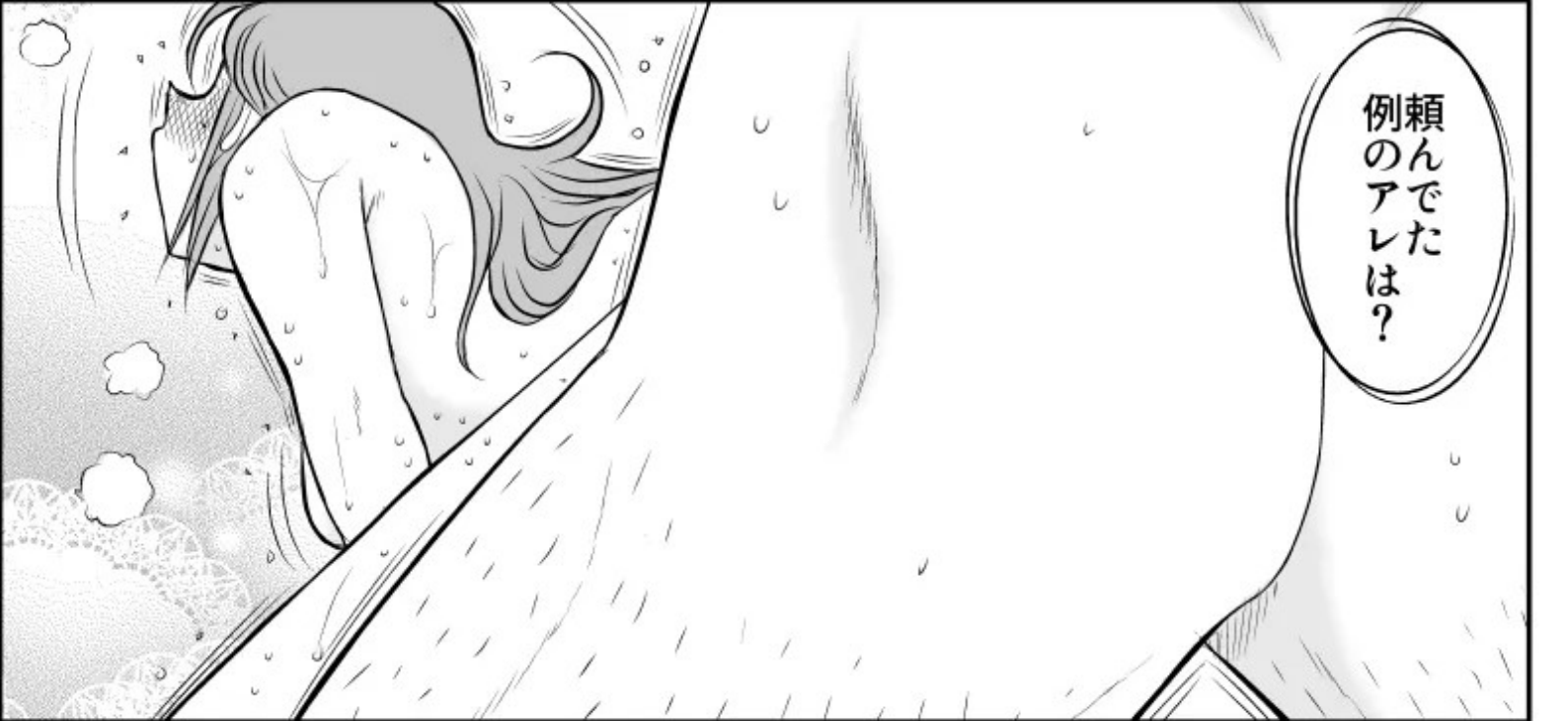
ギョ

ギョ

あつあつ
あつあつ
あつあつ!

ギョ






頼んでたのは？
例のアレは？



ほれ

コト...

飲ませた
相手を
隷属させられる
魔道薬
高かったぜ



ありがとよ
これで完璧に
あの女は俺のもんだ
へへ

っつかの
そんなくとも
使わなくて
とっくにと
堕ちてんだろ

さっき
俺の穴まで
尻の穴まで
平気で
舐めてたぜ

だからだよ
あんなチヨロい女
首輪でも着けなきゃ
誰でも堕とせんだろ

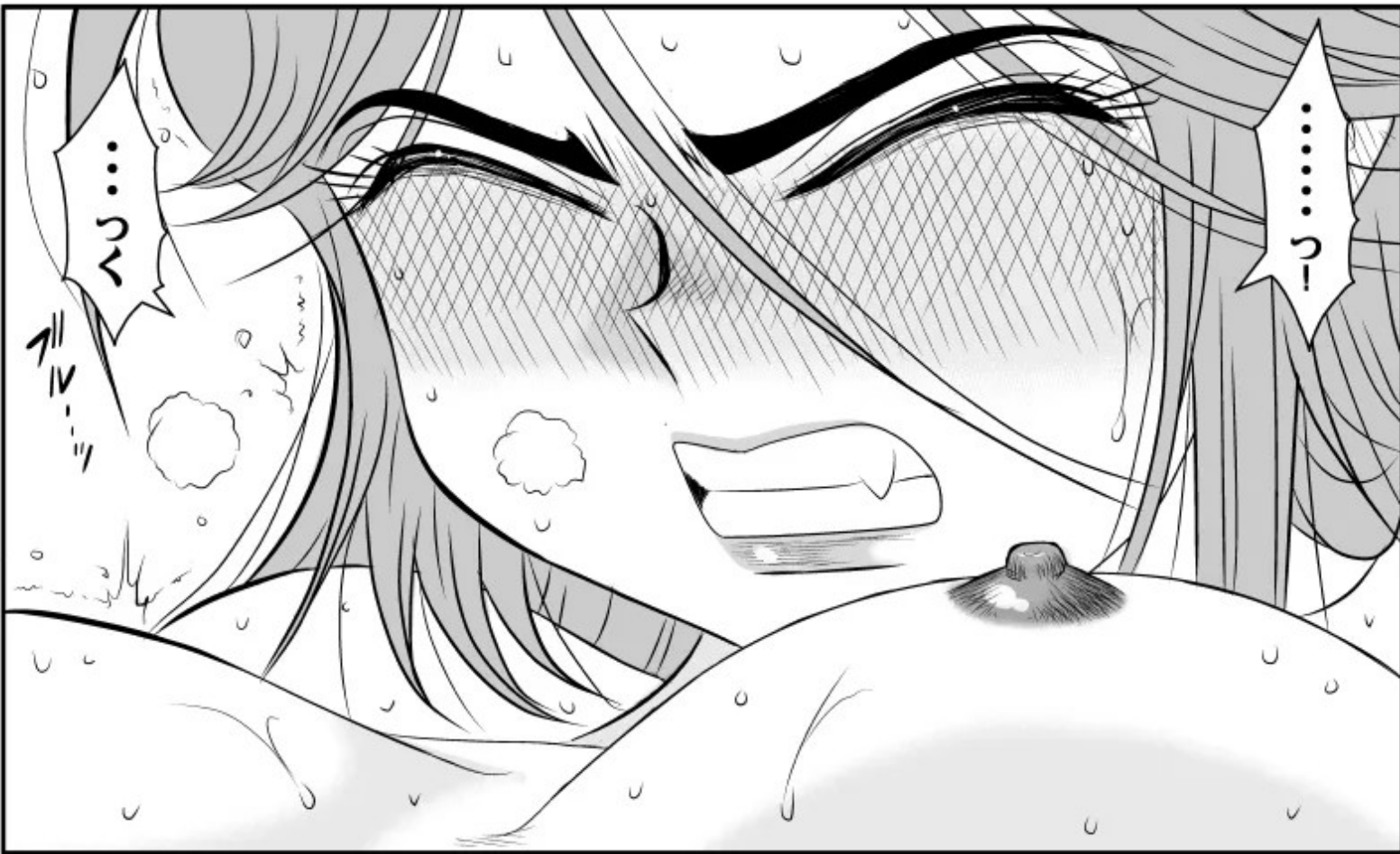
確かに(笑)

オラ
いくぞ
イクって
言え!

キシ

グッ
グッ
キシ

ハッ
ハッ
ハッ



.....
?

.....
?



シャワー

あ
あ
あ
あ
あ

シャワー

シャワー

シャワー

あ



あー
腰痛い

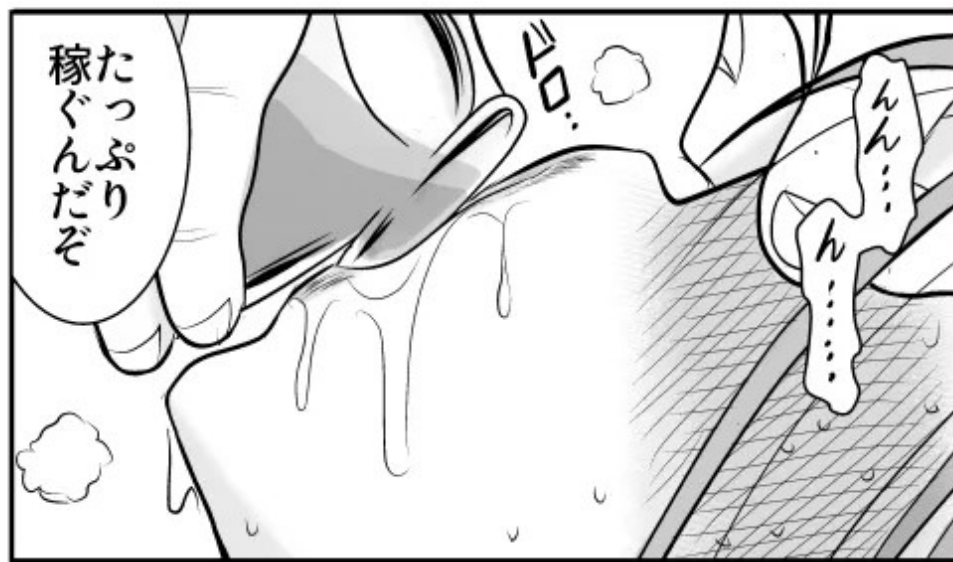
また
来るぜ
へへ…



お前は
本当は
いい女だよ
コロナ…

ハ…

ハ…



たっぷりぞ
稼ぐんだぞ

ムロ…

んん…
んん…



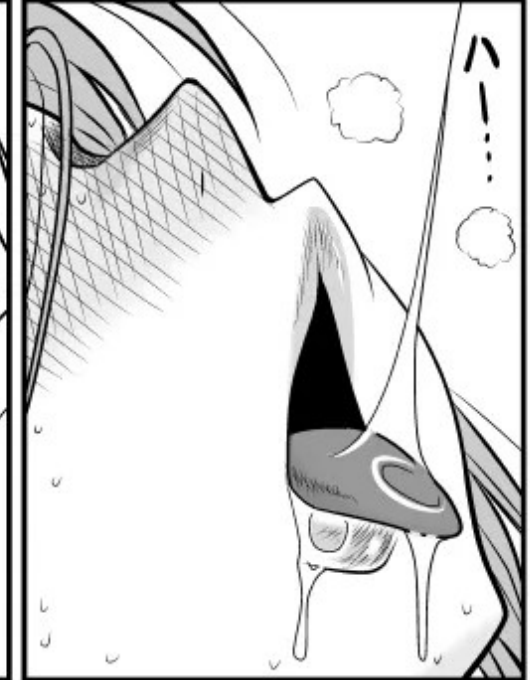
ん…



ホシ
これからも
俺のために



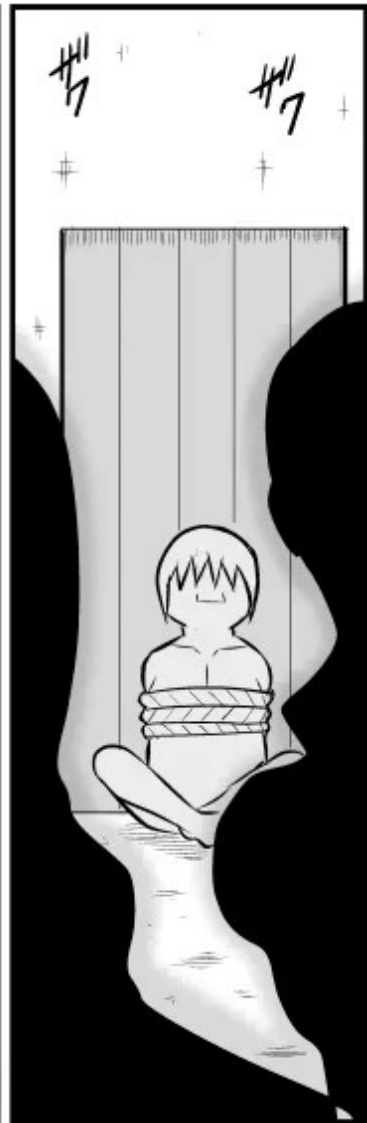
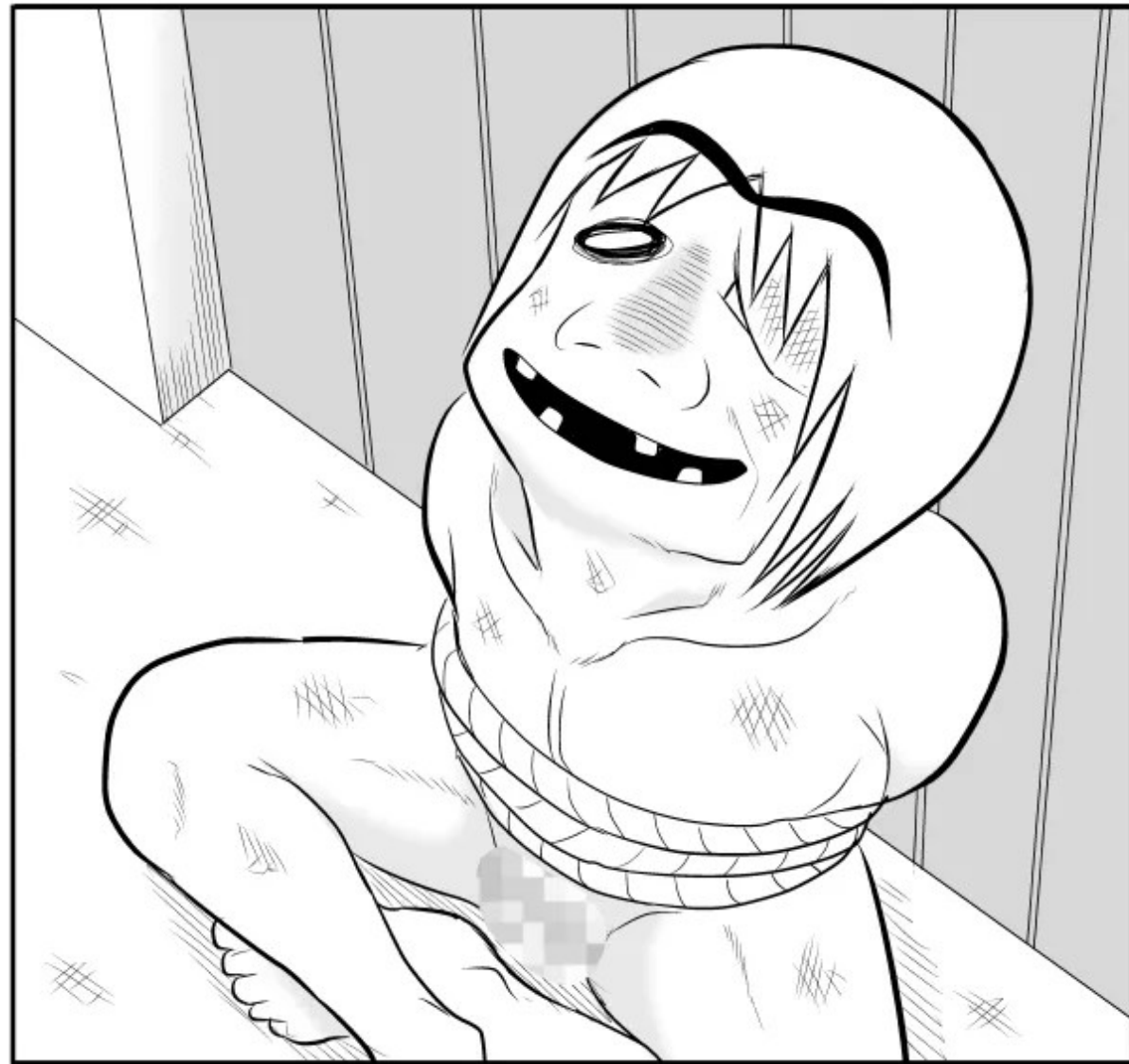
そら
かき混ぜて
やる



うまくすりや
俺もチンケな
武具屋なんぞ辞めて
支配層に………
へへへ……

ひやははっ
やべえっ
夢が止まんね

ゴッ
ゴッ



はあ…
つまり
コロナ様には
魔薬は
効かないと

うむ
昔から
毒や呪いには
耐性が
あるのだ

はあ…

それにしても
何故あの男を
生かして
おいたんです？
お礼を
無礼を
働いたのに…

まあ
反省して
一から
やり直すと
言ってるし

その証として
この「はいばー！
びきにあーまー」を
もらったからな

今度こそ
武器屋として
ちゃんと
やっついていく
だろうさ

ん？

ダンゴロ
盗賊団


辺境では
それなりに名が知れてる
……いや……
……いや……
……だ……
……だ……
……た……
……った……



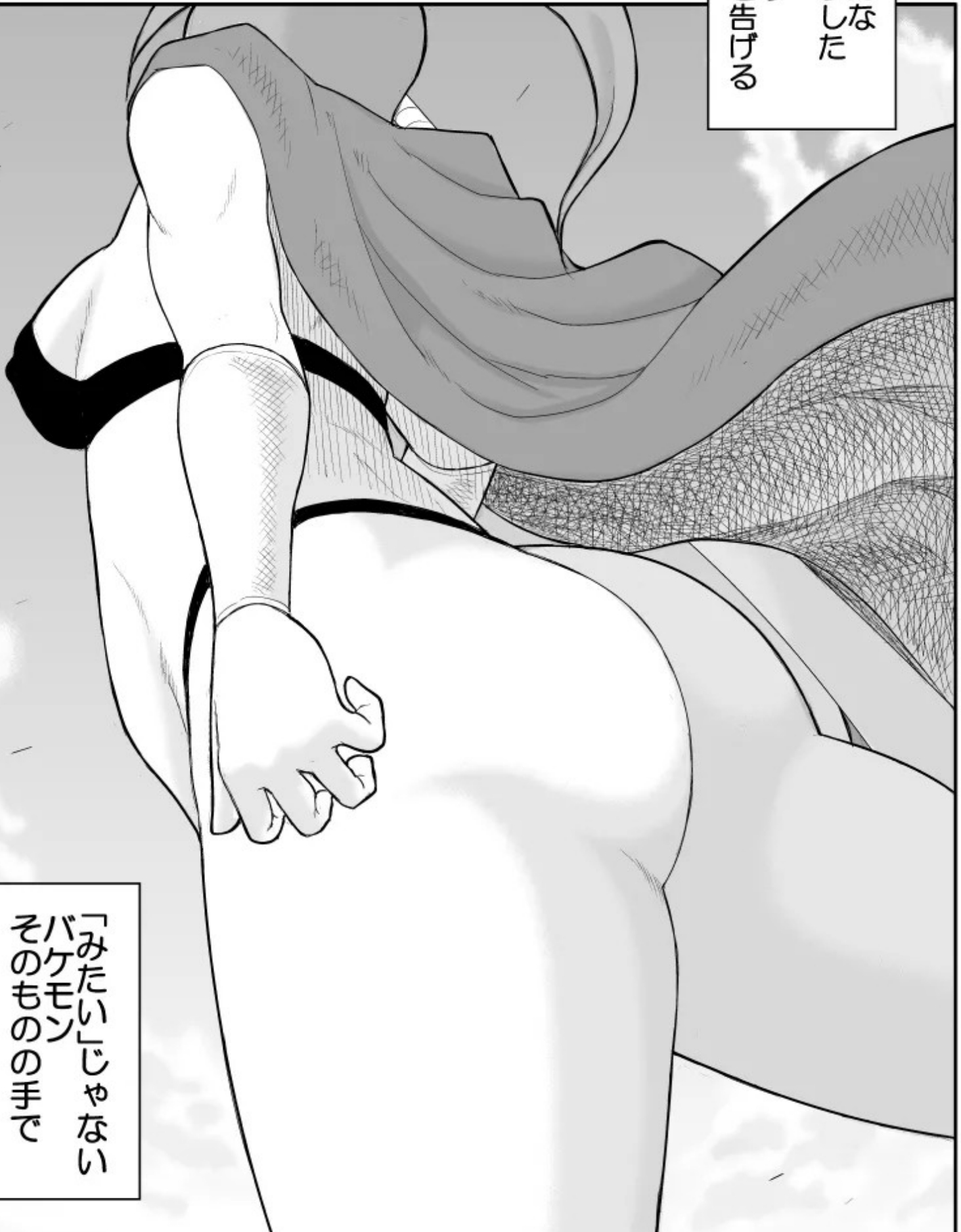
まあ知られてたのは
頭目だ、そのおこぼれに
俺達はそのおこぼれに
あずかっただけだな
なんだけども

砂龍の頭も
一発で砕く
デカい斧を片手で
ブンまわす
バケモンみてえな
人だから
そりゃ俺ら小物は
すり寄るさ

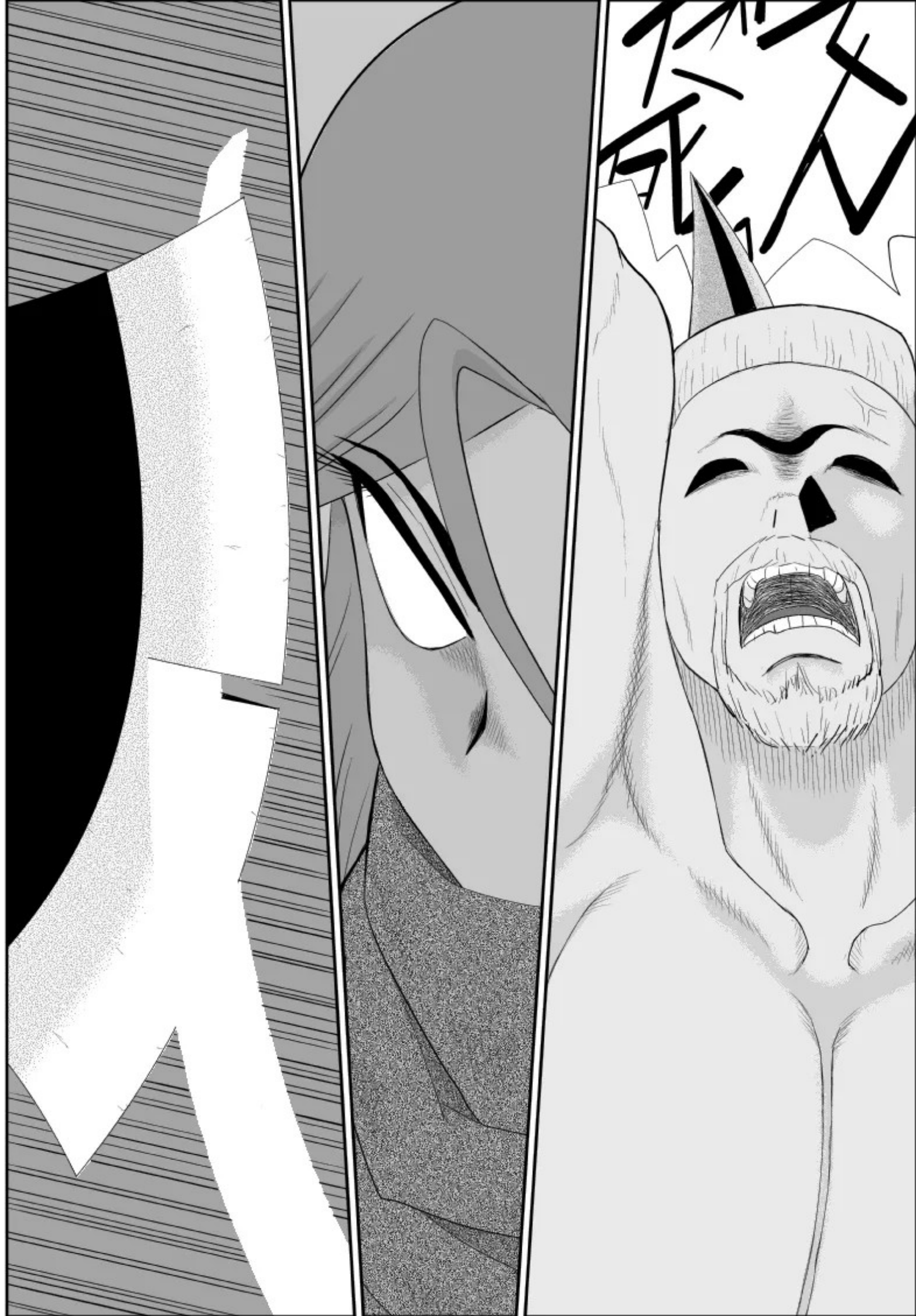


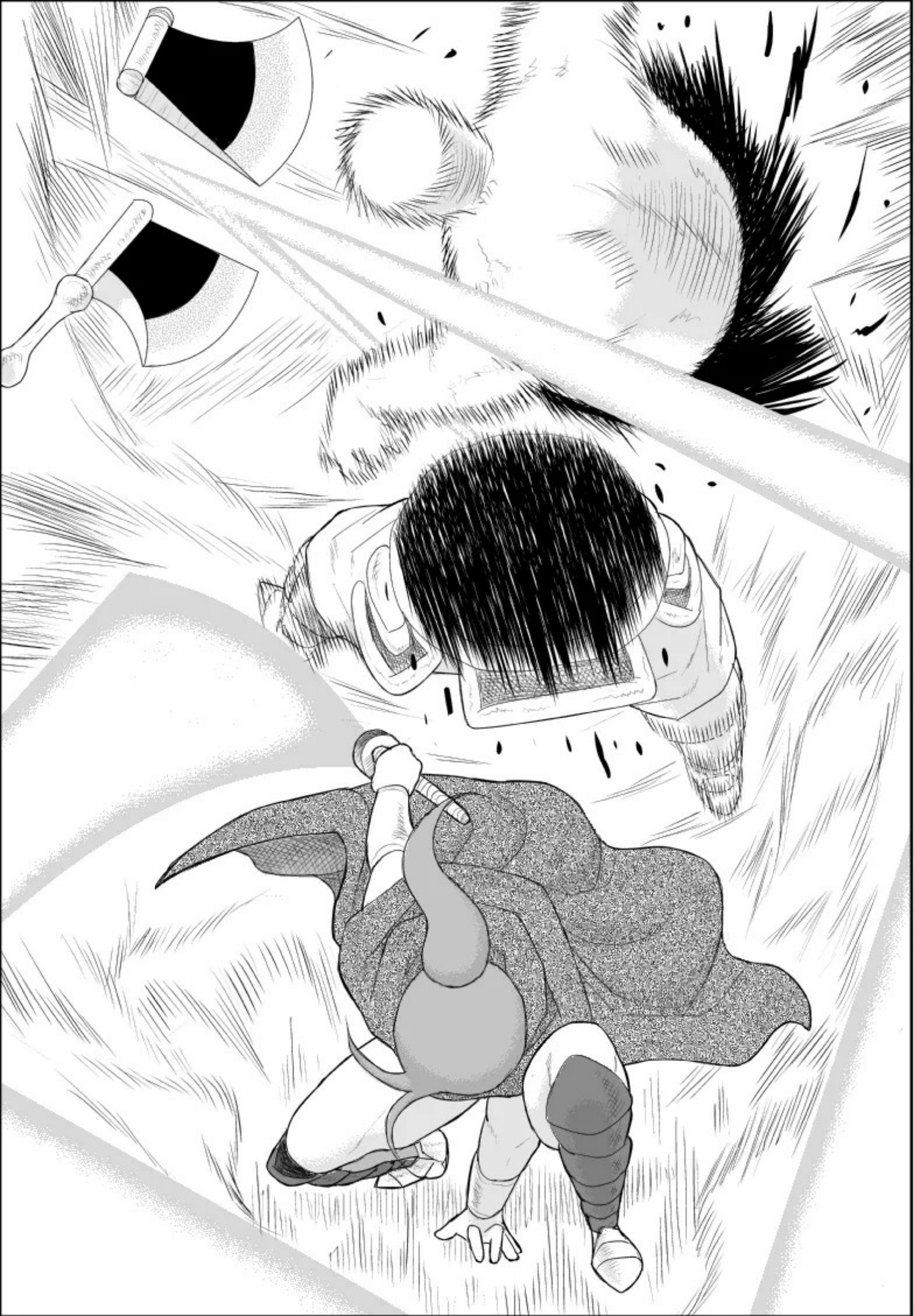


けどそんな
チンタラした
毎日は
あっさり
終わりを告げる



「みたい」じゃない
バケモン
そのものの手で







あつてええええ

つかのコロナじゃねえか

あーあ

俺以外に外れてか
見事なやねえか
じゃ

全員のこと
あつてたくせに
知っててくかなあ
なかってくかなあ
向

まあ見た目は
姉の工口は
姉の差がだしい
変に強んだらうけど
させたんだらうけど

自分に見え
変な夢ねえ
俺の勝ち

竜骨刃の大剣を
ぶんまわす
辺境最強の
女剣士

この稼業はいすれ
やつてりゃいすれ
出くわすとは
思ってたけど
いきなり来て
勘弁してくれ
とか

獲物は確実に
ボスなんだろ？
雑魚の俺に
興味は無えよな？
そのま帰って？



それは
苦労をしたな

あ……というか
ひょっとして
私が斬った
なかにも
同じような者が
いたの？

バラバラに
しちやったか？

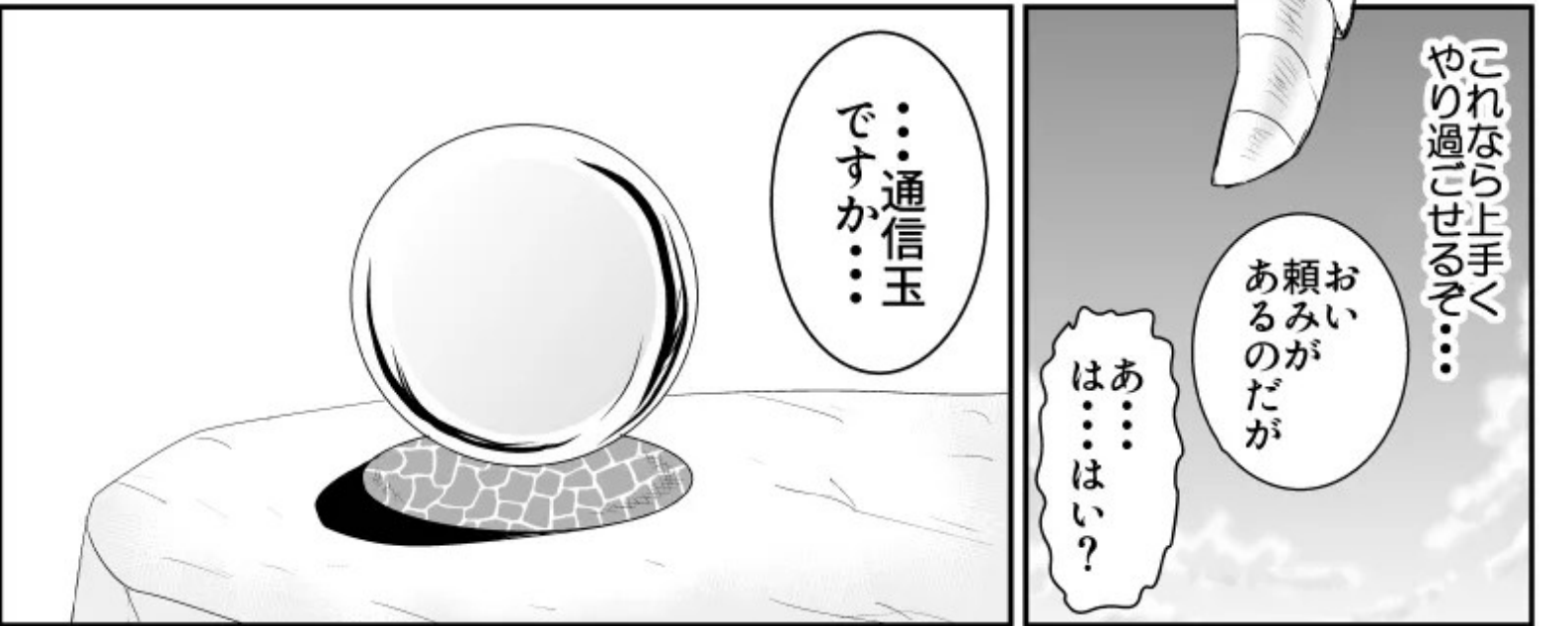
あ……いえ
俺だけです
……はい

信
ぢや
った
よ
マ
ジ
で……



ピキピキ……

紅の
コロナ
は立つが
めっぽう
腕は立つが
嘘みでえに
だまされや
聞いてたが……



……通信玉
ですか……

これなら上手く
やり過ごせるぞ……

頼
み
の
だ
が
あ
る
の
だ
が

あ……
……はい？

私はダンゴロや
奴隷と繋がってる
奴隷商を潰す
依頼を受けてきた

奴らは使って
それをとりあつて
連絡をとるじゃ
ないか？

はあ……
多分……
クソ
いい乳な

それを利用して
連中を
上手く
呼び寄せたい

……え……
まさか……

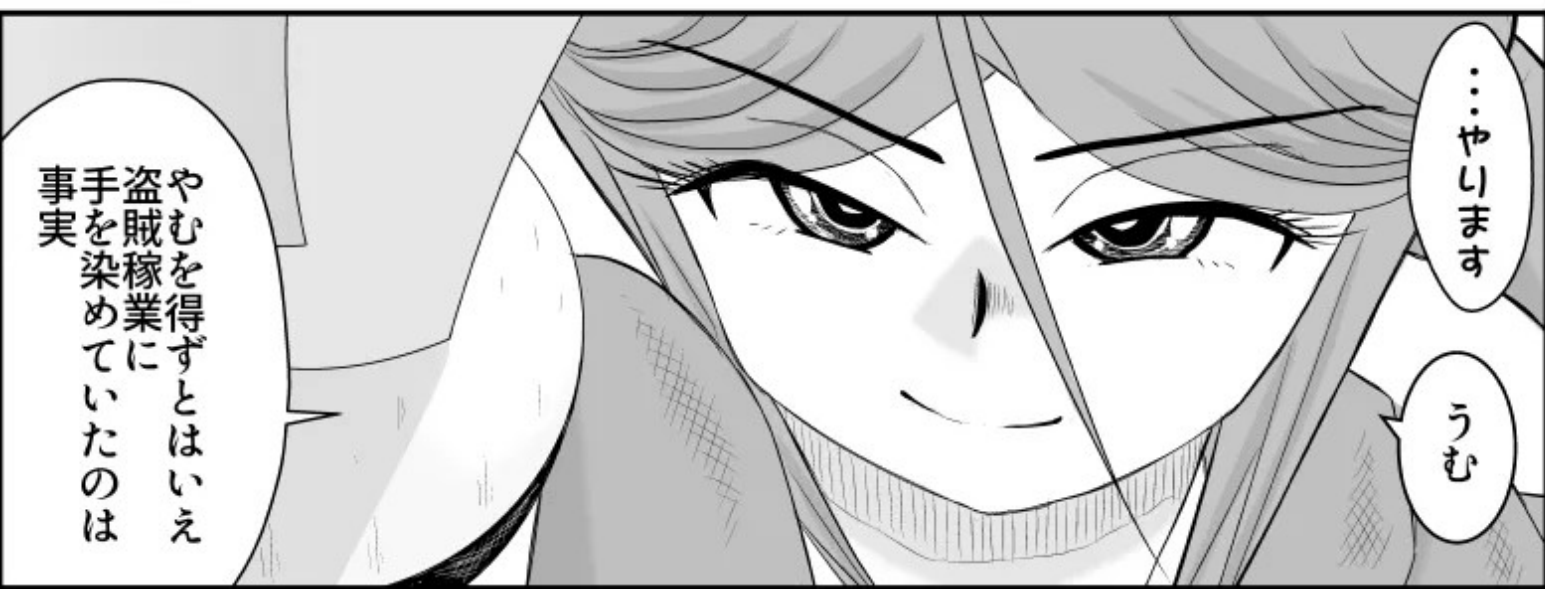
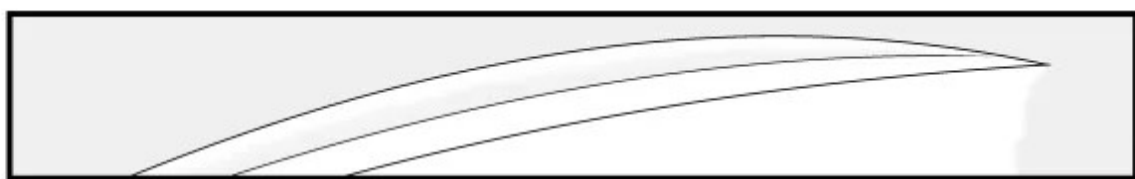
うむ
あいつらの
仲間のふりを
して取引を
もちかけて
もらいたい

やっめろやっめろ

ふりじゃなくて
実際に仲間だ
よ
殺されるだろ

お……俺に
とてもそんな
大役は……





共に
奴隷商を倒して
罪滅ぼしを
しようじゃ
ないか

ク・シ・ア・マ



ダンゴロが
殺られるとは
信じられ
ねえな

信じられ
ねえけど
事実なんです

噂以上の
バケモンですわ
紅のコロナ

ご覧の通りで

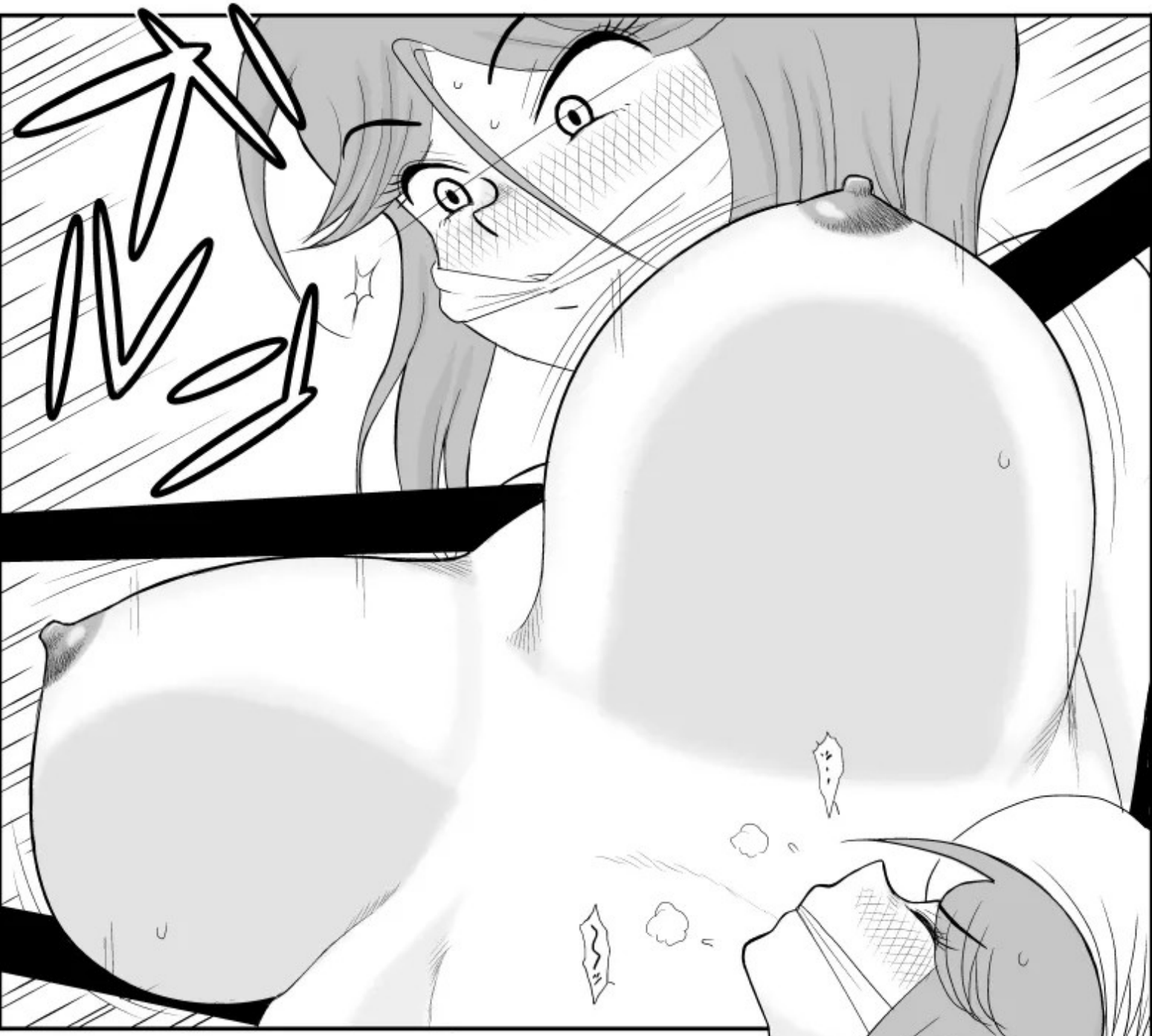
それ以上に
信じられ
ないのは
そのバケ
モンの
お前と
お捕ま
えただ
こと

^^^

一体
どうやった
?

あー…
ダンゴを
殺って
気を抜いた
ところを
痺れ薬で…

で
後は…



こうして
調教中
でして…
へへ…

おいおい…
大丈夫なのか

いっ
いっ
いっ

いっ
いっ
いっ

紅のコロナが
売りに出されれば
相当な目玉になる
そうでしょう？

フッフッフッフ

そりゃあ
まあ……
かなりの
高額の
売れるだろうよ

だがドラゴンを
野生の動物を
飼うのは
客にならない
か
なんかいねえぞ

ククク
ククク
ククク

ツブツ

シー……
大丈夫
ですから

ンーン……！
(おい……ここまで
やれとは……)

任せてくださいよ
キツチリ
牙あ抜いて
みせますから

フッフッフ

ククク
ククク
ククク

ツ
ツ
ツ

ウ
ウ
ウ

……とりあえず
使いを
送ってやる

金も頼んまずぜ
……へへ……

ドラゴンにて
喰い殺されて
なきやな

んぎっ!

カッ

だられろがろ
あそこまで
やっていいと
言った

×キキキ……

シイイイ……

んげげ……
あそこまで
やらないと
信じません
って……っ

ヤバい稼業の
連中は
うまい話ほど
疑ってかかる
もんなんです
から……っ

実際警戒
しまくってたでしょ
絶対腹ん中で
「震くせえ」って
思ってますよ

だから
震でも
ここまでは
やらないって
確信させるん
ですよ

んん……
んん……
んん……



もうこの際
開き直りだ
本当に
奴隷として
売り飛ばして
やるぜ

このバカ女の
ちよろさなら
不可能じゃねえ
一発逆転
大金持ちだ

そう考えると逆に
ツイてたかもな……

フフフ



私はコロナ

辺境の冒険者だ



悪名高い盗賊団の
ダンゴ口頼さは
壊滅を依頼した
が、まだ終わらな
い

奴らと繋がって
いた奴隷商も
潰さなければ
中途半端だから
だ

そのために
一計を案じた
のだが...

どうです
いい泉でしょ
ここ

まったく...
好き勝手
してくれ
た

いやいや
計画のう
ちって
言っただ
ですか

ん...っ

10
10
10
10
10
10
10
10
10
10



普段の俺は
優しいってとこ
教えたくて...

フキ
フキ

ああいうこと
してるのは
あくまで
作戦上のことだ

バヤ
カメろ

調子にのると
痛い目を
みるぞ

おほ
おほ

口調が
ちつとも
怖がつてないぞ

男というのは
どうして
一度許すと
態度が
変わるんだらうな
まったたく...

ザッ
ザッ

グモ...

ほら
もつと念入りに
しゃぶれ

グッ...ゴ

ン...

ズン...ン

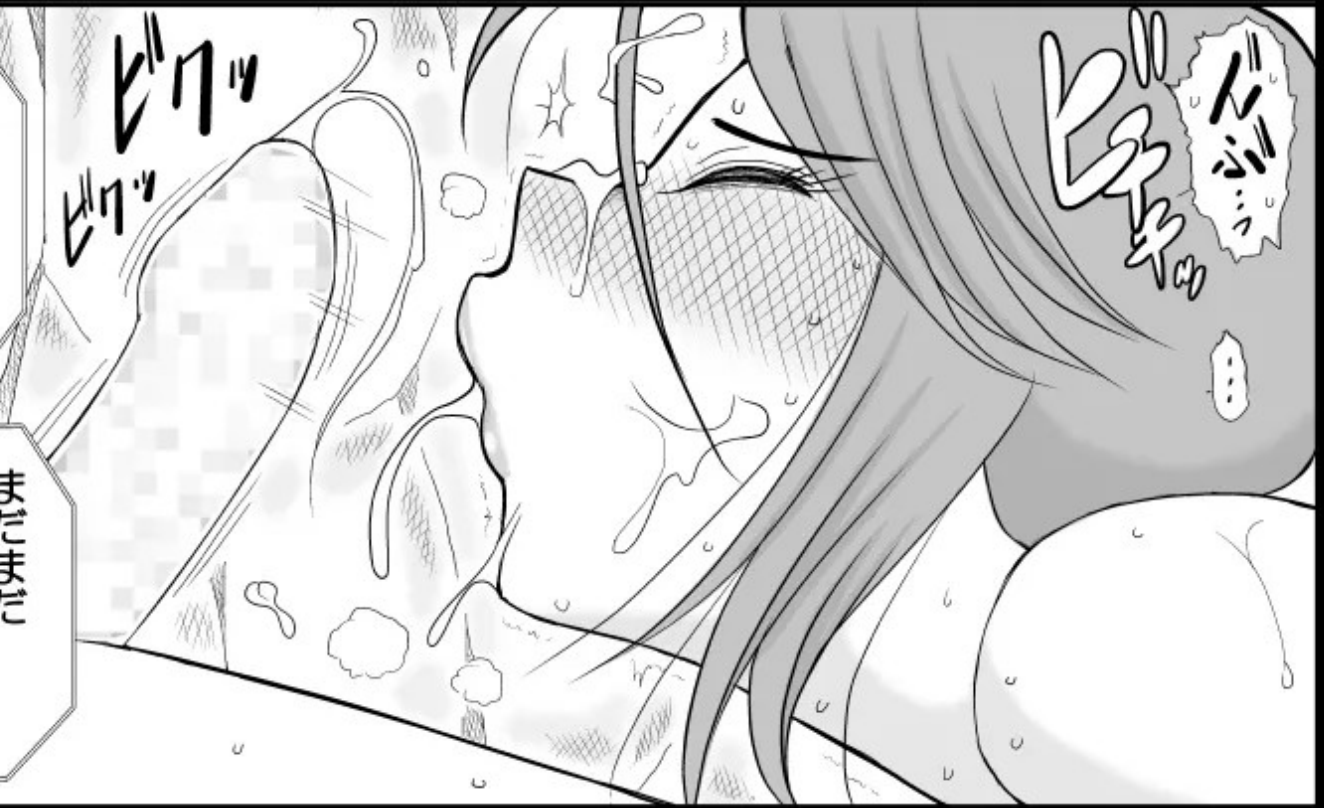
えー…
ごらんの通り
調教は
順調です

最強と
呼ばれて
女剣士が
むしやぶる
つまんで
たいねえ
絵スね



おっと
飛び出し
ちまいました

まだまだ
教えな
ダメです
ハハハ





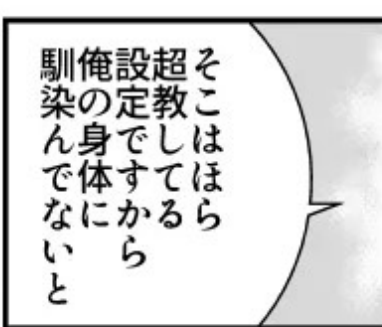
…なんで
通信してない
ときまで
こんな…

ズキキ…
ズキキ…

レール…!



ぎこちない
雰囲気
出してたら
すぐ
バレますよ



そこはほら
超教してる
設定ですから
俺の身体に
馴染んでないと



本音はただ
楽しんだら
思えんのだ
が

正直は
否定は
しません♪

まったく…

ズキキ…
ズキキ…

ズキキ…

ズキキ…



締まりは良く
膣内は
うねりまくって
絞りとられる
感じですよ

最強剣士の
アソコはハメると
喰い干切れそう
イメーシですが
これが名器！



はいどうも
今日も元気に
超教に励んでおります

どうです
この丸で
メスを出
した顔



どうやら紅の
コロナさんは
根が好き者ね
みたいです

だから
こんなこと
しても……



こうやって
甘い声だけ
であげるだけ



あ
あ
はあ

この落差が
いまない人
しい値をつ
よようね〜
でい





拘束
千切るなよ

通信中
ブチッて
いったときは
泡食ったぞ

んっ♡ふっ♡んっ♡んっ♡!





まったく千切った
どんだけ
馬鹿力なんだよ

そ…そうは
言うが…な
厳しいぞ…

私…
その…



おおおお
おおお

ビクッ

あ…っ

あ



感じやすいでしょ
もう
知ってるっつーの

ア…

ア…

ん…

ん…

見えまのすかり
ごらんのはり
もつかせんは

その必要も
ないくらい
完璧にま
ちてます

シッキエ
シッキエ

……

……

……

……

……



ゴク:
どうやら
本当らしいな

ええ
そりやもう
バッチリ

アキッ
アキッ
アキッ

おあ

おあ



もういだろう
使用の連中が
そっちに着く

細か
い話
は

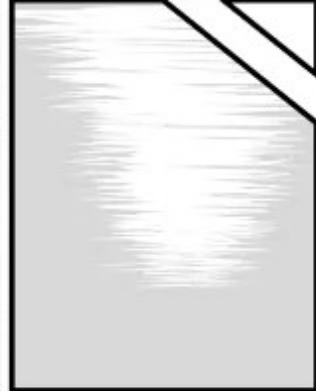
おあ
ハッ

ハッ

お待ち
してませ

アキッ
アキッ
アキッ

アキッ
アキッ



だから
もうお前と
こんなことする必要
ないんだが……な

ハ……



うまいこと
いきましたねえ

キエ……

キエ……

まあな……



そう
言いながら
抵抗
しないでくせに

ま……まあ
お前が
いろいろ
協力してくれた
おかげだしな
……うん

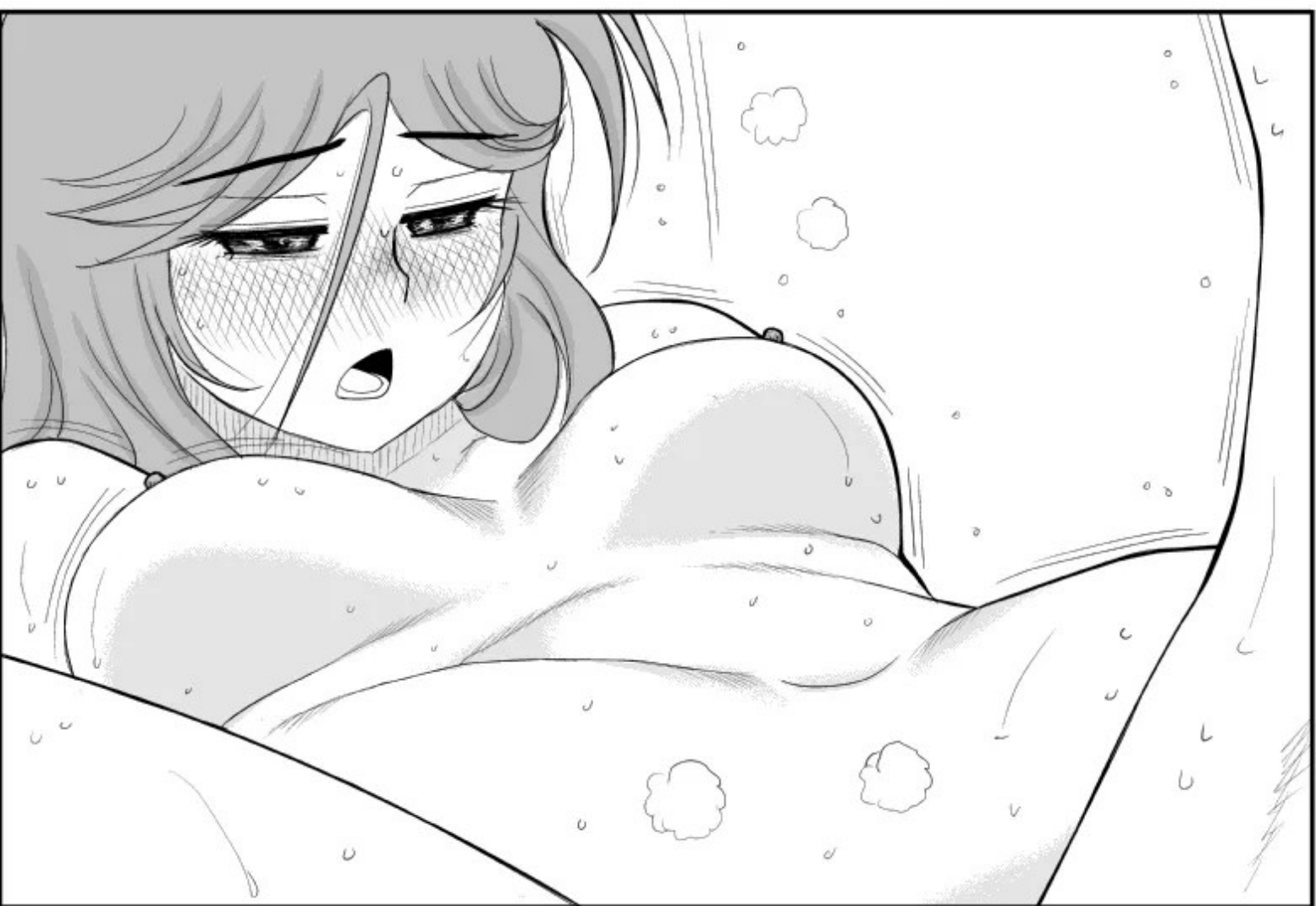
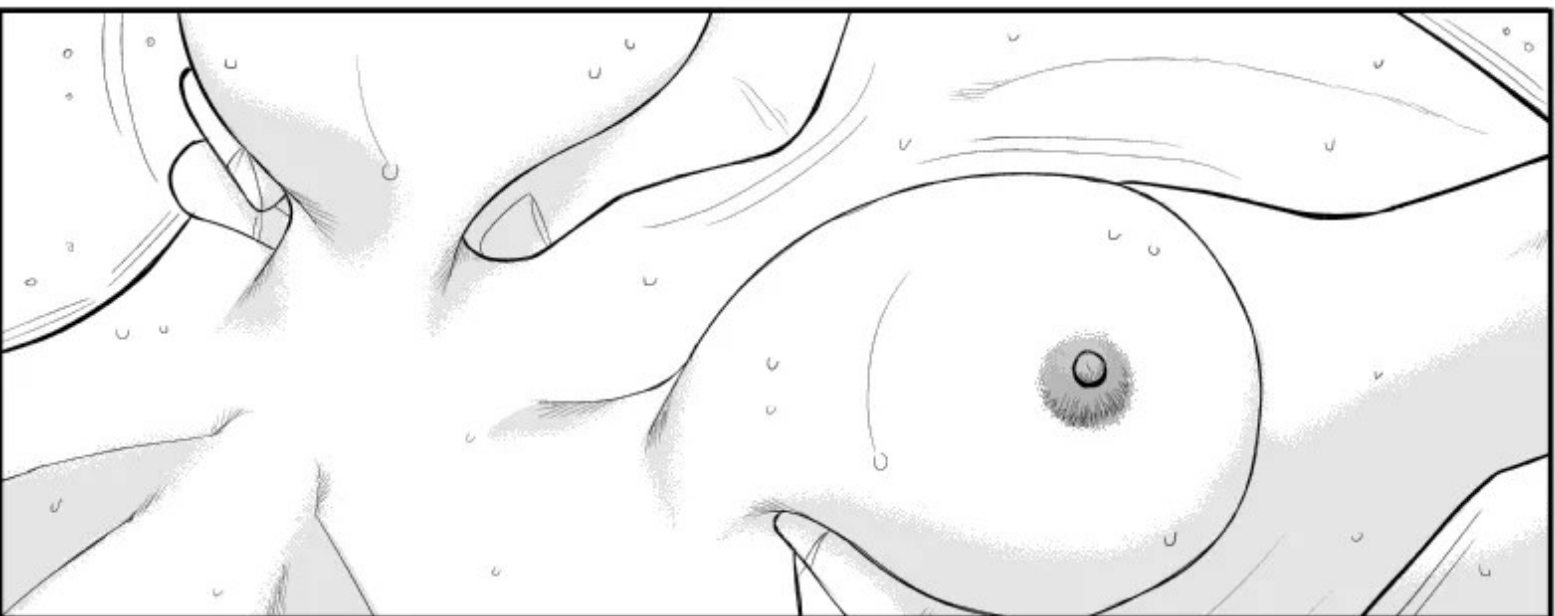
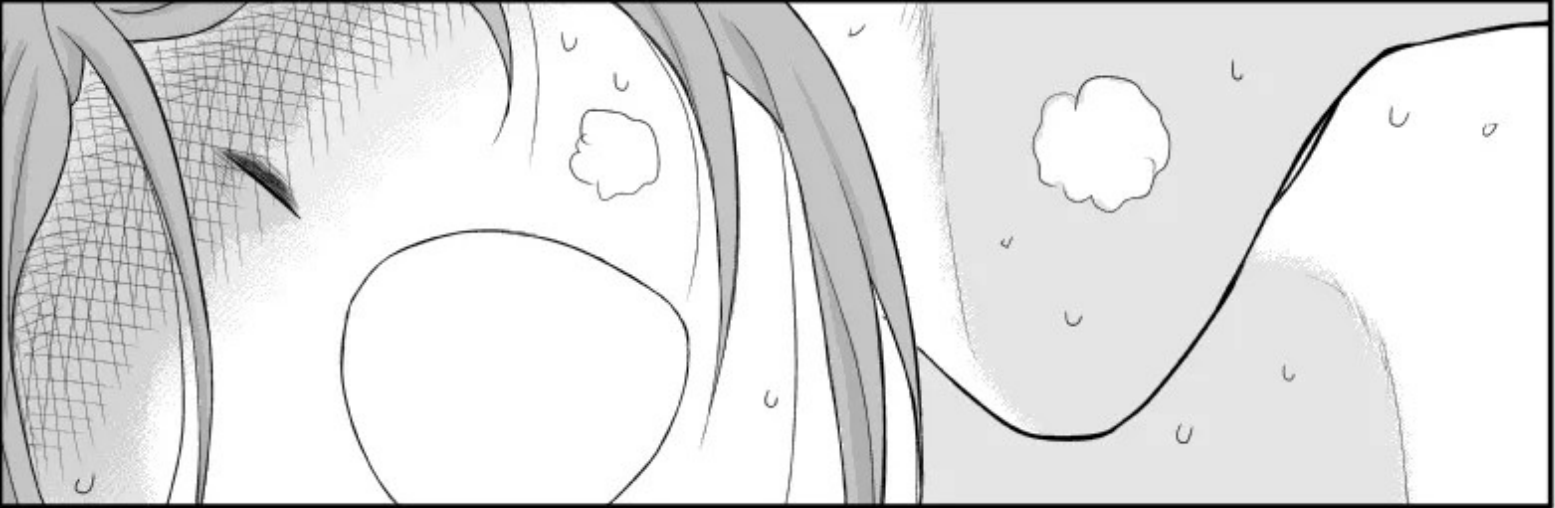


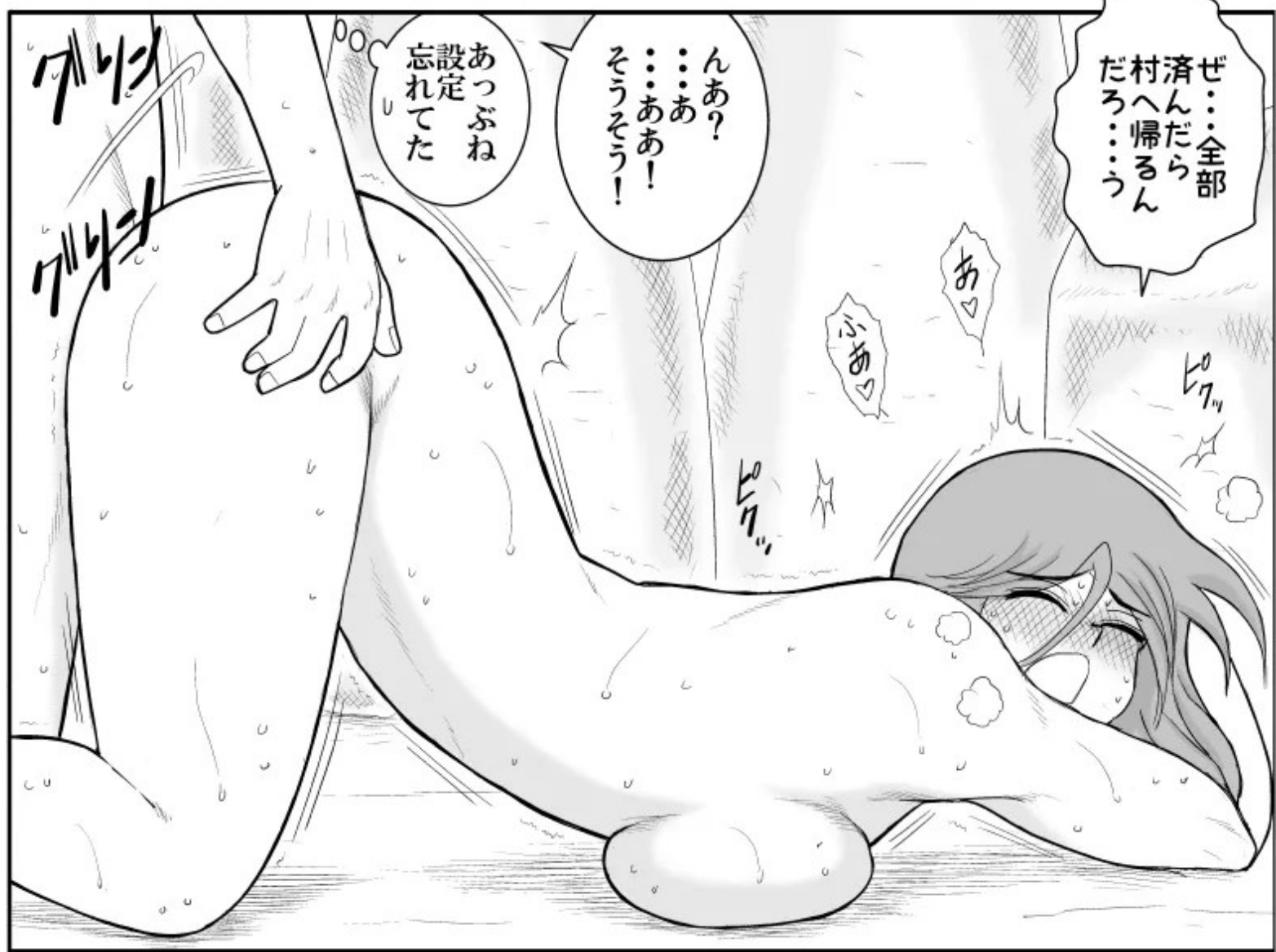
おんおっ!

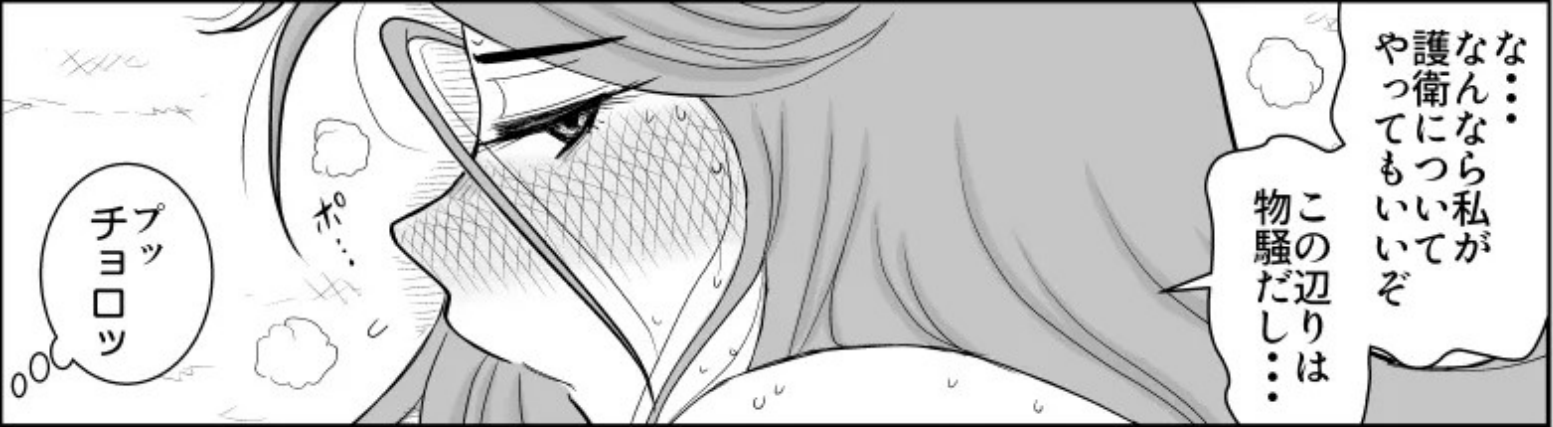
んんっんんっ!

アッアッ

アッアッ



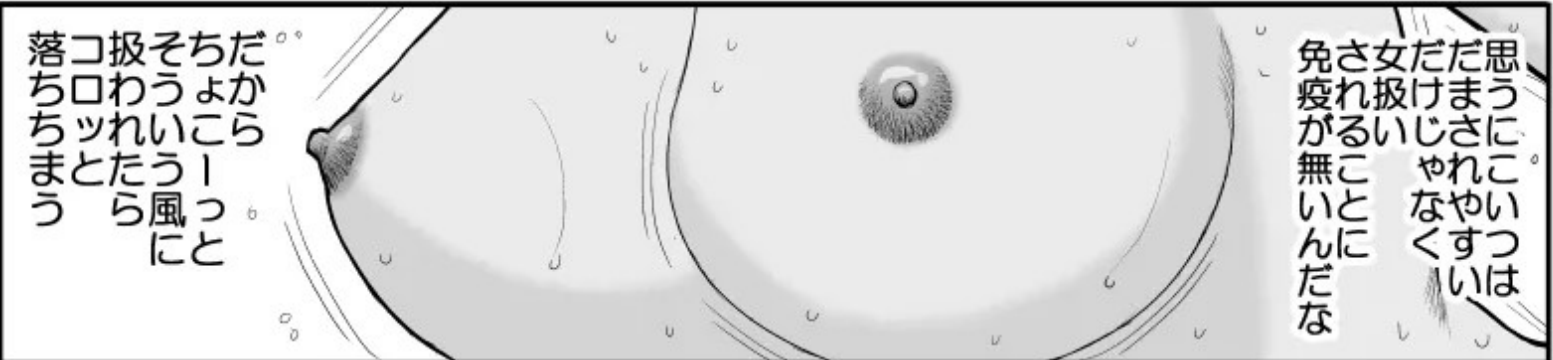




な...
なんなら私が
護衛にっついて
やってもいいぞ

この辺りは
物騒だし...

プッ
チヨロツ



思うにこいつは
だまされやすい
だけじゃなく
女扱いすることに
さされること
免疫が無いんだな

だからこっ
ちからうっ
そわたり風
に扱われま
う落ちま
う



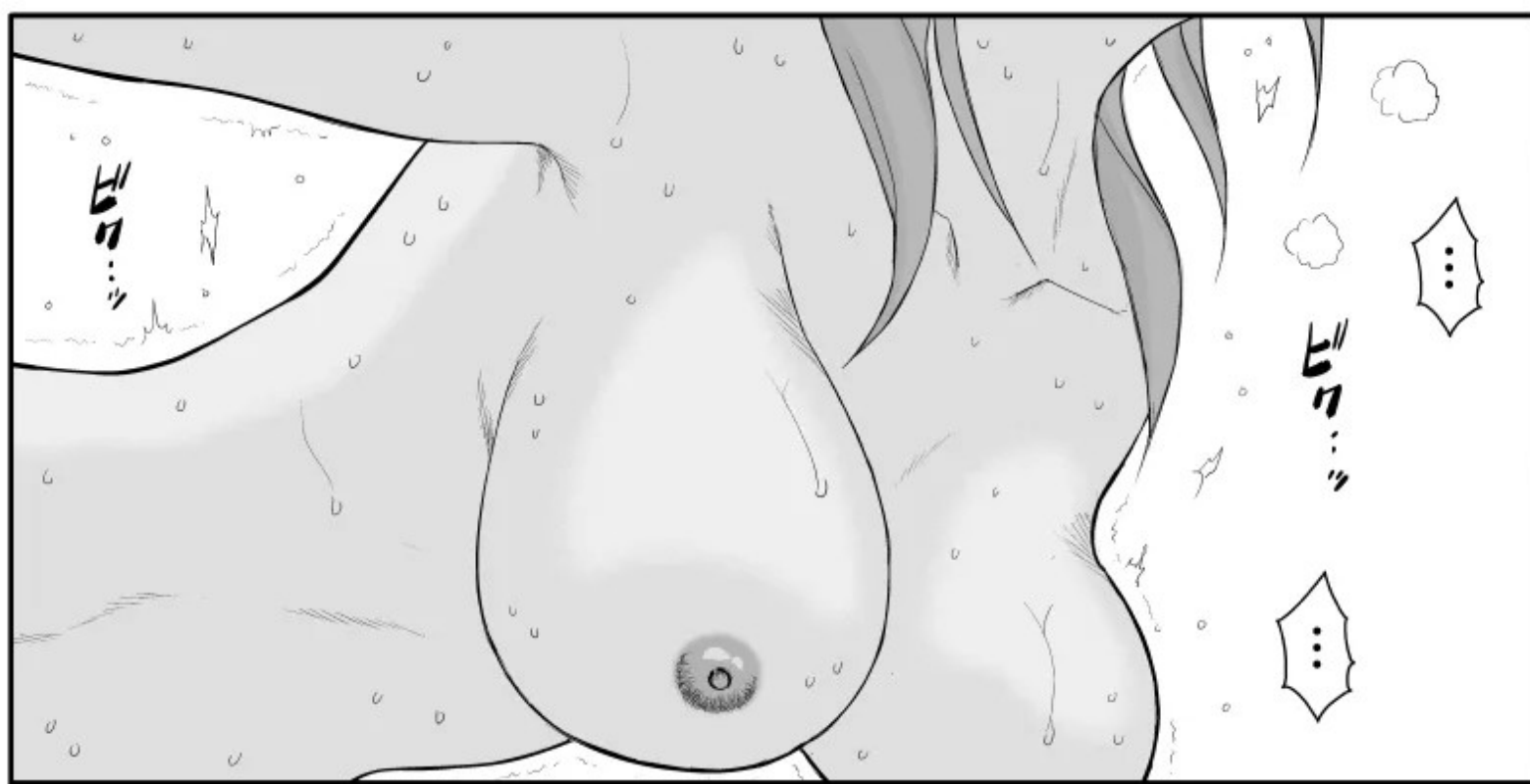
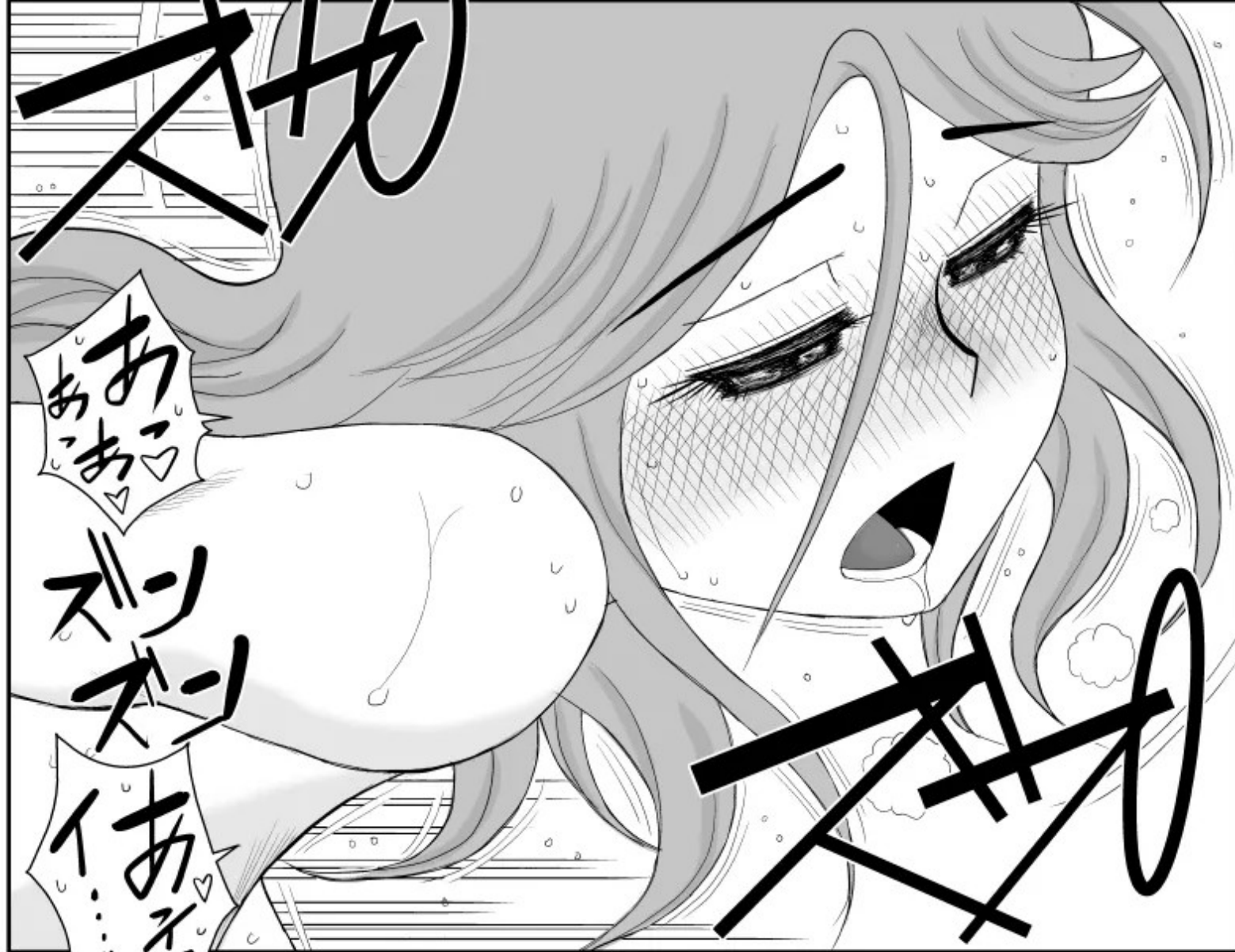
つぐづくハッ
都合のいい女だぜ
まったく

んあっ
あっあっ!

ああっ!

ズッゴ

ズッゴ





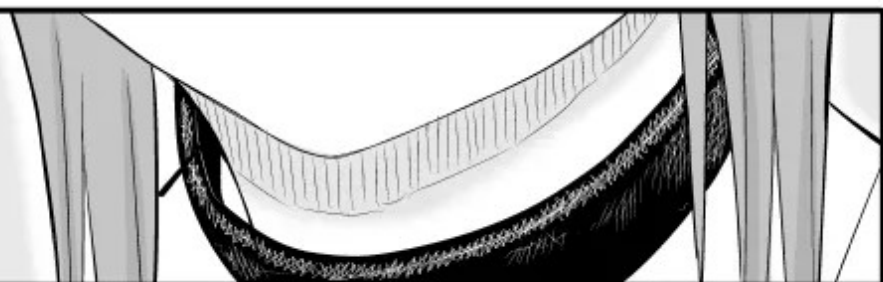


まさか
の紅を
手に入
れると
はなあ

下手な
魔獣よ
りも
凶悪な
こいつ
を



まその
封印の
首輪は
以上め
られた
のでな
んも
うがい
よ



これ
着たら
安全か？

古代魔術式で
作られた
逸品だぞ
それこそ
ドラゴンだ
って力を
封じられ
る

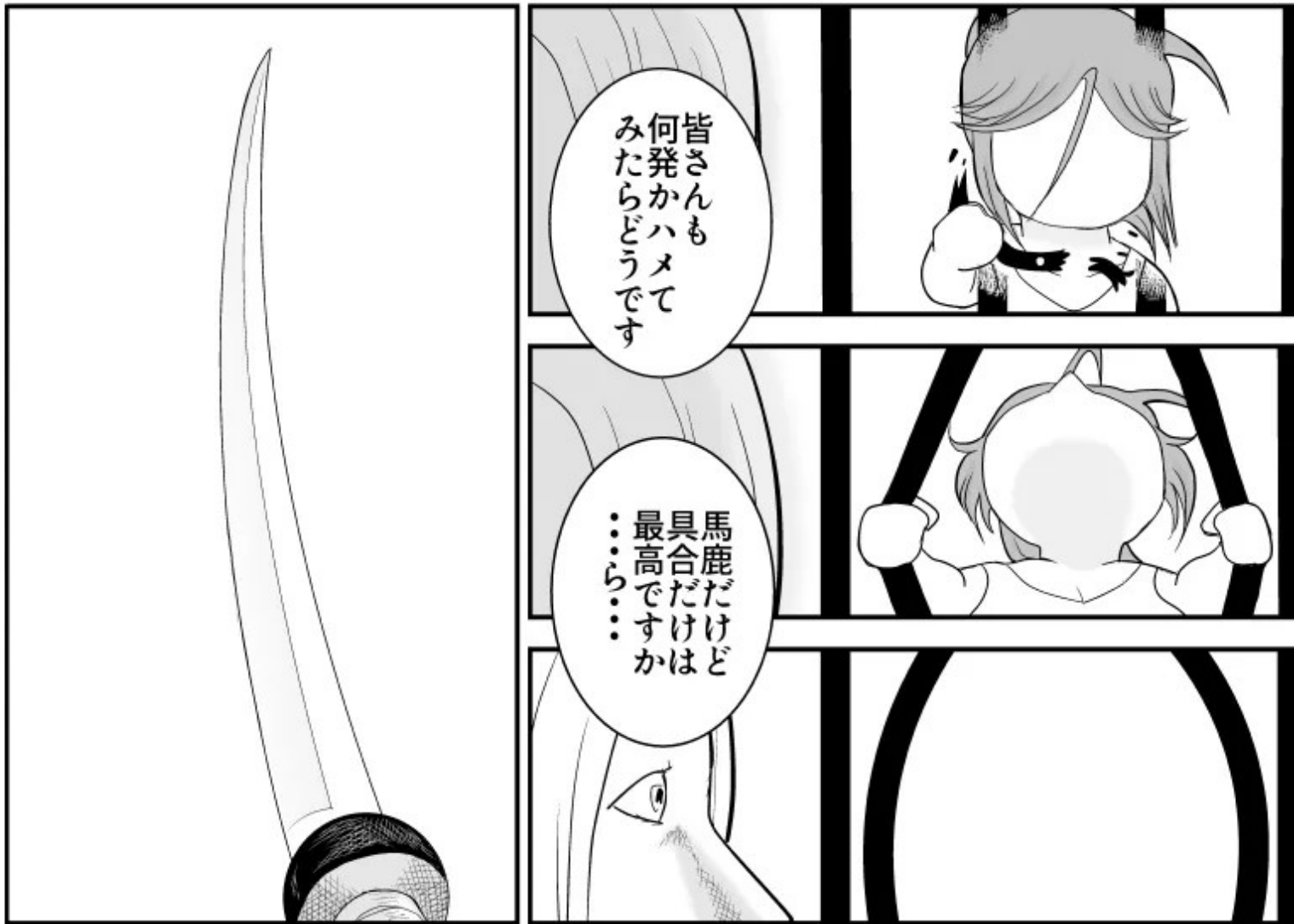
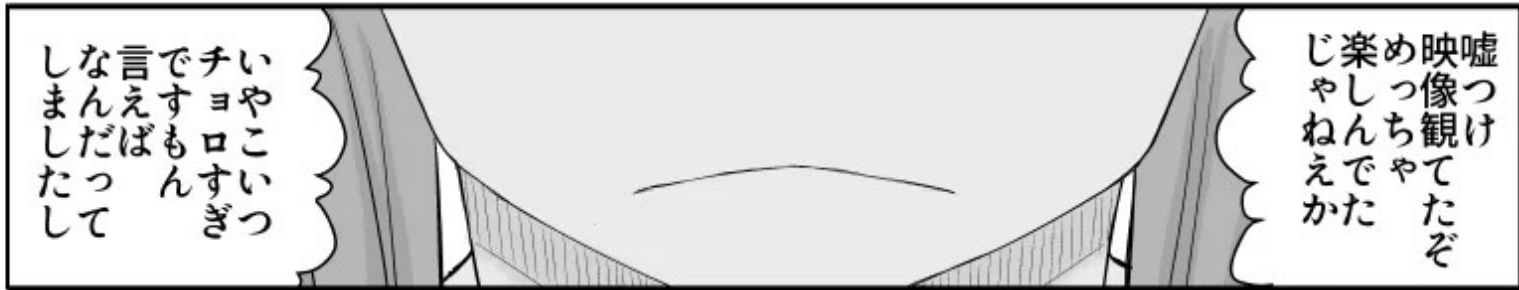
じゃあもう
いらしちゃ
っていい
か

絶対？

絶対

そ
うい
うわ
け
で
し
た
ー♪



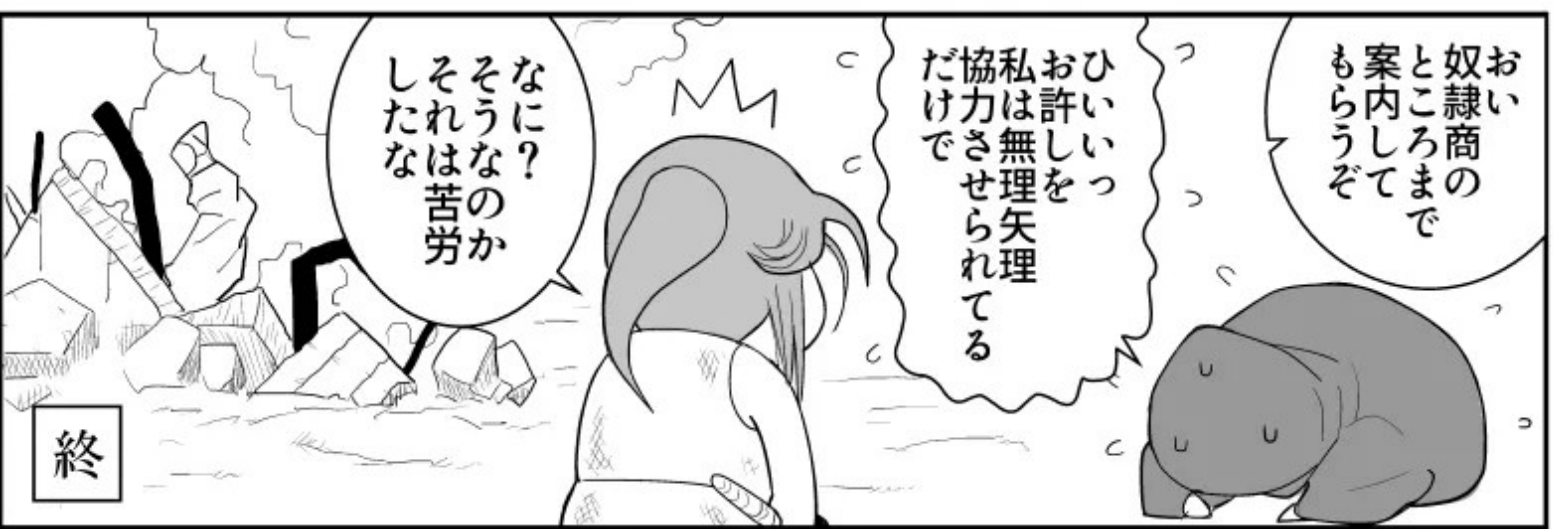




だますんなら
最後まで
だましきらんか

さすがに
ツメの甘さを
見逃す程
抜けないぞ

フ
オ
オ
オ

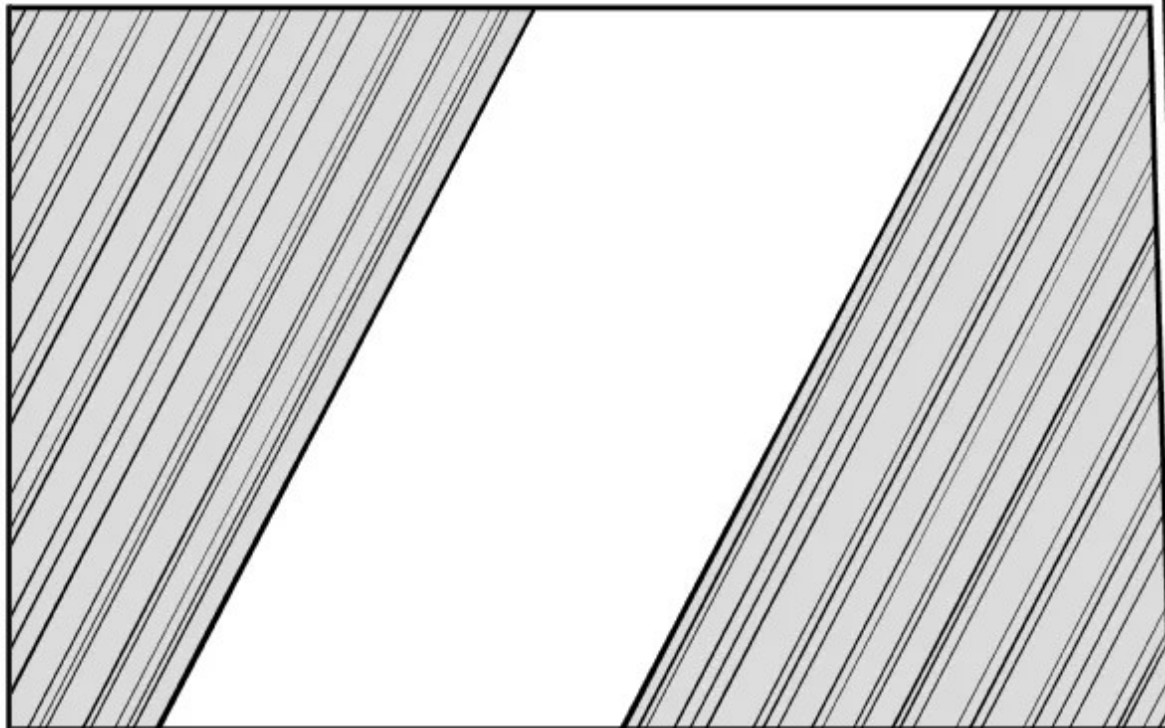


おい
奴隷商の
ところまで
案内して
もらうぞ

ひいっ
お許しを
私は無理
協力させ
ただけで

なに？
そうなの
それは
苦労

終







おーい
ドワゾー

グシ
グシ



辺境最強の剣士**紅のコロナ**



いつもながら
唐突で
すまん

おう紅の
ひさしぶりに
来よったか

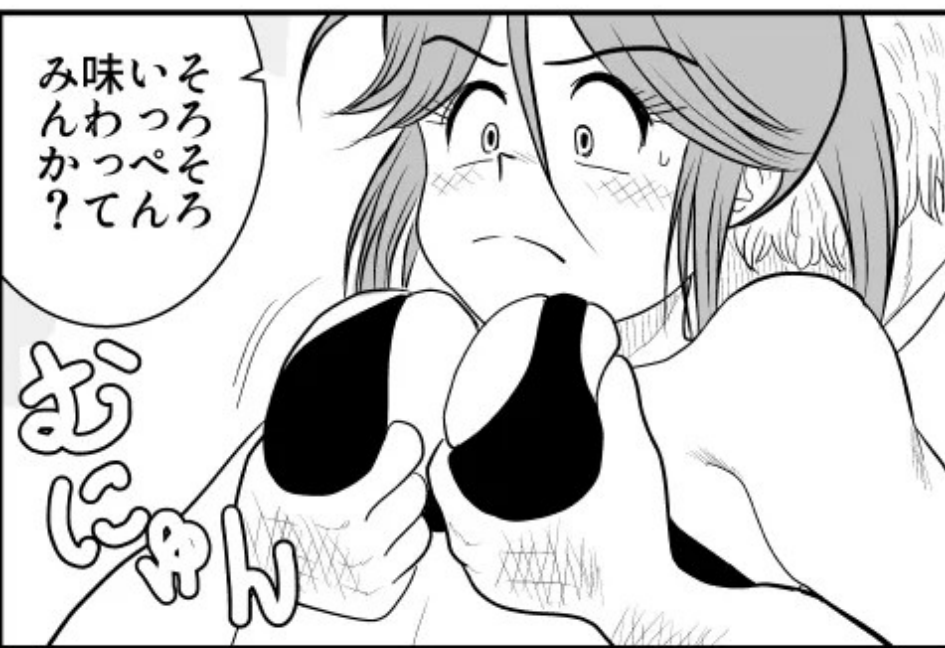
なに
こんな辺鄙な
鍛冶屋
ろくに客は来んわ

鍛冶師 ドワゾー



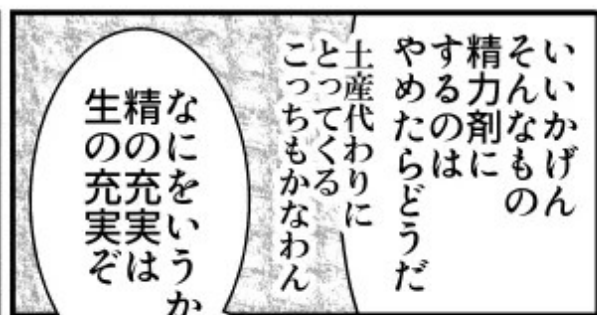
ほれ
魔猿の陰囊

おー
ありがたい



そろそろ
味わってん
みんか?

お
い
かん



いいかげん
そんなもの
精力剤に
するのには
やめたらどうだ
土産代わりに
とってくる
こっちもかなわん

なにをいうか
精の充実は
生の充実ぞ



見よ
この股間の
金槌を
若さに溢れて
おろろが

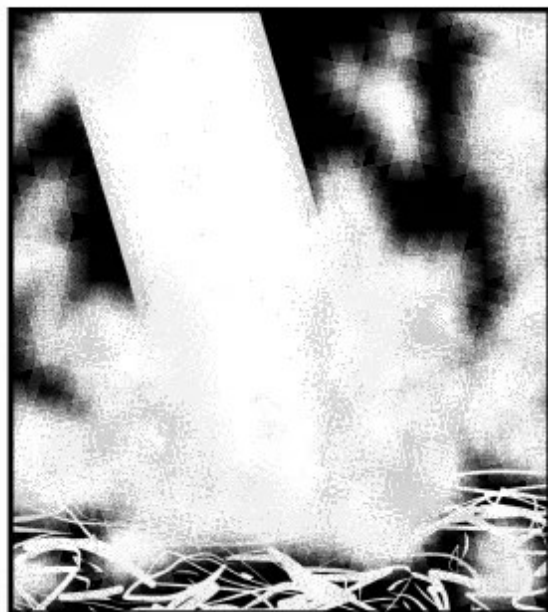
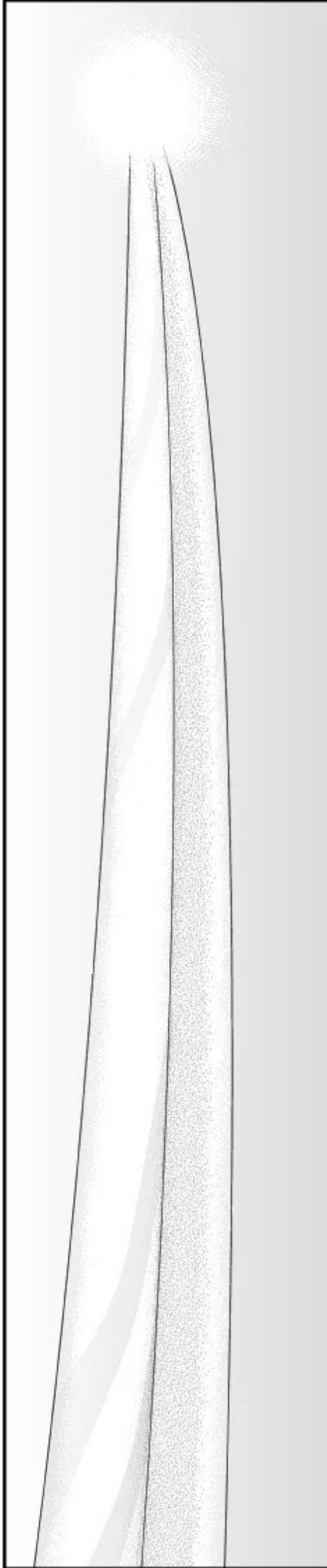


仕事せんか

うむ



はいはい



さすが
千年竜の骨で
出来た剣は
物が違うわ

さんざん
酷使しとるのに
芯がまったく
歪んどらん

それでも
お前じゃなければ
砥ぎ直しは
無理だろうがな
感謝するぞ
ドワゾー

なに
これほどの
一振り
鍛冶師冥利に
つきるわい

それがに
報酬が
ええからの

くらっ
くらっ
くらっ

何度も言うが
それだと
とても払い
きれんぞ

：：何度も
言うが：：
金じゃダメ
なのか：：？



それじゃあ
今度は
おぬしが
仕事する番じゃ

あ……っ



物が物だけに
砥ぎ直す
かなりの元手が
かかるう

神泉の水に
希少な
超硬砥石を
大量に

金銭に
したら
いくら
なるや

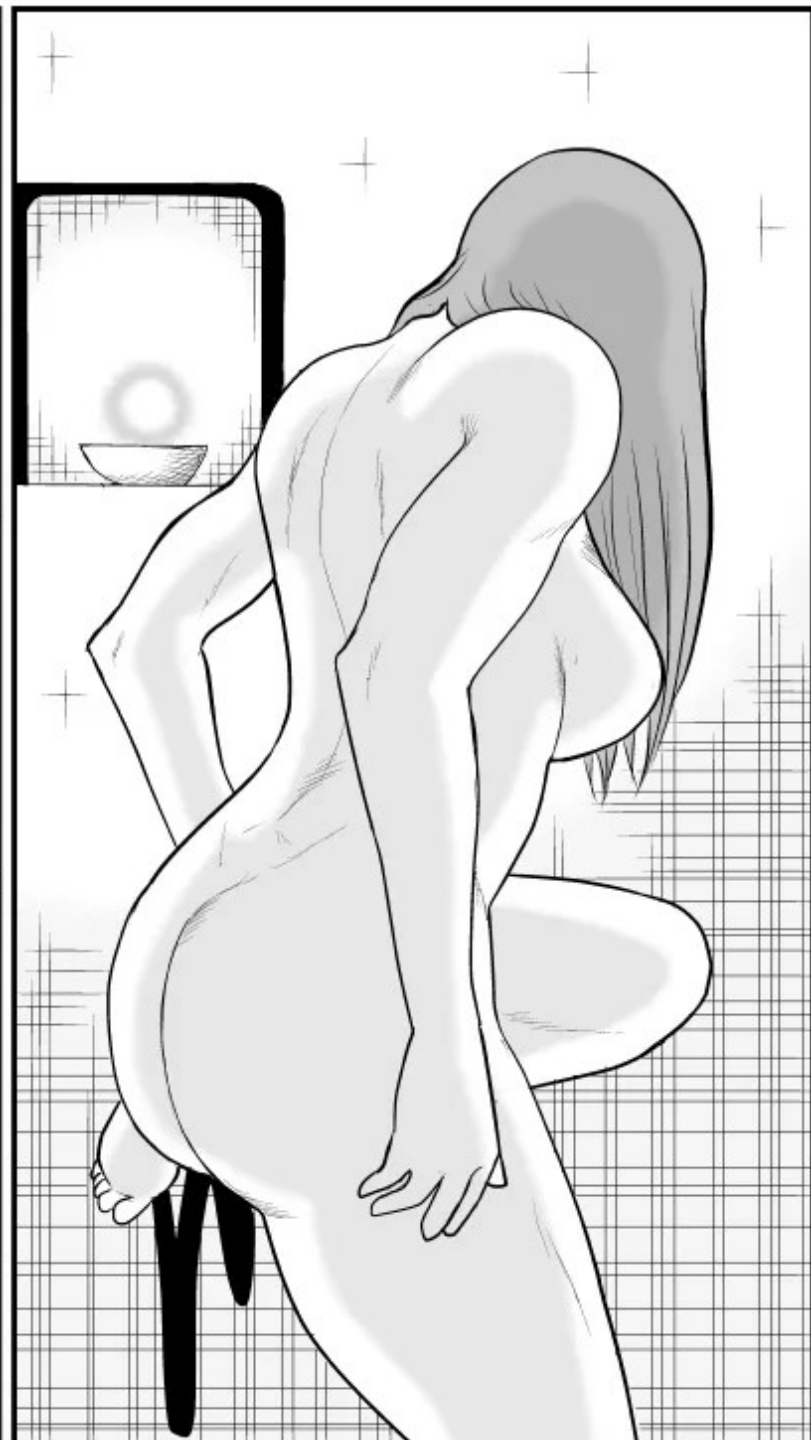
いくら
おぬしでも
払いきれ
るものじゃ

ああ
はあ
言っ
ただ
けだ
ては
みた



私はコロチ

「紅」の二つ名を持ち
辺境ではそれなりに
知られている剣士だ



こんな森の奥まで
やってくるのは
愛用の大剣の手入れのため

世界にふたつとないが
名剣で重宝している
古竜のレア素材で
作られたため
そのあたり職人では
手が出せないのだ

憤懣やるかたないが
何度も命を救ってくれた
愛剣のため

こうして定期的に
娼婦のようなことをしているのである

それが出来る鍛冶師が
このドワゾーなのだ
この男は女好き
とにかく女好き

依頼を
引き受ける条件として
私の身体を要求してきた

うほほ♪
思った通り
よう似合うぞ

わざわざ
街まで行って
買ってきた
甲斐があったわい

お前なあ……





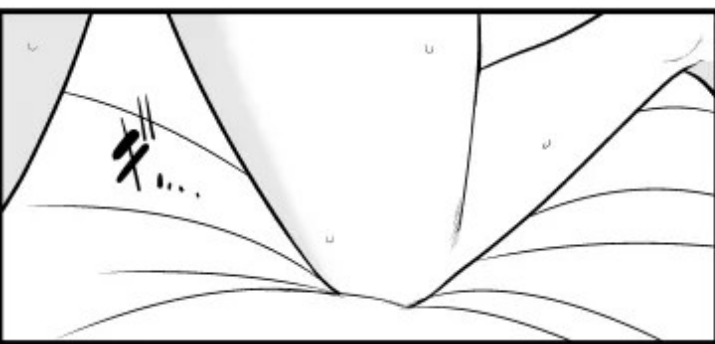
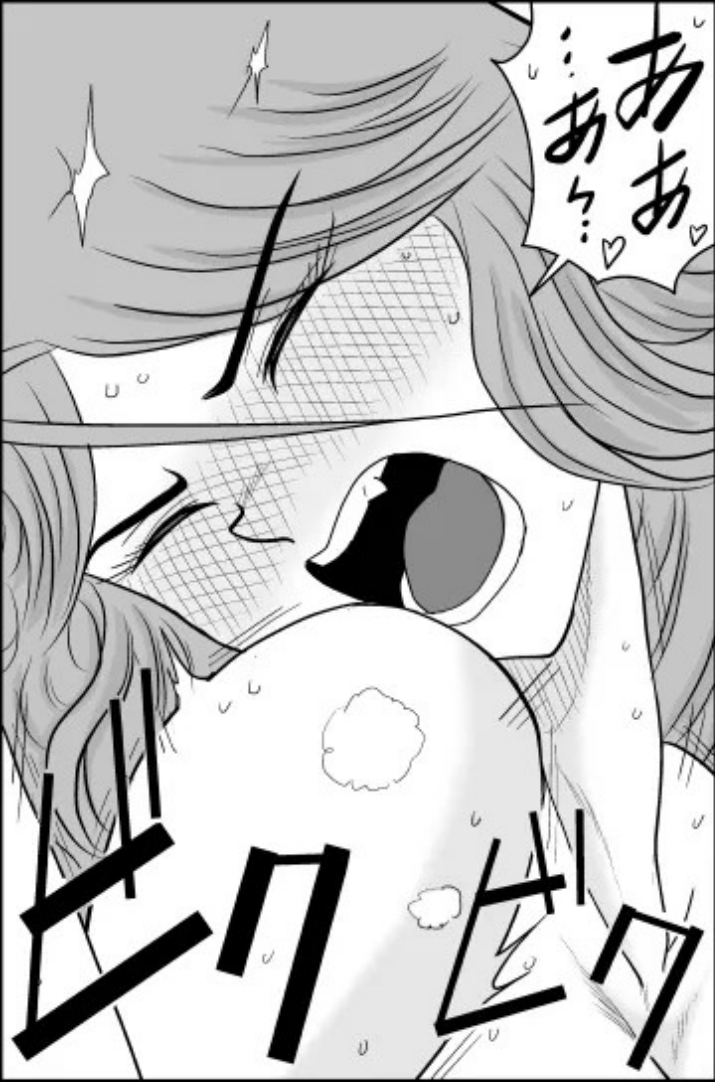
くそ...相変わらず
ねちっこい触れ方をする...



他にあげがあれば
このような男の
要求なぞ蹴ってくれる
のだがな...
...まったく...



ほれ足を
開かんかい



うほほ
いつもながら
たまらんの

無敵の
女剣士が
股ぐら広げ
てくばって
とる

私も暇じゃ
ないんだから
とつとつと

キ
.....
ッ

ノ
ッ
ッ

なにを
偉そうに
たたいと
わしの機
嫌を
損ねたら
いんじや
らん?

キチンと
おねだり
せんか

ヒキヒキ...

このジジイ...
の調子に
おいて...

シキ...

…剣のお礼だ…
私のここを
好きに使ってくれ…

ぬちゅ…

だが我慢しなければ…

キィ…



ズッ…

ズッ…

……っ

あ…あ…
あ…あ…

今はこいつだから
頼れないんだから…

くそ……こいつの
やはりデカすぎ……る
形が変えられ……そ……っ



今回は十日くらい
つきあってもらうぞい

な……長すぎた
前回の倍じゃ
ない……か……っ

シ

シ

それだけ
手間取ったん
じゃよ

まさか天下の
紅が約束を
破るとは
言うまいの

ブルブル



それとも
十か月のほうが
ええか？

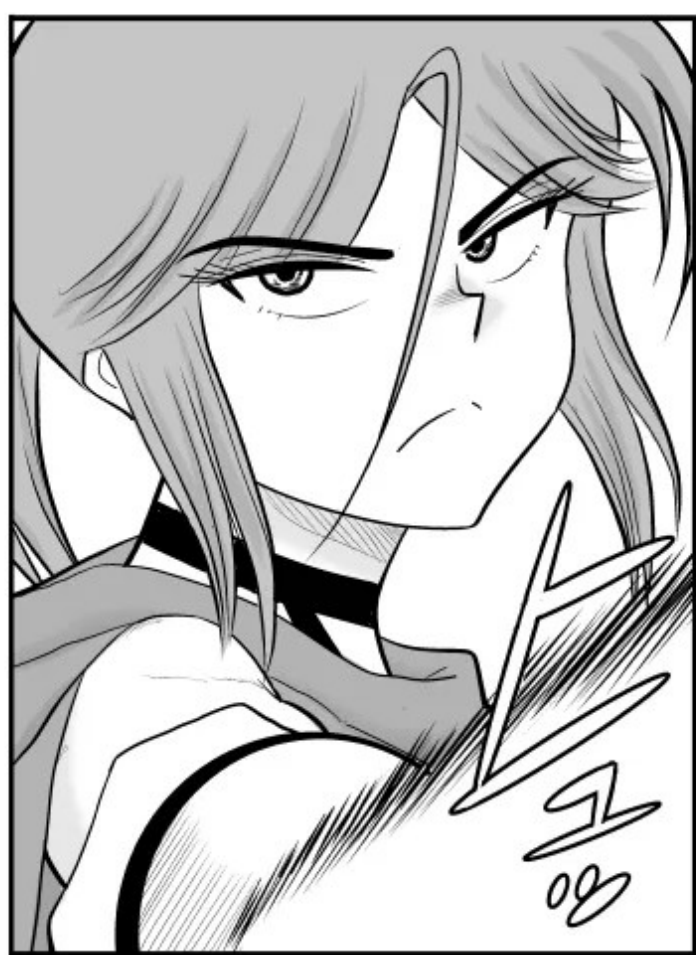
バ...ッ
カ者



なら
ええな

ああ...
もう...

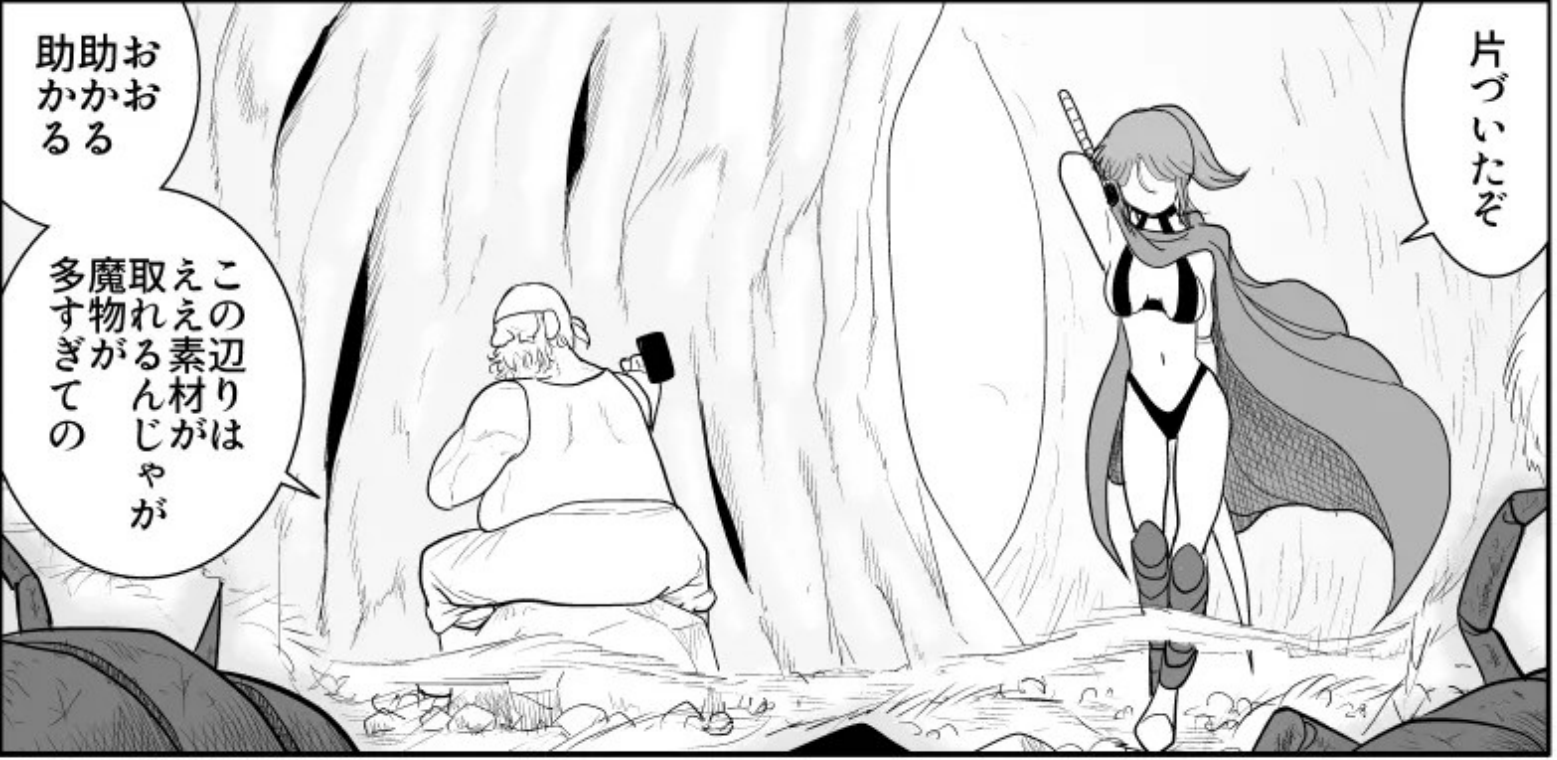
好きに
してくれ



片づいたぞ

お助
かか
る

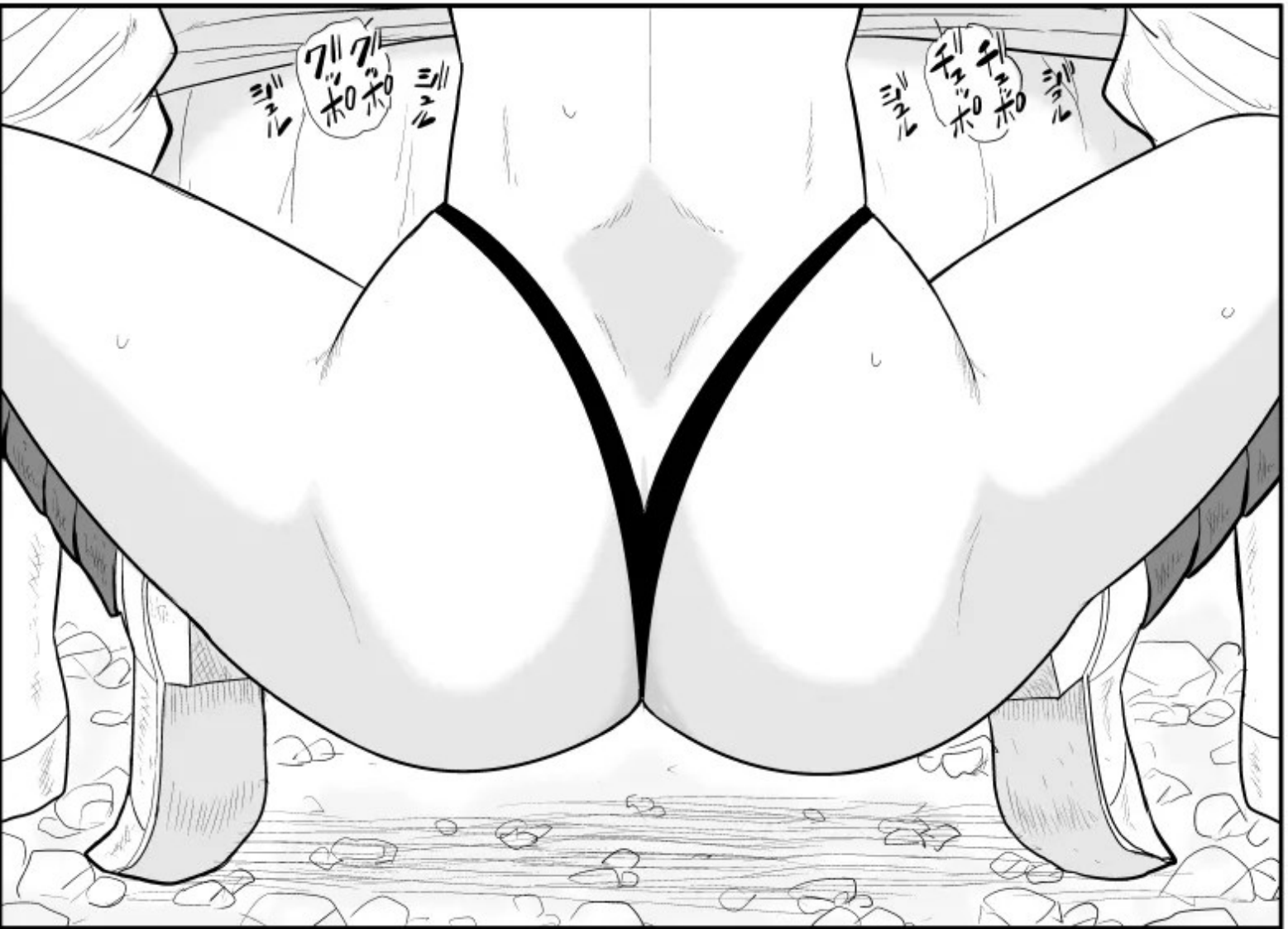
この辺りは
ええ素材が
取れるんじ
魔物が
多すぎたの



こういう
仕事なら
文句言わ
ず引き受
ける

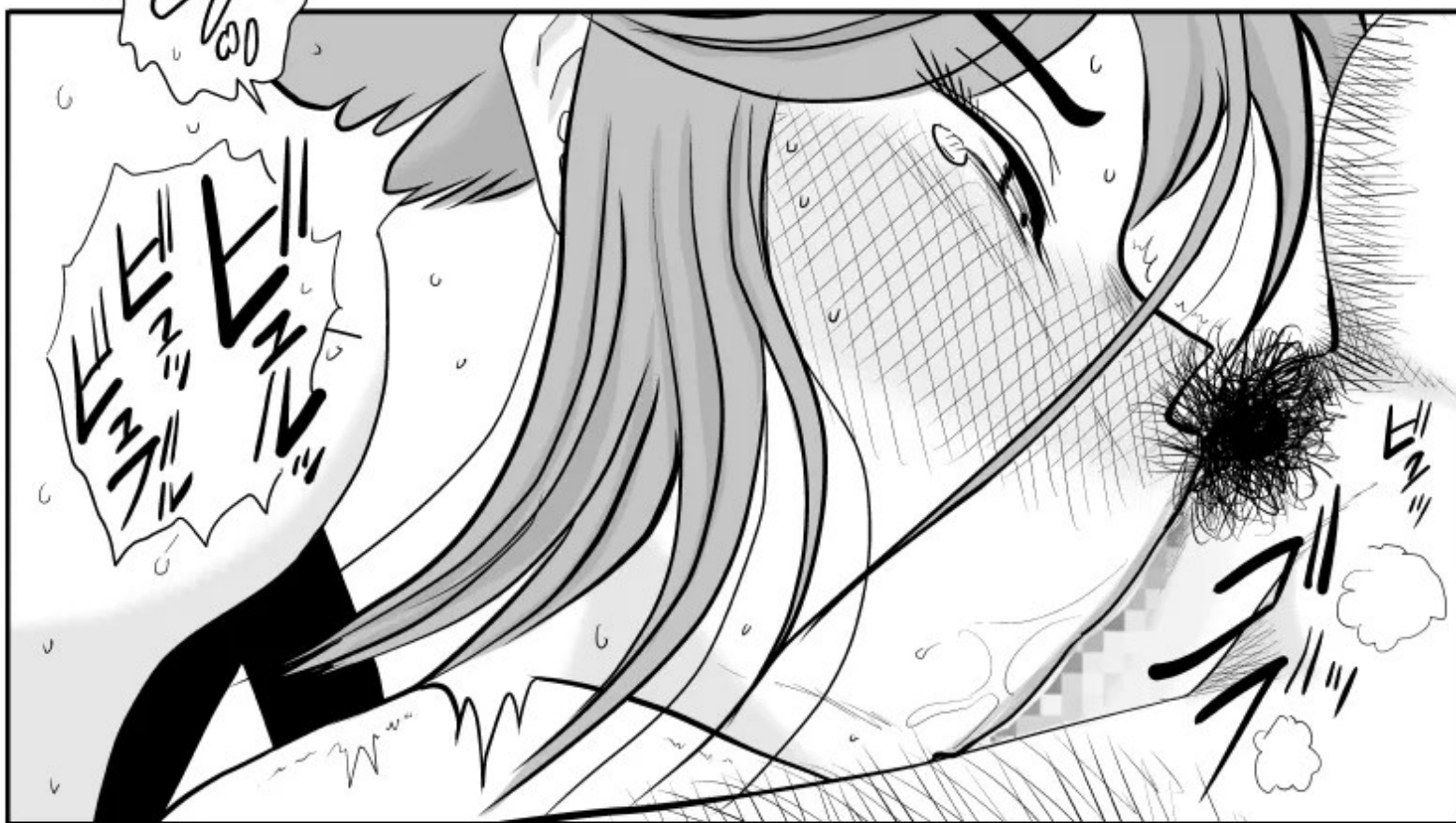
お前も腕
いいんだ
からもっ
と真面目
に生きた
らどう

ほっほっ
お褒めに
あずかり
光栄至極
じゃ





ム…
出すぞ
飲み込めっ



ぬはは
すまは
すまん

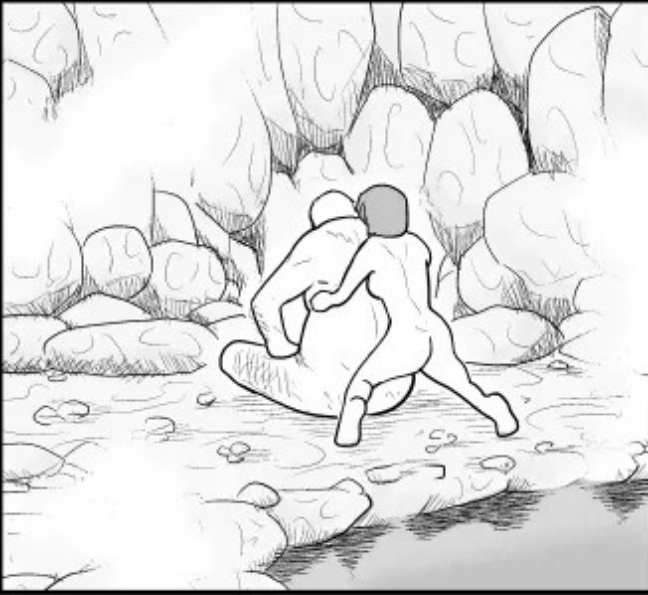
お前…
いきなり…



お主の口技が
あまりに
絶品な
ものでな

ハ…

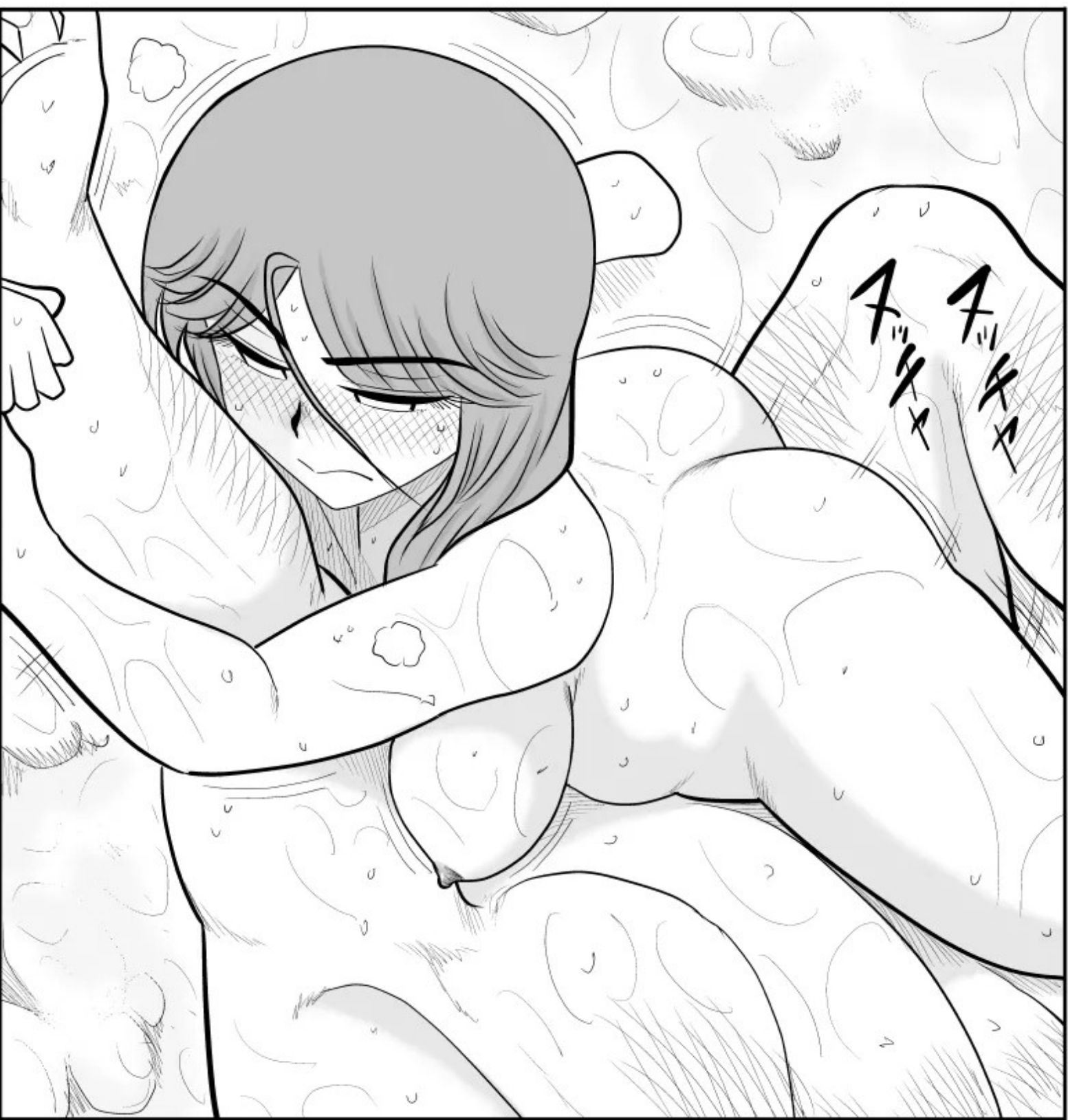




さして スッキリした
ことだし
帰って 風呂浴びて
ひとつ 埃を落とすと
しようぞ



スッキリ
したのは
お前の
おかげ
だ……



おう
たまらん…
さすがに
慣れたもんじゃな

慣れて
たまるか

そもそもお前
毛深すぎて
チクチク
するんだよ

アッキヤ

アッキヤ

シムシム

シムシム

それが男の
魅力じゃろうが
心をこめて
やらんかい

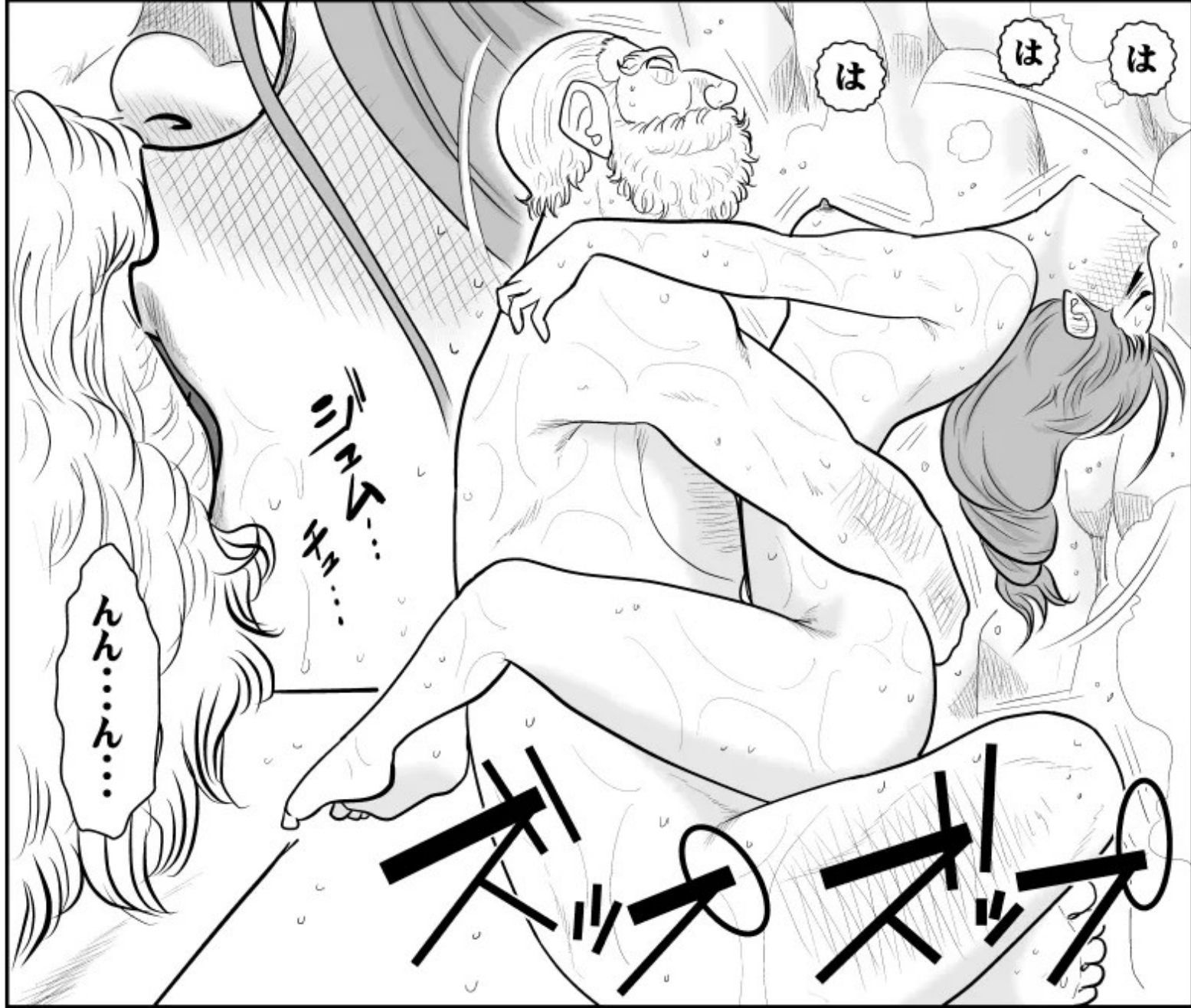
ははは…

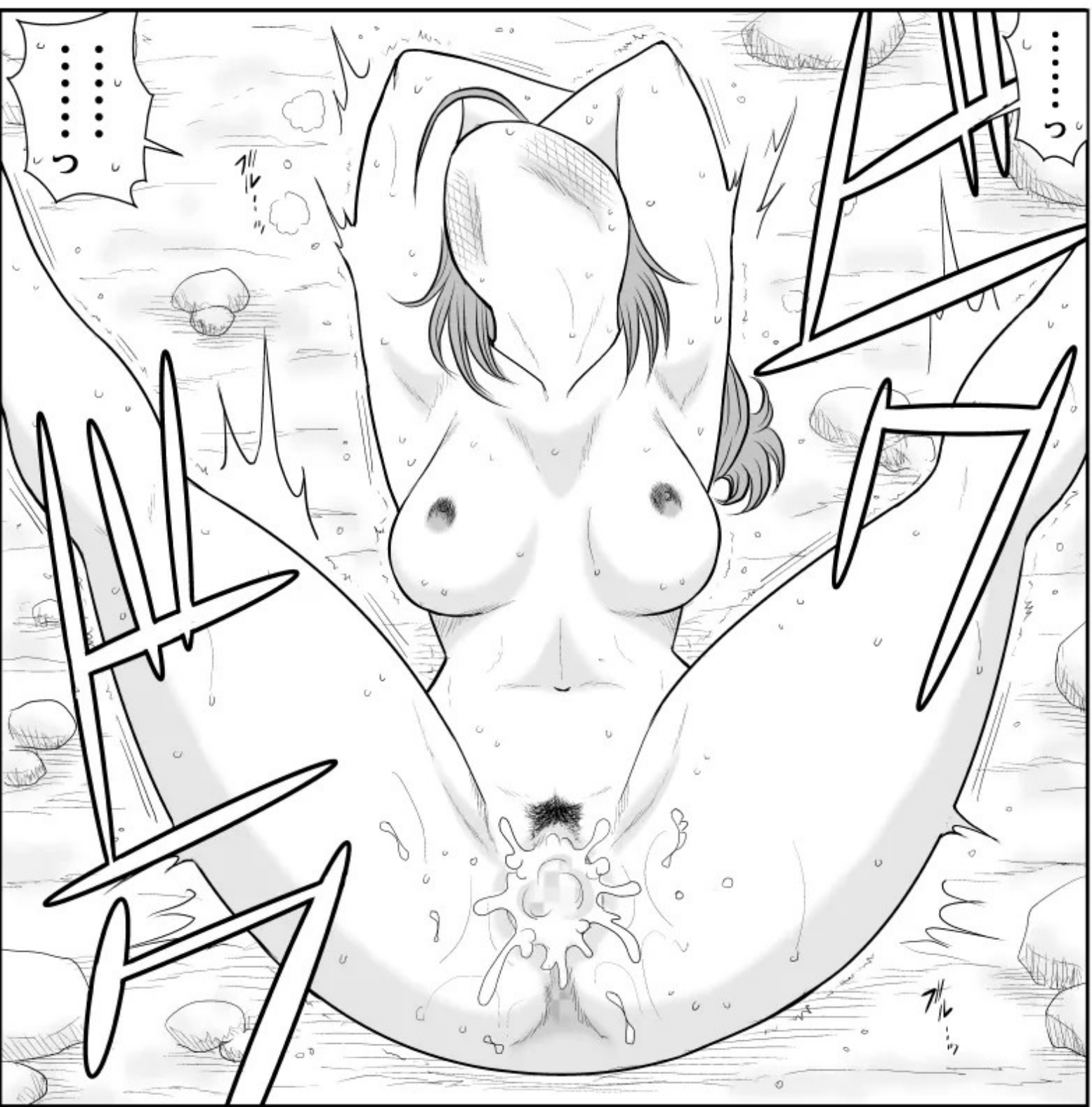
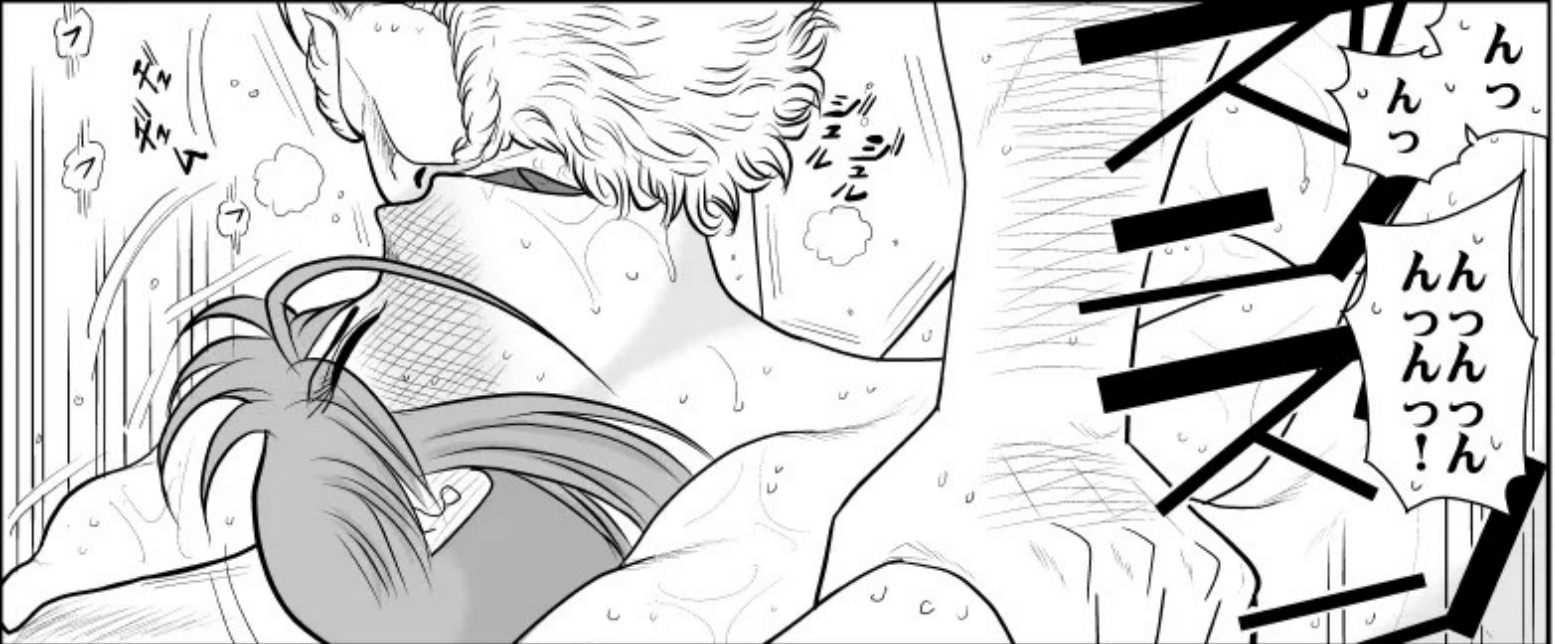
シムシム

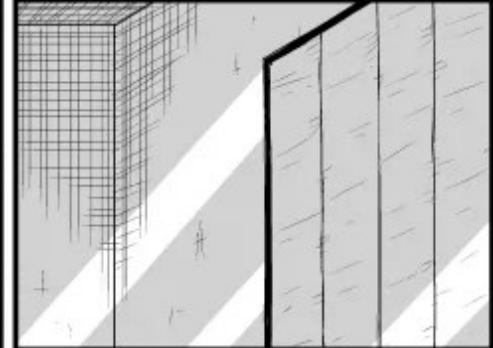
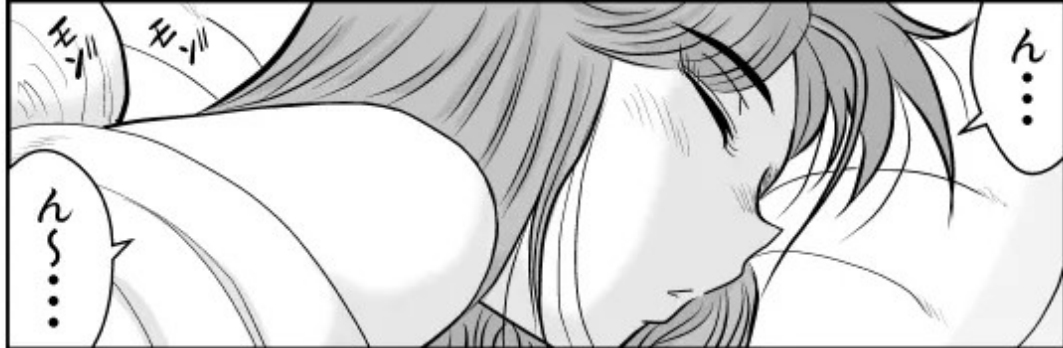


うっ









お朝だいぞ... あんなに昨夜もあんなにしたら...

寝起きの一番気持ちいいん

ズツッ

ズツ

ズツッ

?

んっ

ほれほれ
頑張つて
腰を振らんと
いつまでも
飯が食えんぞ

言うだけ
無駄だとけ
思うが
食事の
やめられん
のか

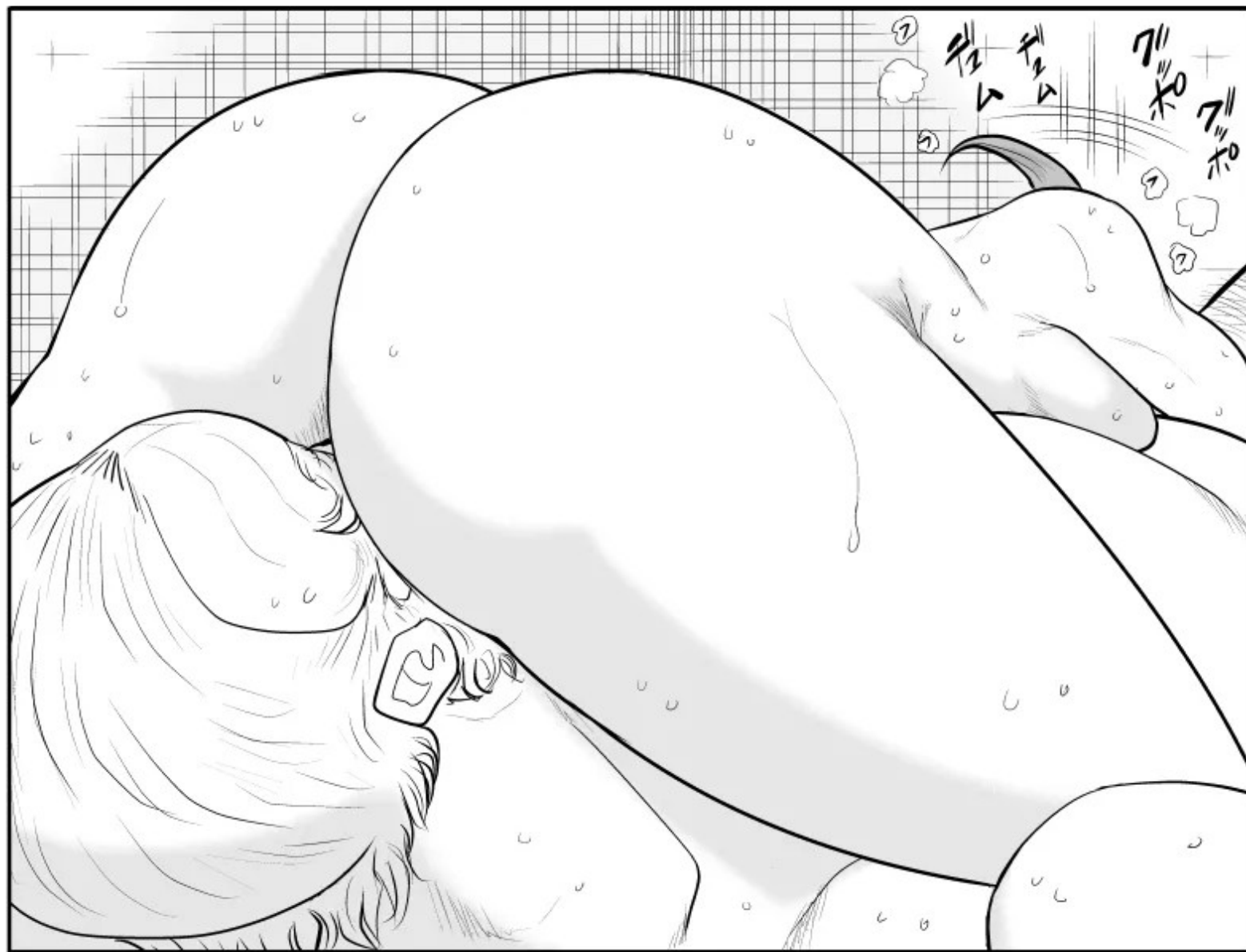
あぁあぁ
あぁあぁ
あぁあぁ

この...
話してる
途中...

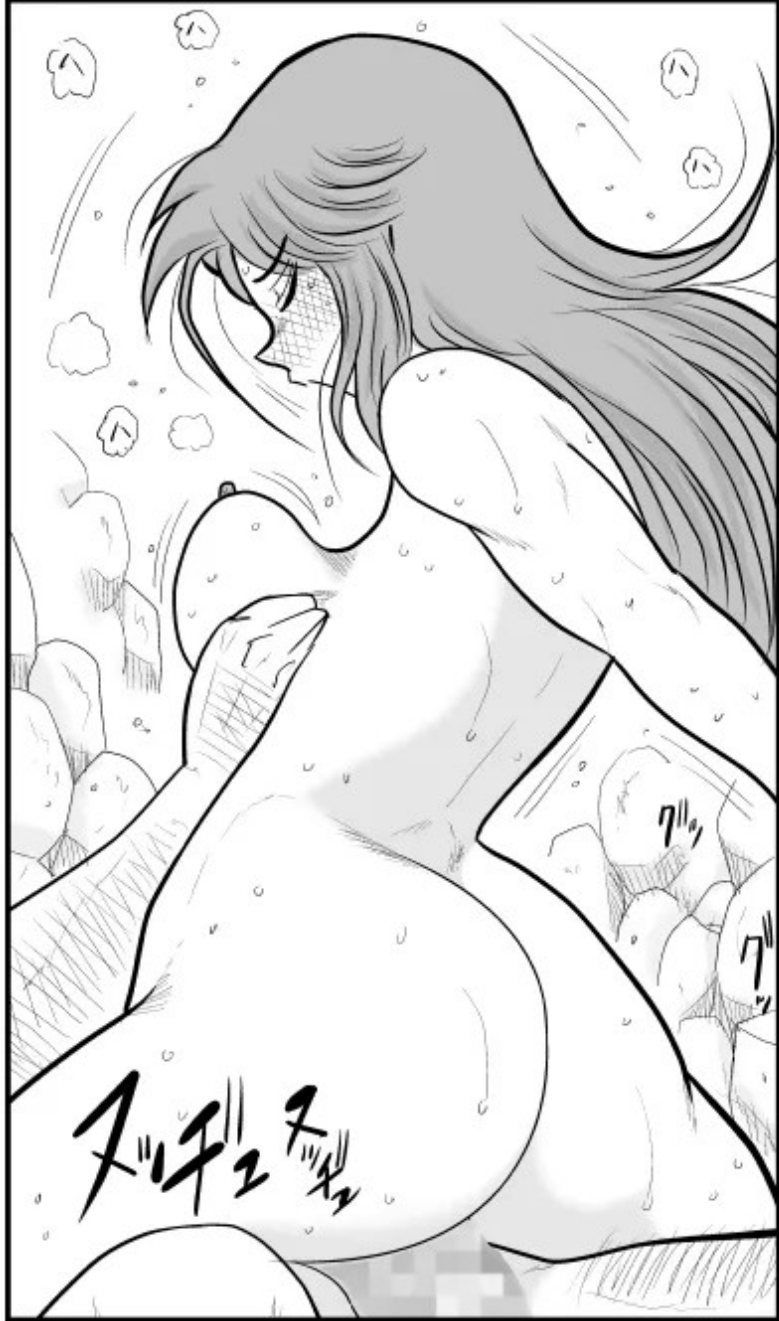
グッ
グッ

キッ





人を性奴隷扱いしおつて どうせするならば 主導権握つてさつさと 終わらせてやる





おい…
もう十五日目
だぞ…

いつまで私を
弄ぶ気だ…

そりやわしが
満足するまで
じゃろうな
…ヒビ

お前みたいなの
色魔ジジイが
満足するまで
付き合うつもりは
ない…ぞ



そう言いつつ
出ないのだから
ないのだから
義理固いやよ
まいったく

あ…
キスマーク
のため…



どうじゃ
いっそ
このまま
わしの女房に
ならんか

はあ…?
バ…かな
ことを…
言う…なっ

一生
剣を振って
生きてく
わけにも
いかんじゃろ

キッ

キッ



女の幸せと
いうやつを
たっぷり
味あわせて
やるぞい

どうじゃ

断…る
私はまだ
身を固める
つもりは
な…い…

お前
ましてや
など…

だがわしに
抱かれるのは
嫌いじゃ
なかる？

…
それだけで
上手く
やっつけていける
わけが
なかるう…

否定
しきれとらん
ではないか

んあっ…
…あっ…
…あっ…

あっあっ
あっあっ
あっあっ



あああ
♡
♡
♡

♡.....

♡.....

素直に
なるまで
とことん
ゆくぞ

ふあぁ...

も...もう
許してえ...

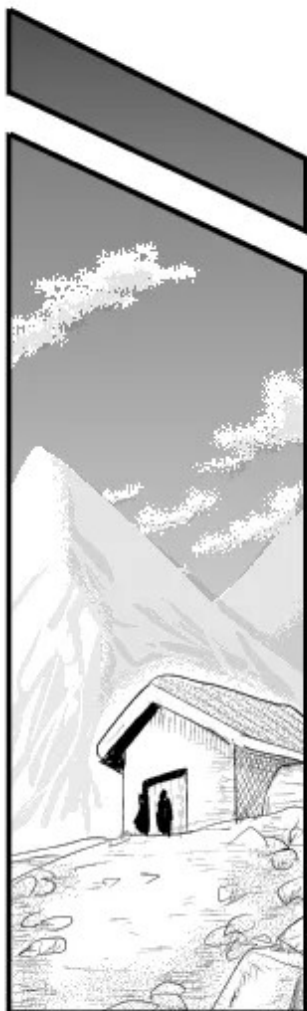
あああ...

ポンポン

ギッシ

ギッシ

ああ...



結局
ひと月
いたのう

限度と
いうものが...
ん...む...

チエ...



堪能させて
もらったぞい
クッククック

カ...

あまり調子に
のるなよ
私の我慢にも





いや
本当…



貴重な
剣なんじゃ
大事に
使えよー

言われなくても
そうするっ



また来るのを
心待ちに
しとるぞい
今回以上に
楽しませて
やる

……っ



手入れなんぞ
必要なくらい
ええ剣なんじゃよ
マジで
なんで
気づかんかな

おいしいから
関係じゃ
決して教えて
やらんがね



最強の
女剣士として
有名な
紅のコロナ

うう…
キスマーク
だらけ…

だまされやすく
ちよろい女
としてみたい
それ以上
有名なのである

あれだから
あいつの
ところには
来るとは
嫌なんだ…

終

ほらほら
どうしたら



これが実戦なら
立ちあがるのを
待ってはくれんぞ





隙ありだー
へへへ！



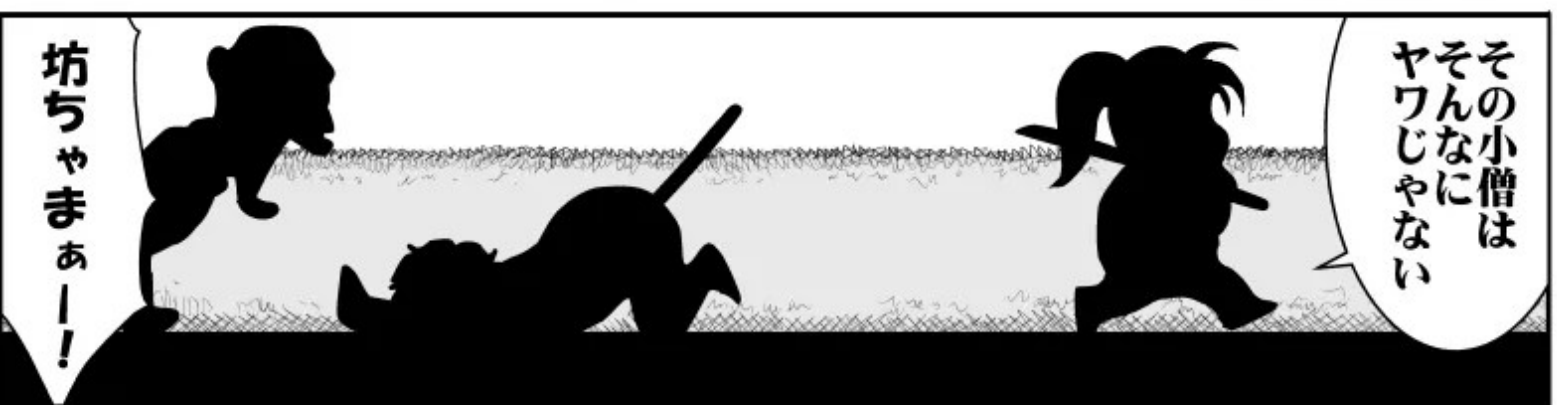
コロナ様
どうか
手加減を

坊ちやまを
壊されては
当家が
困ります



人間
そう簡単
に壊れ
ませんよ
執事殿

それに…



坊ちやまあー！

その小僧は
そんなに
ヤワじゃない

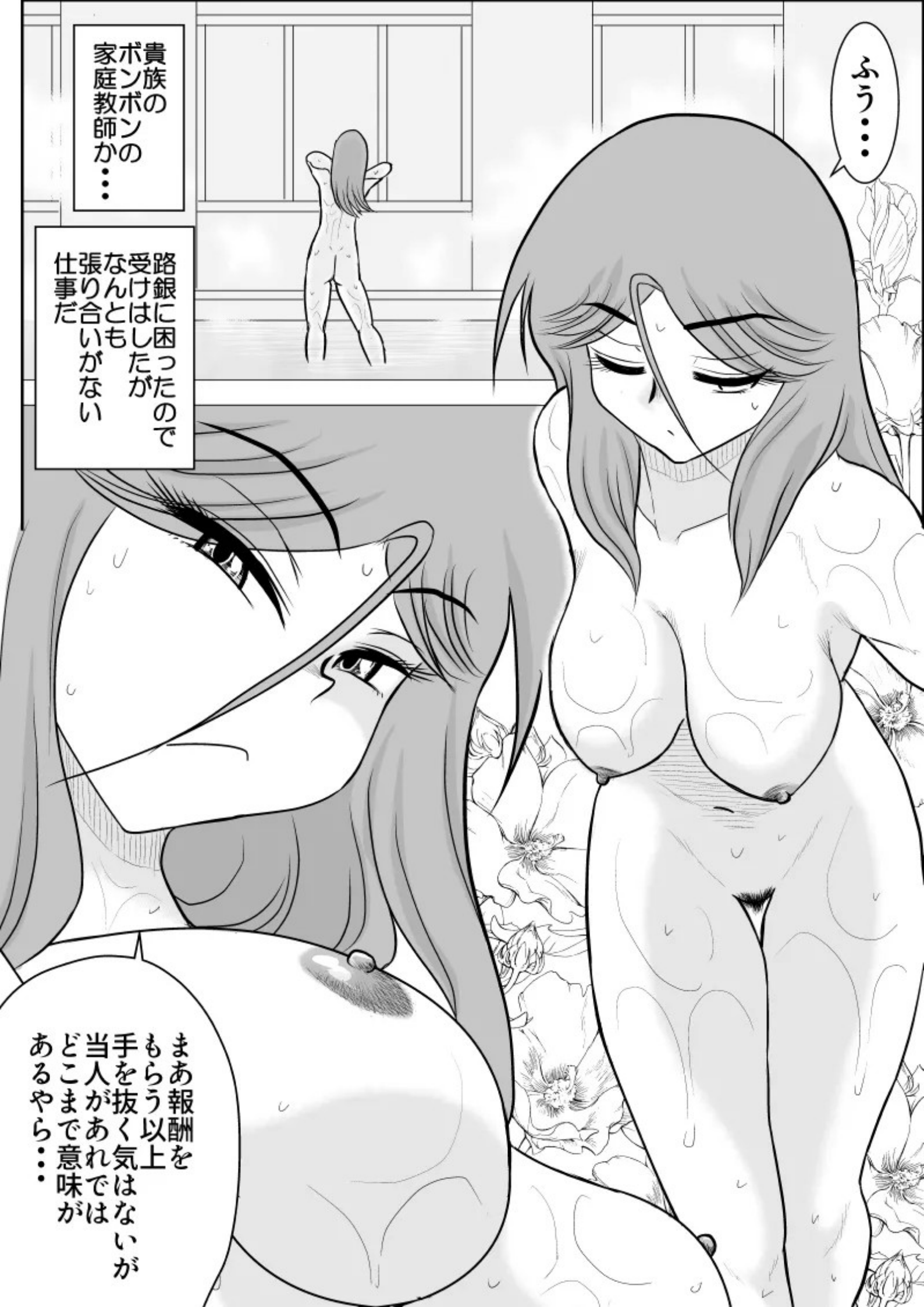


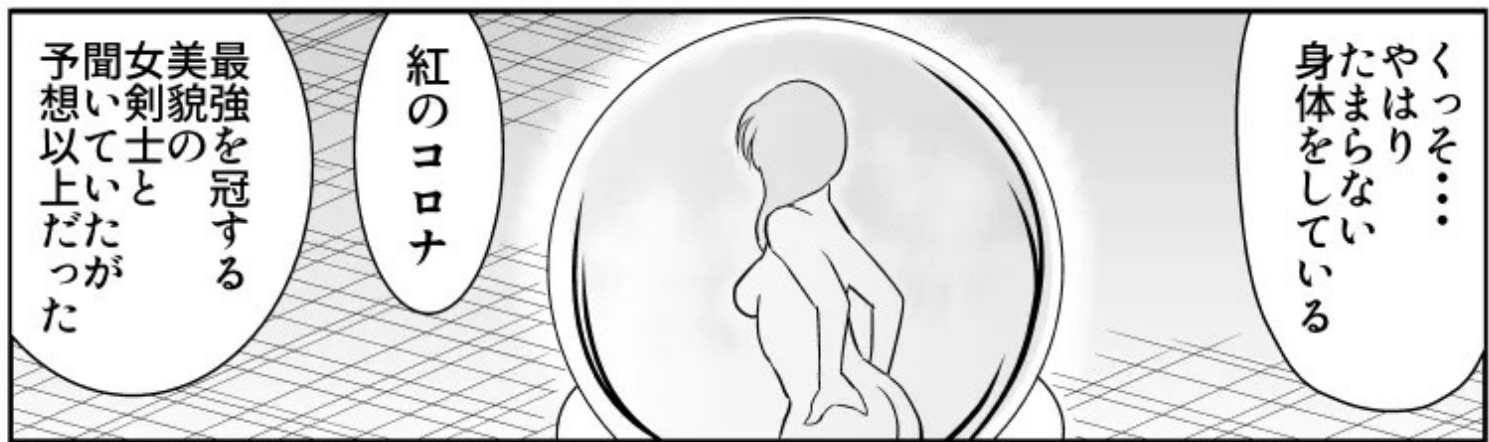
ふう……

貴族の
ボンボンの
家庭教師か……

路銀に困ったので
受けました
なるとも
張り合いがない
仕事だ

まあ報酬を
もらう以上
手を抜く気はないが
当人があれでは
どこまで意味が
あるやら……

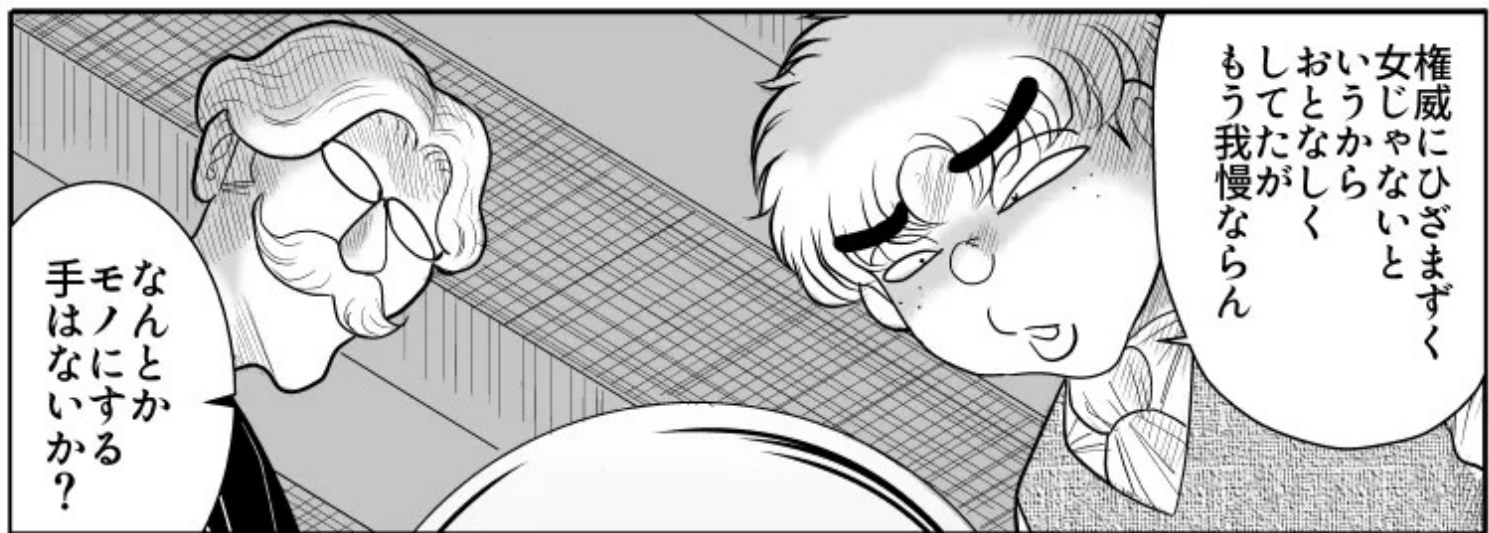




くっそ…
やはり
たまらない
身体をしている

紅のコロナ

最強を冠する
美貌の
女剣士と
聞いていたが
予想以上だった



権威にひざまずく
女じゃないと
いうから
おとなしく
してたが
もう我慢ならん

なんとかか
モノにする
手はないか？



褒美を
出せだど？



左様ですな…
これも噂ですが
紅様は驚くほど
だまされやすい
御方と
聞きおよんで
おります

そこをうまく
つけば…

はいのほうか
坊ちやまの
やる気が
増すかと…



mmm...

当家の恥を
晒すようですが
実は坊ちやまの
ご両親は
多額の借金が理由で
行方知れず

子供じゃ
あるまいし…
あれにはむしろ
厳しくいって
ほうがいいぞ
私は思うぞ

じき
屋敷も人手に渡り
坊ちやまは
一人で生きていかなば
なりません

なんと…
それは大変だな

長年
お世話になった
身として
あまりにも不安
どうか坊ちやまを
少しでも強い男子に
してあげては
くれませぬか

うらむ

執事殿の気持ちは
理解したがるが
あの手の男に褒美
などと言うと…

ならばコロナ
お前自身を
要求するぞ！

当然こうなるか、いっそ
清々しいやつめ

ようし
やる気が
出てきたぞう

まずは
なにかからだ
素振りか！



いいだろう
私を好きに
させてやる

おおっ！

その代わり
昨日までが
遊びに
思える程
厳しくいくぞ

ア
ア
ア

どうした
おいて
望み通り
やっつて
うのにと
混浴して

なんなら
身体を
洗わせて
いっぞも

動ければ
話だけの

筋肉痛

あ...げ...

...

覚悟してろ！
必ずお前を
僕のものに
してやるからなあ

ハッ
それは
楽しみだ

見事特訓に
耐えきれる
ようなら
いくらでも
奉仕してやろう

一ヶ月後

今日は特に
汗をかいたから
念入りにな

さあ
いつものを頼むぞ

はいはい……

だん：
引き締まって
きたな……

そりゃ毎日
嫌と言うほど
シゴかれてる
からな

後悔してるか
コロナ
ん？

……
なにをだ
……？

うかつな約束を
したせいと
最強剣士と
称されるお前が
娼婦の真似事
なってる羽目
にする

さぞかし
屈辱だろう
クッククク

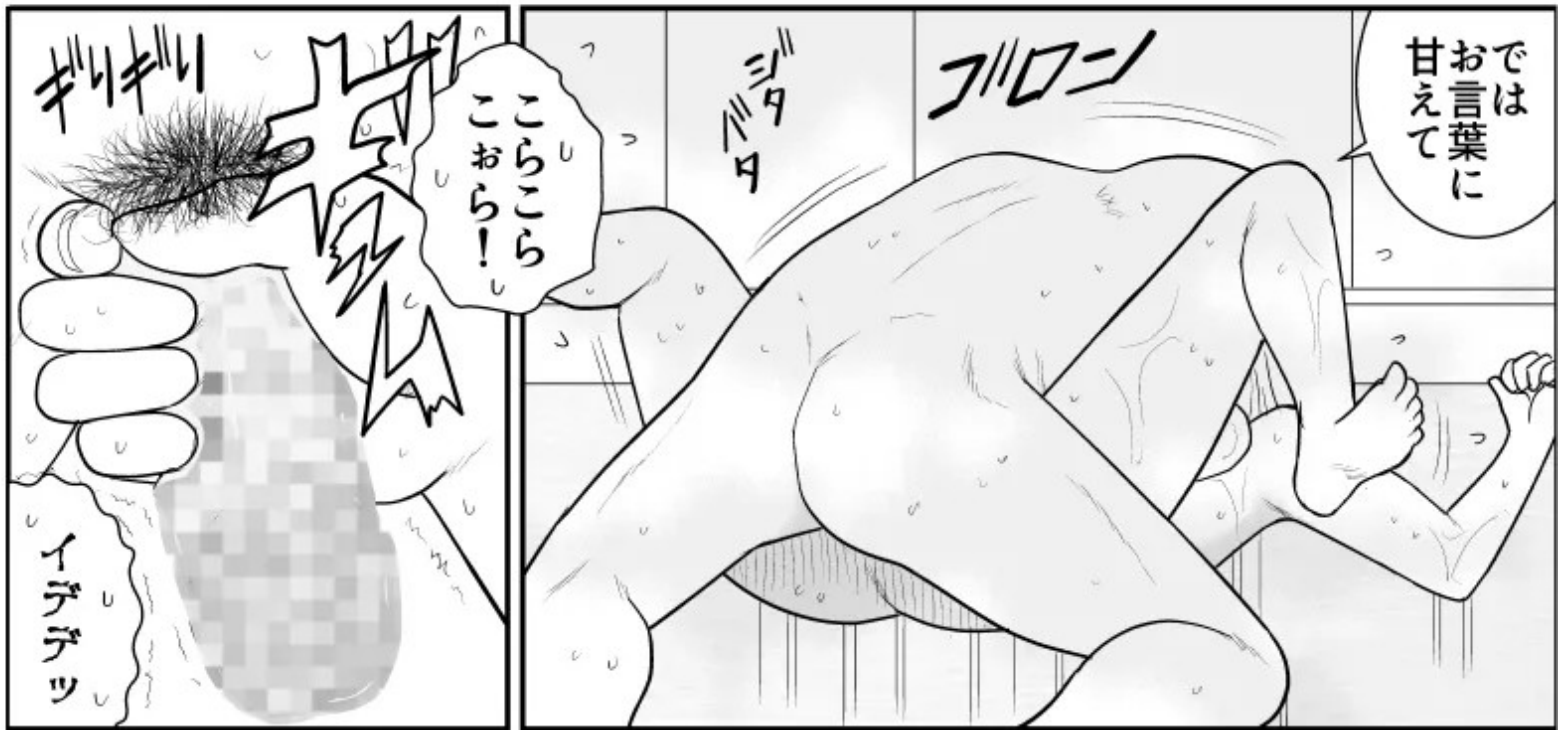
誤解するなよ
小僧

ズキキキ……

確かに腹立たしい部分もあるが正直感心してるのも事実だ

貴族のドラ息子がここまで頑張るとは思ってたんでな

侮った詫びも兼ねてキツチリ褒美をくれてやるさ♡



最後まででは
ダメだと
何度言わせる

イデデ…
くそぅ…

ほれ
いつも通り
手でして
やるから

なら口も
吸わせて
くれ

あゝ？

チム…

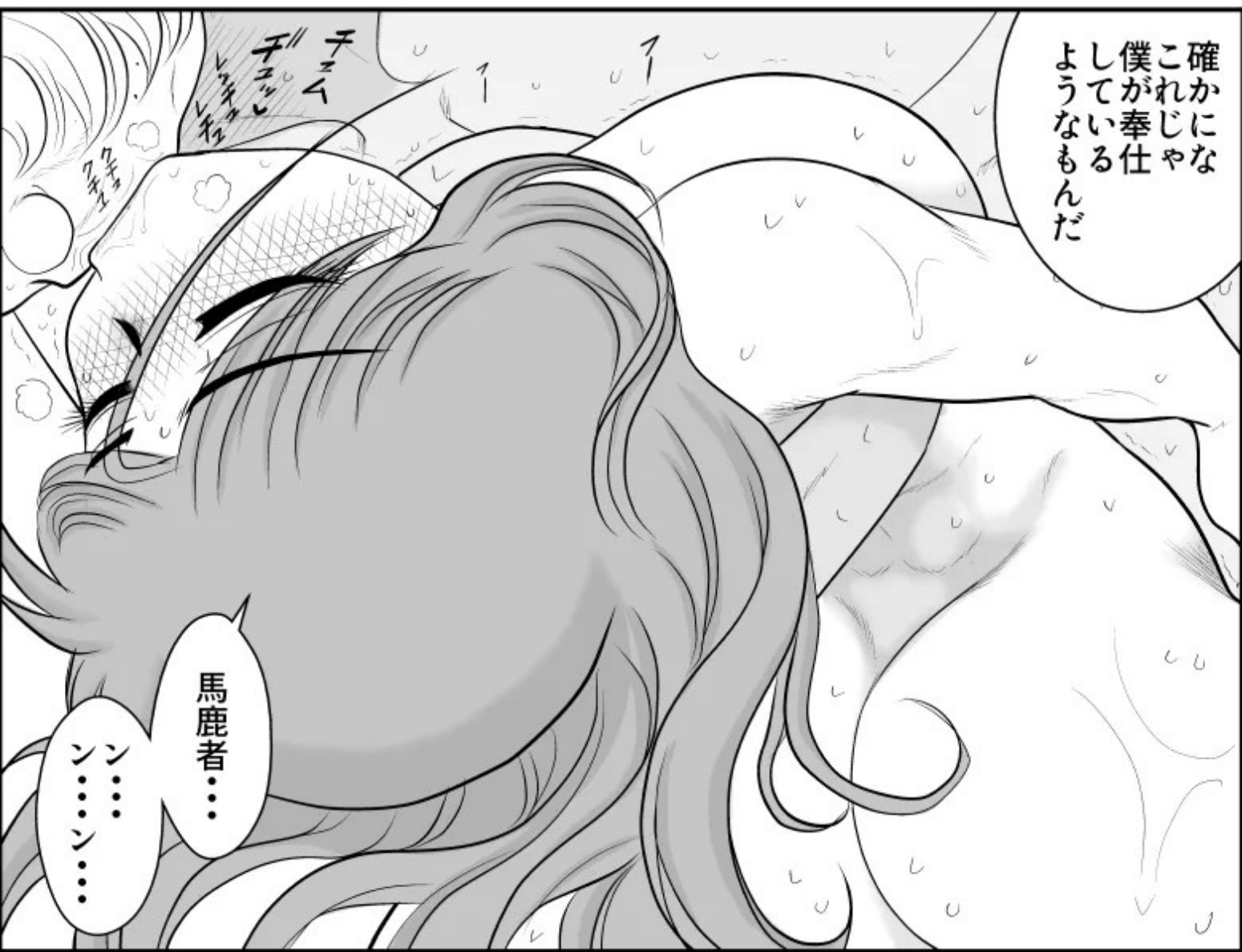
っけあがりおって…
少々甘い顔しすぎたか…？

ま
度がすぎる
ようなら
シメ直すか…

チム
チム



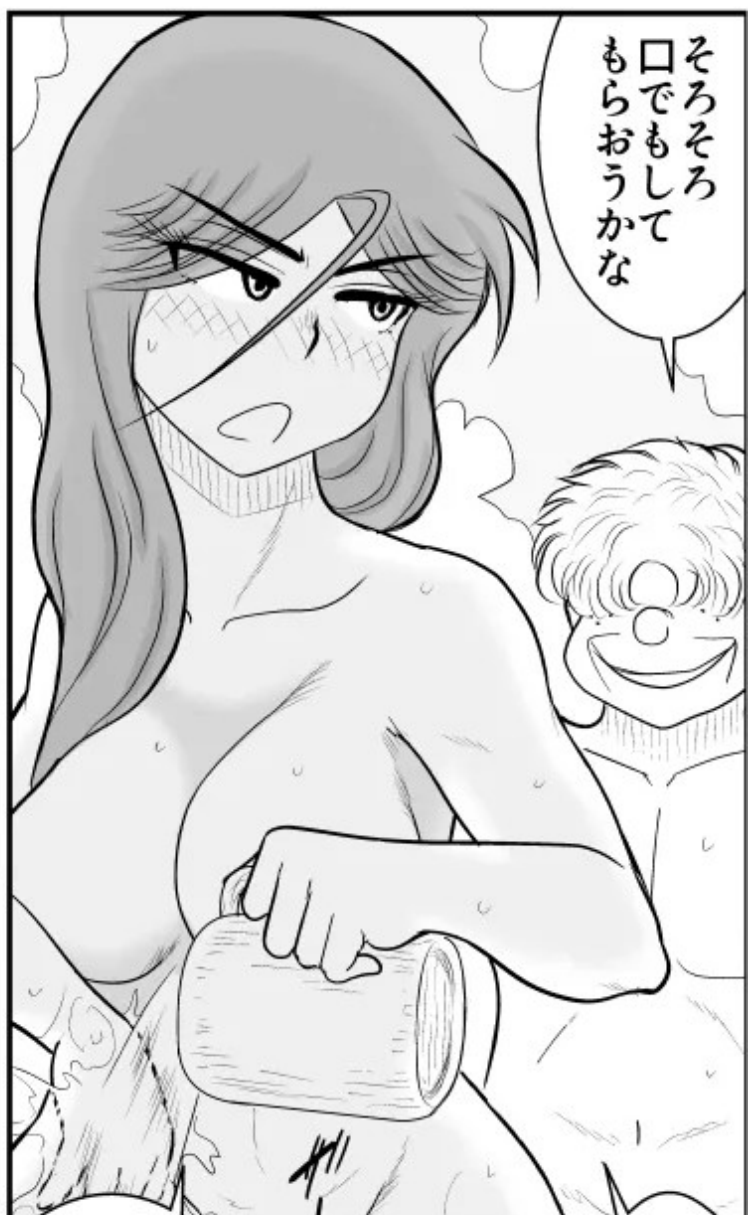
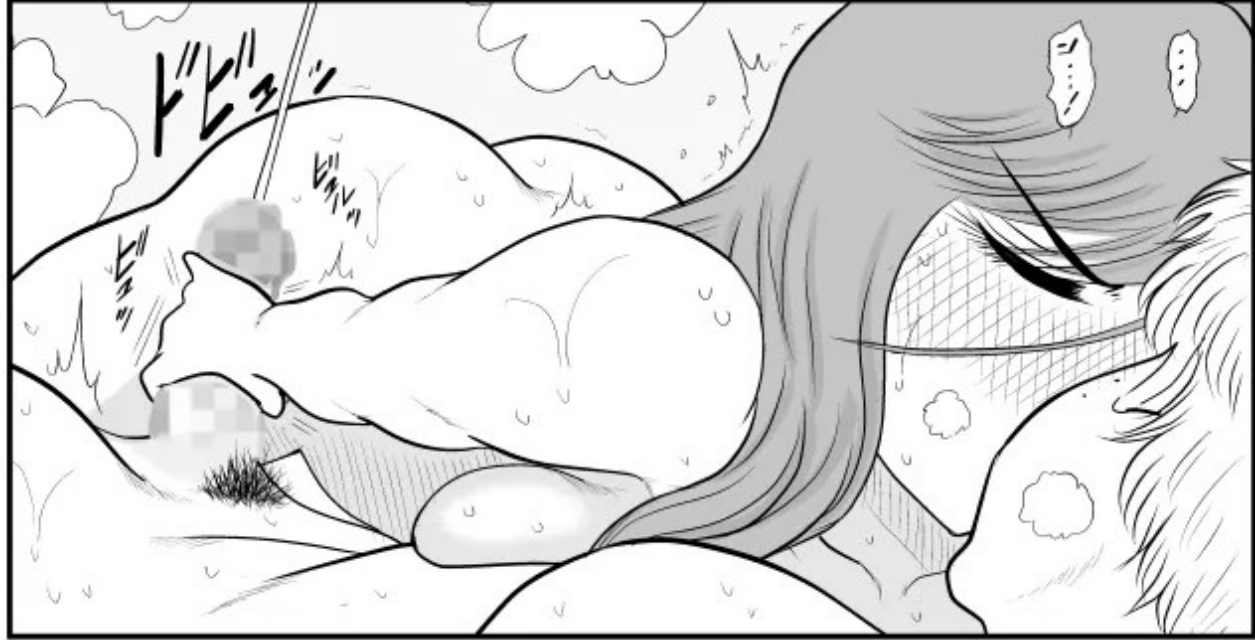
あゝ…
そこまで
そしていい
とほいい
言ってる
んだが…



確かに
これに
僕が奉仕
しよう
なもんだ

馬鹿者…

ん
ん
ん
ん
ん



口の聞きかた
気をつけるぞ
シメるぞ

おお
怖い
怖い

申し訳
ありません
師匠殿
どうか
不肖の弟子に
褒美を

10千10千

ったく...

ハム...



お前もかげんか
いめんか
諦めんか
人がここま
のしにやってる

師匠
抱かせろよ
い
か
げん

貴様のほう
限界なんじゃ
ないのか？
こうして毎晩
イジられながら

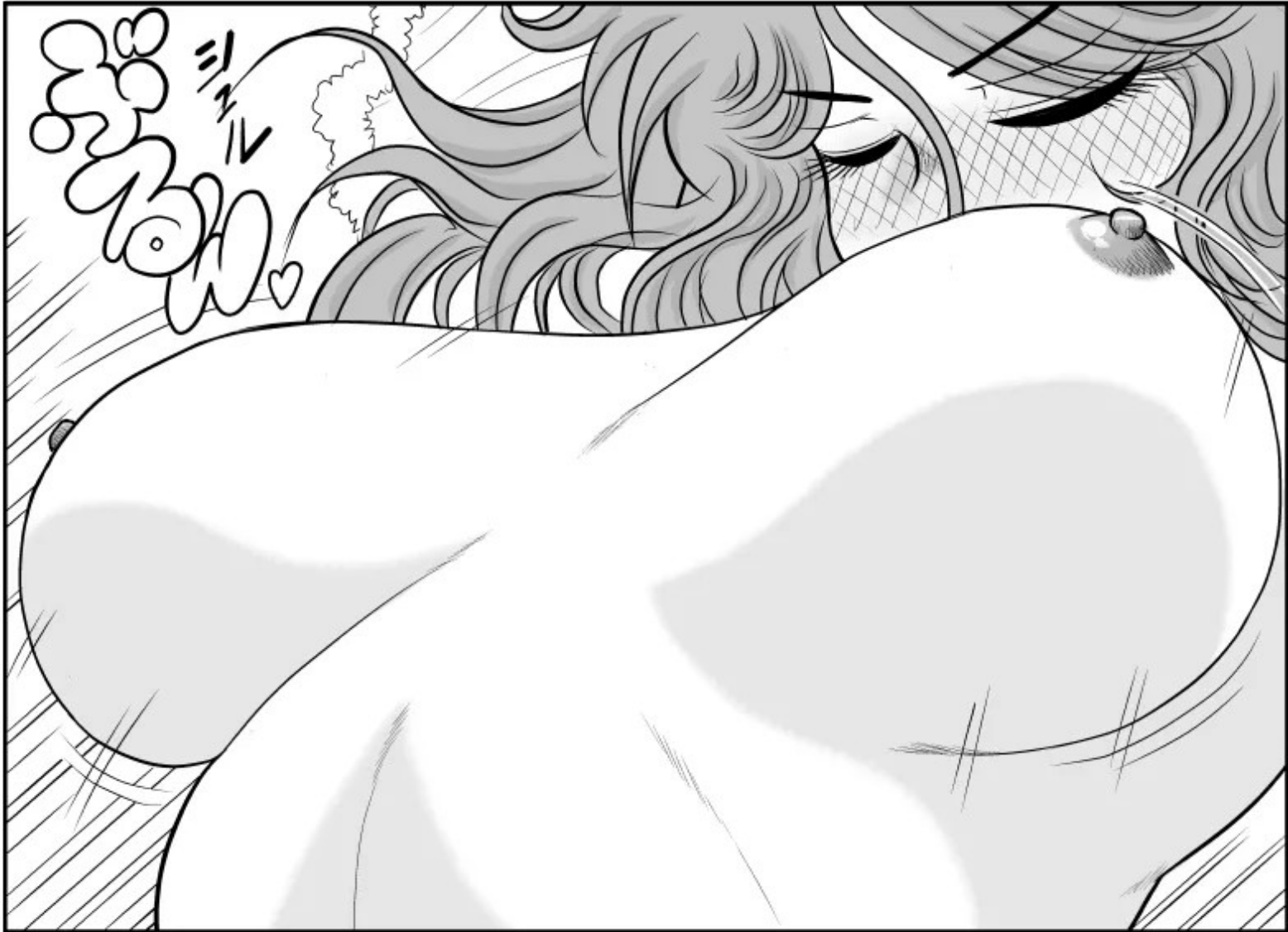
一度も
イカせてもら
わないのだから

グッチ
グッチ

チャ
チャ

グッチ
グッチ

チャ...



おほお
おはよう



おはよう
ございます

その様子だと
目的達成
されたようで



いや
堪能した

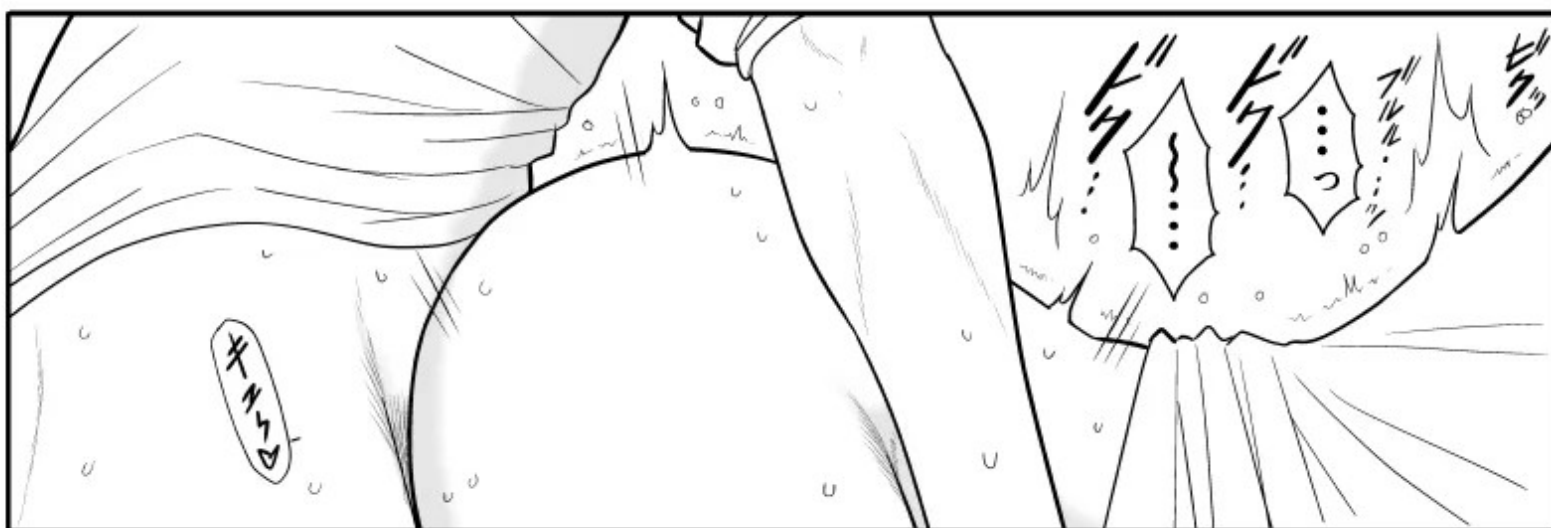
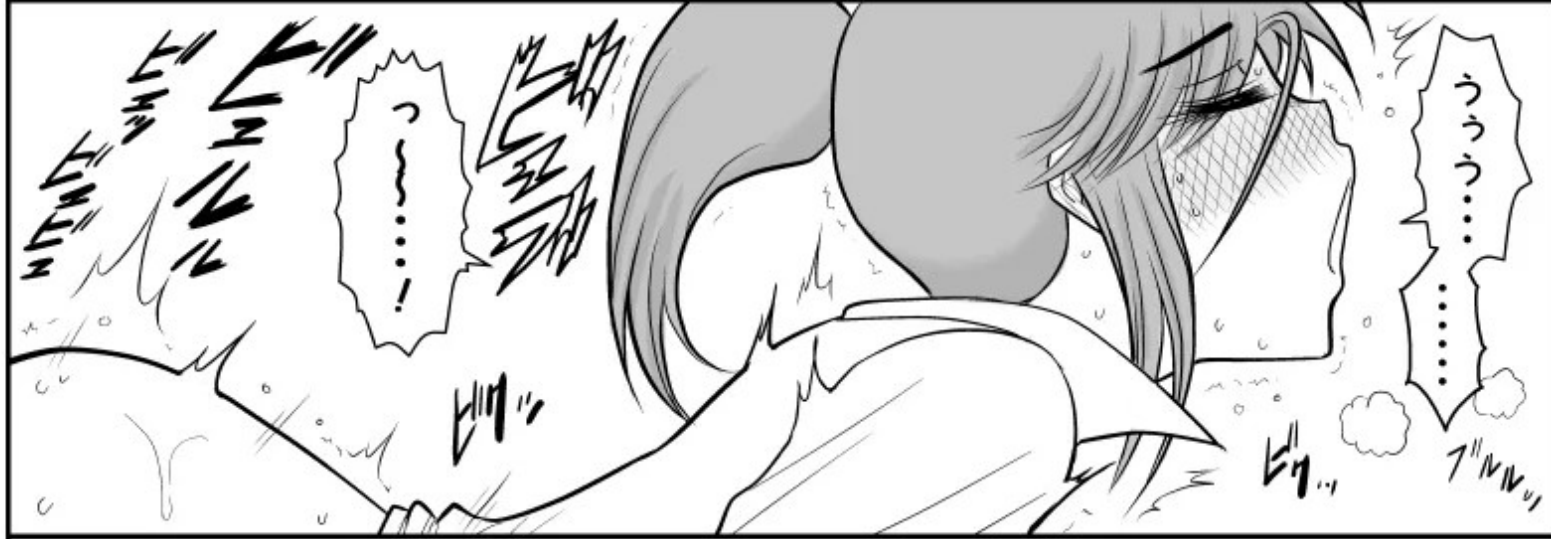
手間
かけたぶん
達成感が
たまらな

失神
しなけれ
ば
もつと責
め
やっ
たん
だ
が



ま
言質は
とつた
から
僕
の女
だ
い
つ
は





訓練後のものも
一発もないな
悪くないもの
妙に一物だし
元気がない

男子は
疲れると...
そうなる...
らしい...

さすが師匠
博識だな(笑)

馬鹿鹿者...

約束は
約束だから
四の五の言わん

望み通り
好きにするが
いいさ

けど
あくまで
契約して
いるから
間だけ
だからな

はいはい

……なにか
言いたそう
だな……おい



いや貴様
チヨロすぎて
今までよく
無事で
いられたなと

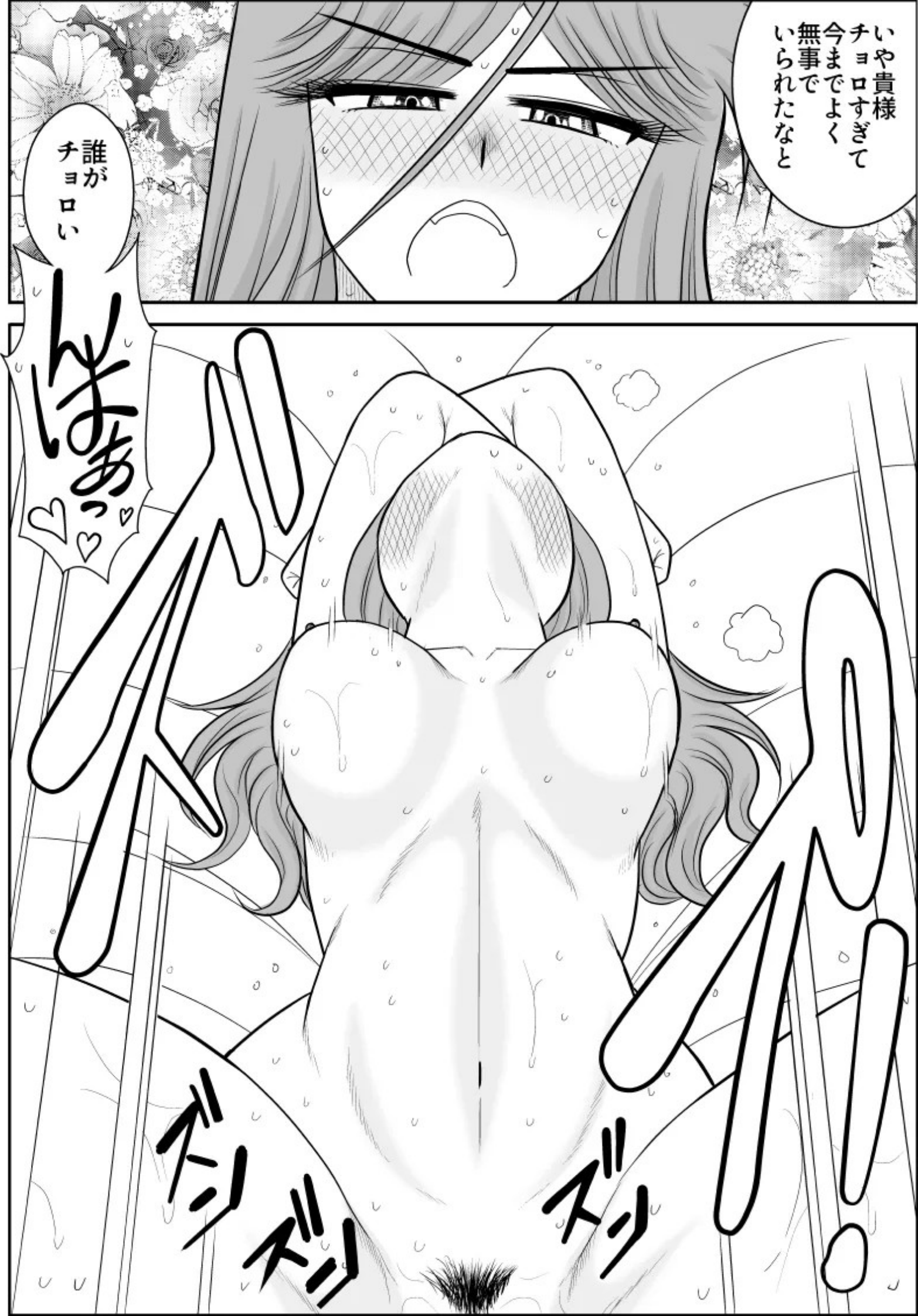
誰が
チヨロい

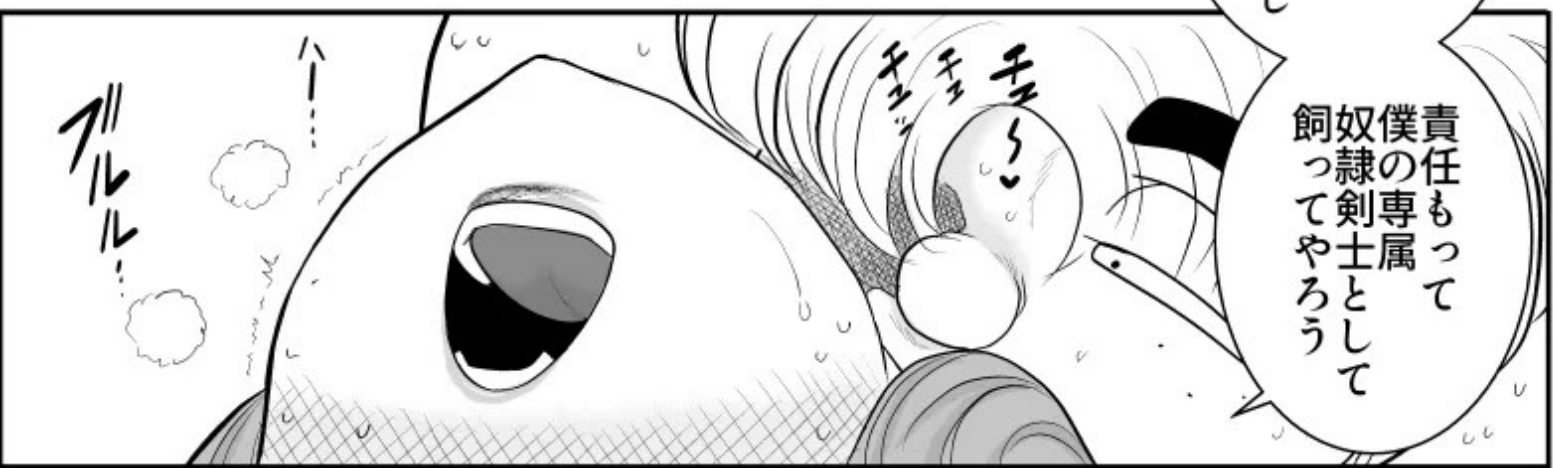
んはあっ♡♡

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

!!!

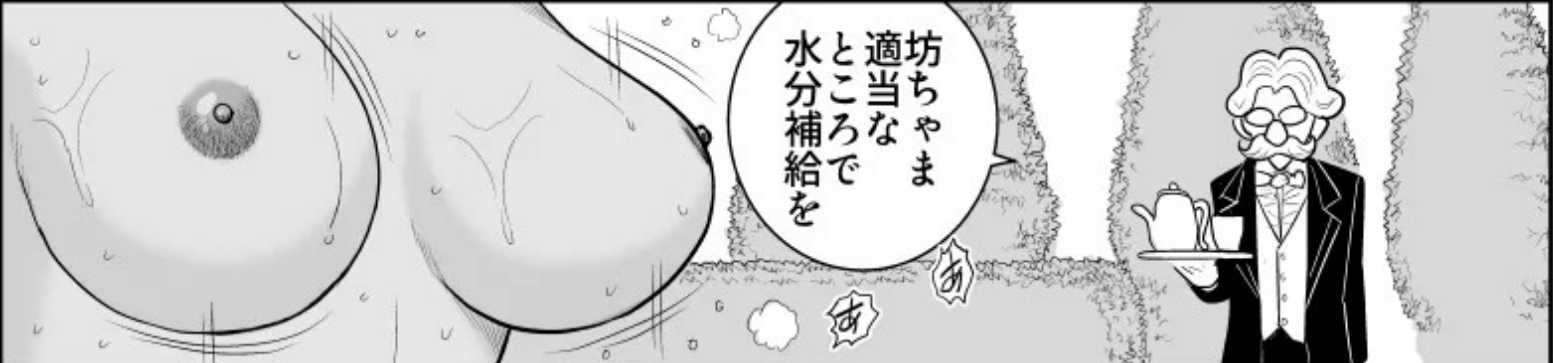






敷地内だ
誰もいない
さっさとしろ





坊ちやま
適当な
ところで
水分補給を



どうだ
お前もこの女
かわってみるか

は？

とぼけるな
若い頃は
相当でたぞ
遊んでるぞ
聞い



お恥ずかしいので
昔の話です
ご容赦を

別に
責めちやおらん
もう勃たないとか
ないよな？



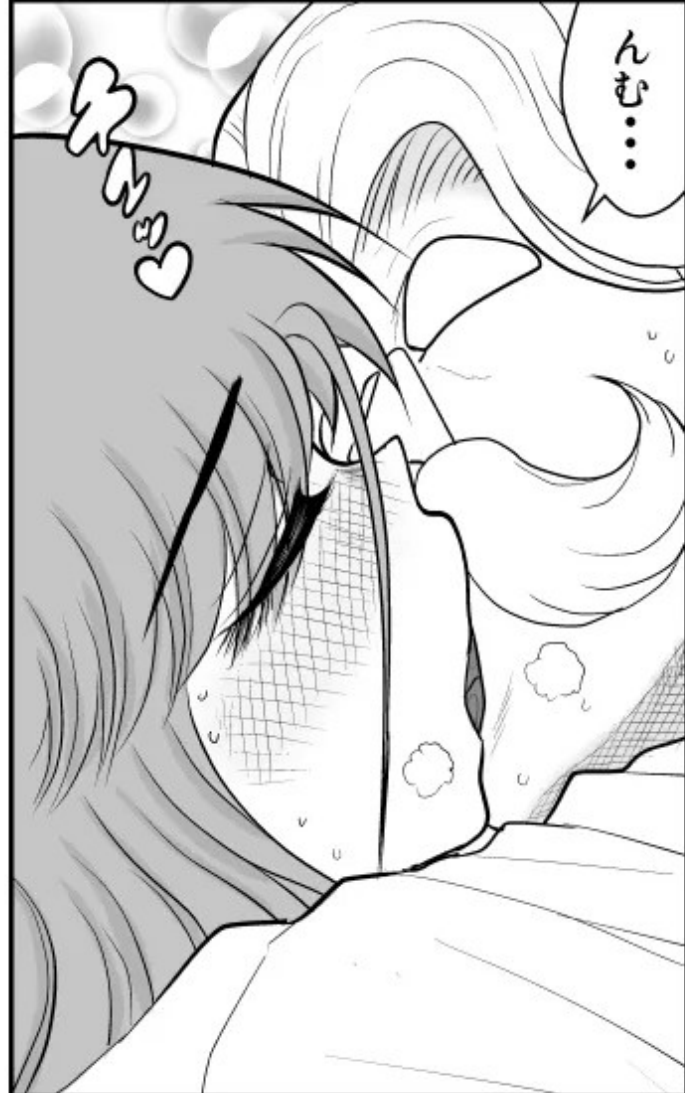
こころに
調りにお
のりおって

いやいや
ハッハッハ



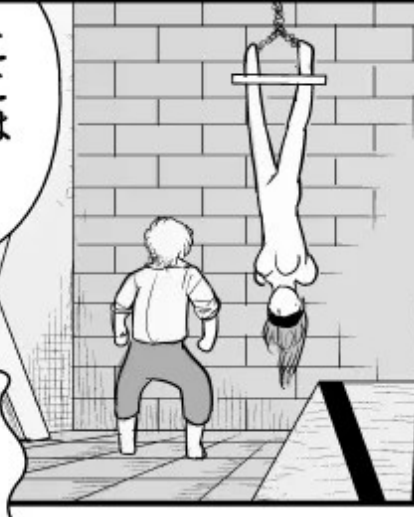
戻ったか
どうだったか...

ガクッ



あれで
意返し
したつ
もりか
あん？

ここは
僕自慢の
調教部屋だ



二度と
なめた
態度
とれな
いよう
骨の髄
まで
快楽を
叩き
こんで
やる

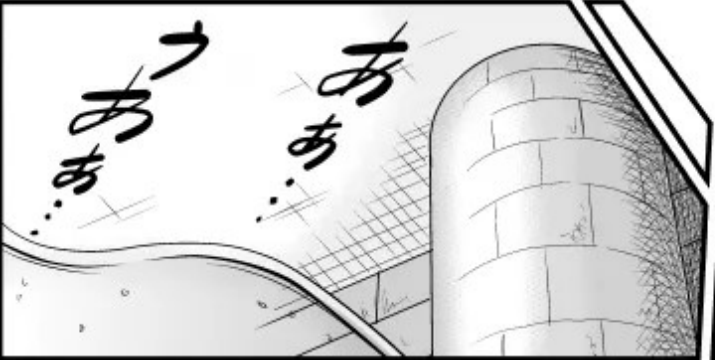
あいたた...

キシ...

いや真面目に
上手かったぞ

多少溜飲は
下がったけど
早まったか...?

やかましいっ！



あ
あ

本来なら
簡単に倒せる
下等生物に
抱かれる
気分はどうだ
ククク...

ん...



ん?



ん?

そいつの
食欲は
三日三晩
続く



終わるころに
ただ素直に
なってるか
楽しみだな

ん
あ
あ



ワウ...

十日後





朝か……



クッポ

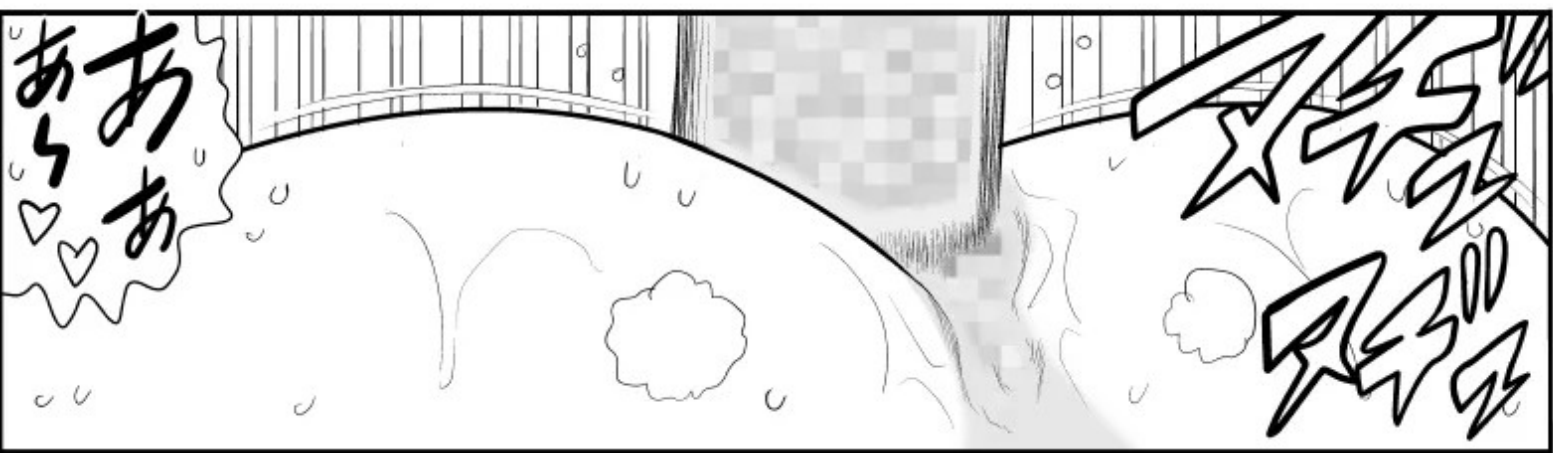


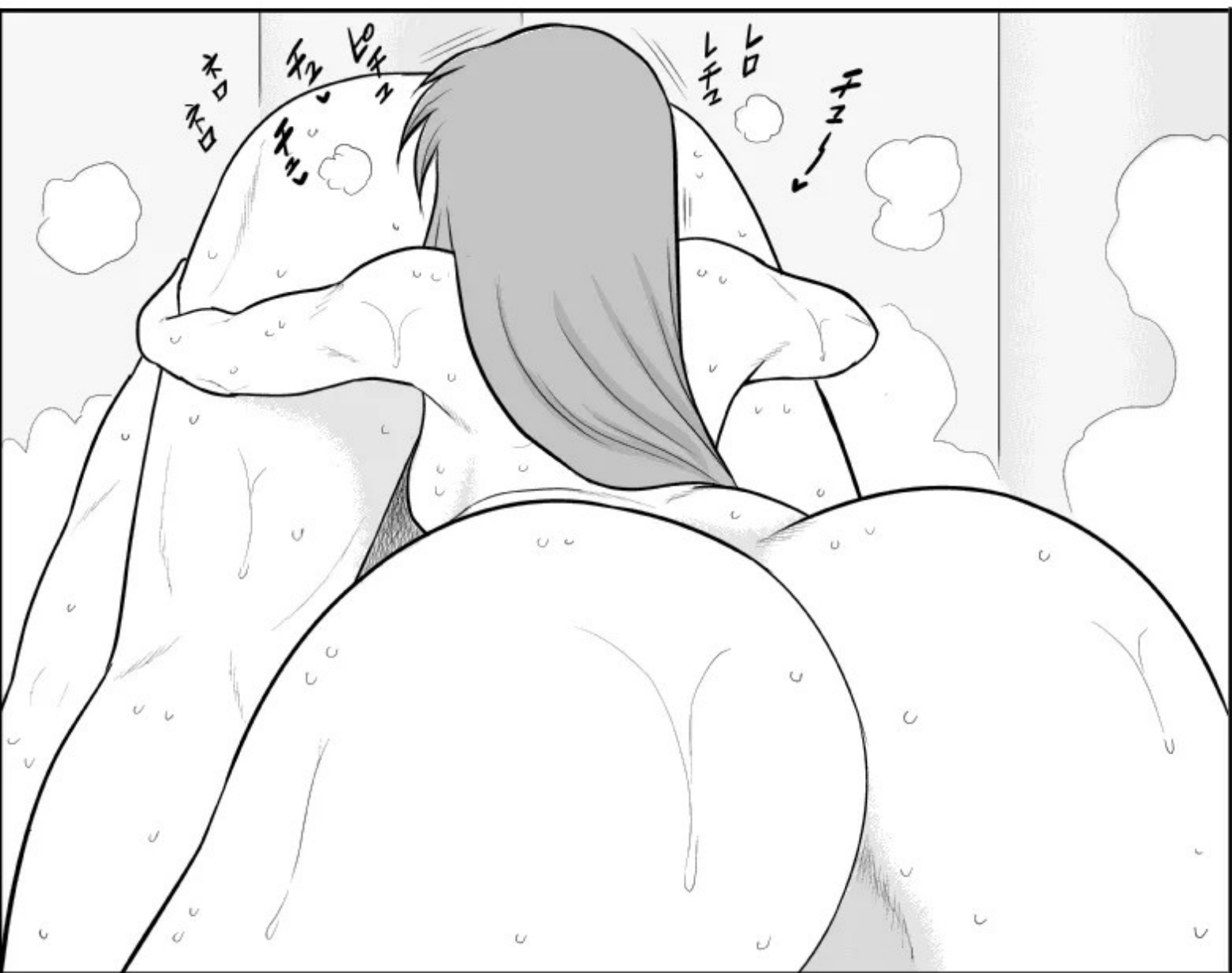
効封手奴だス
印に隷け
首入商じ
輪れたや
もたらなく
か？



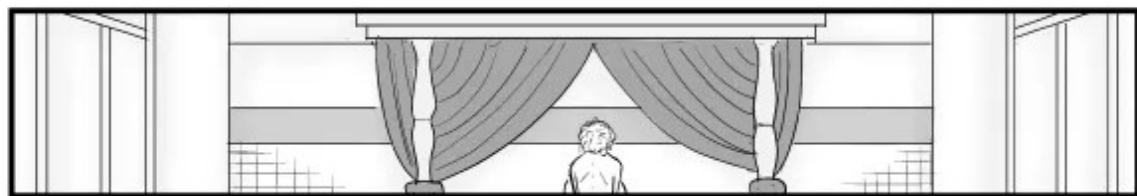
ちやんと
言われた
しやぶつ
起すよう
なつたな
偉いぞコ
ロナ











すぐに飲むな
味わえ

ド...

よし

アハハ

アハハ

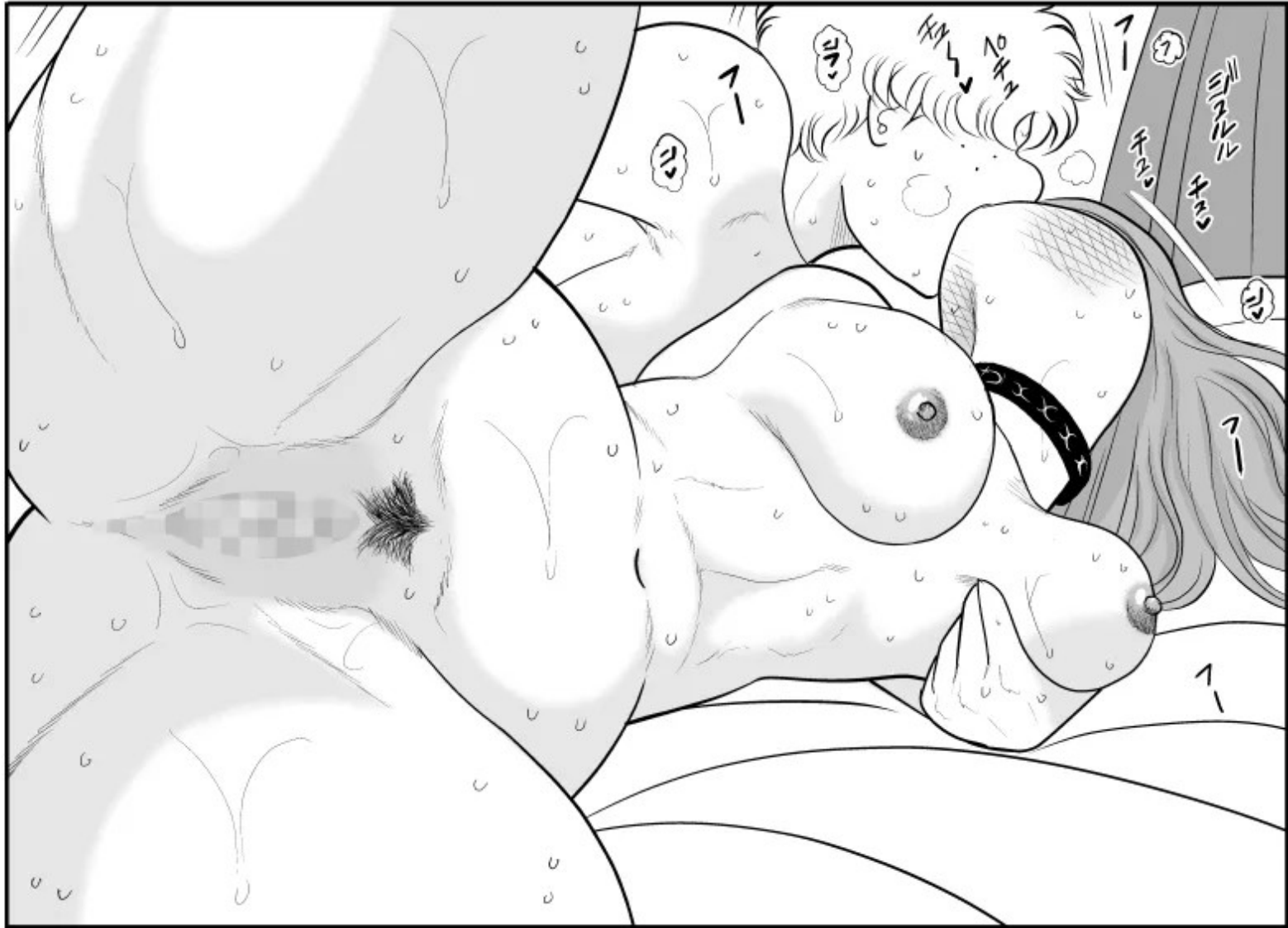
アハハ

アハハ

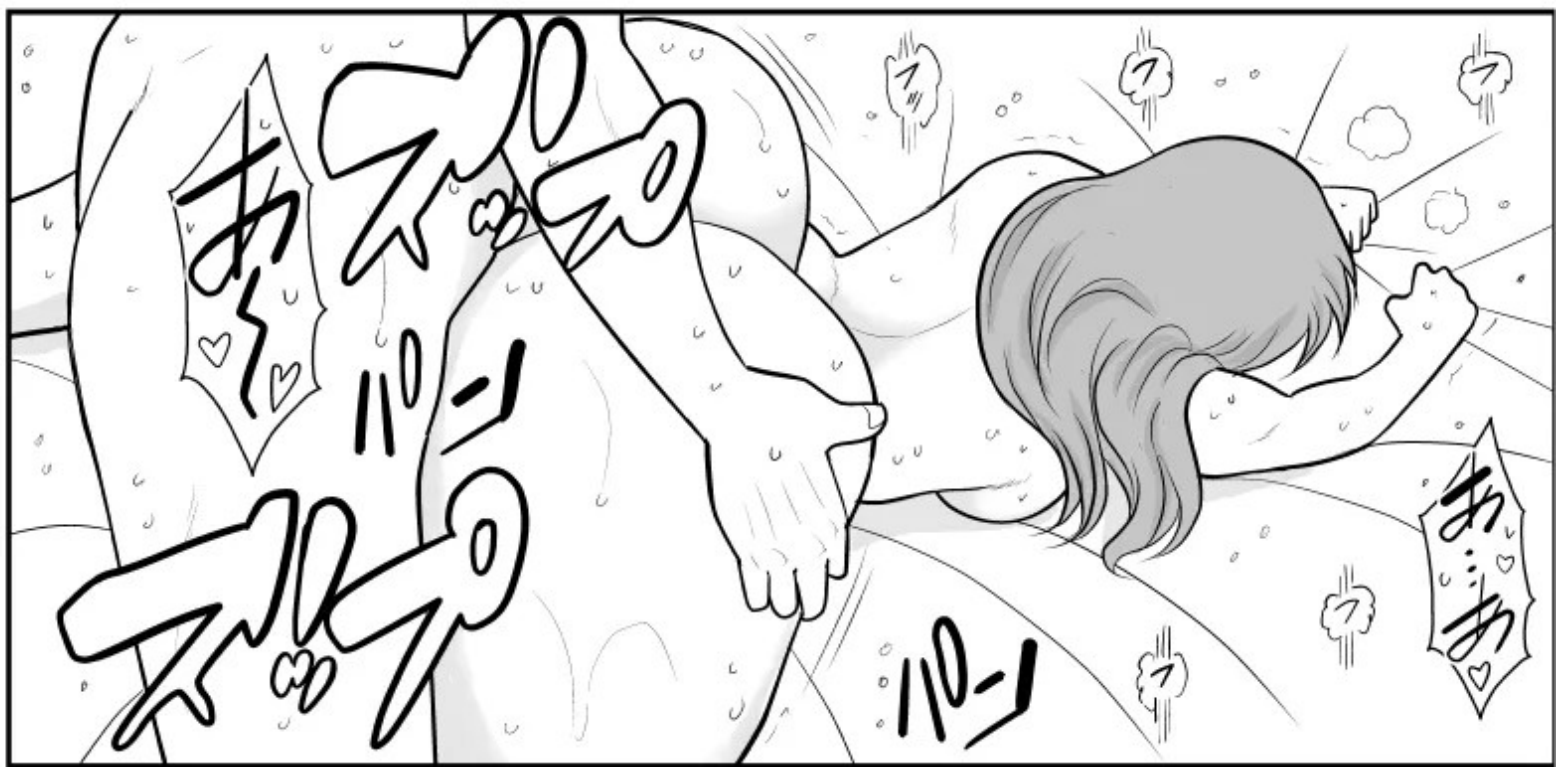
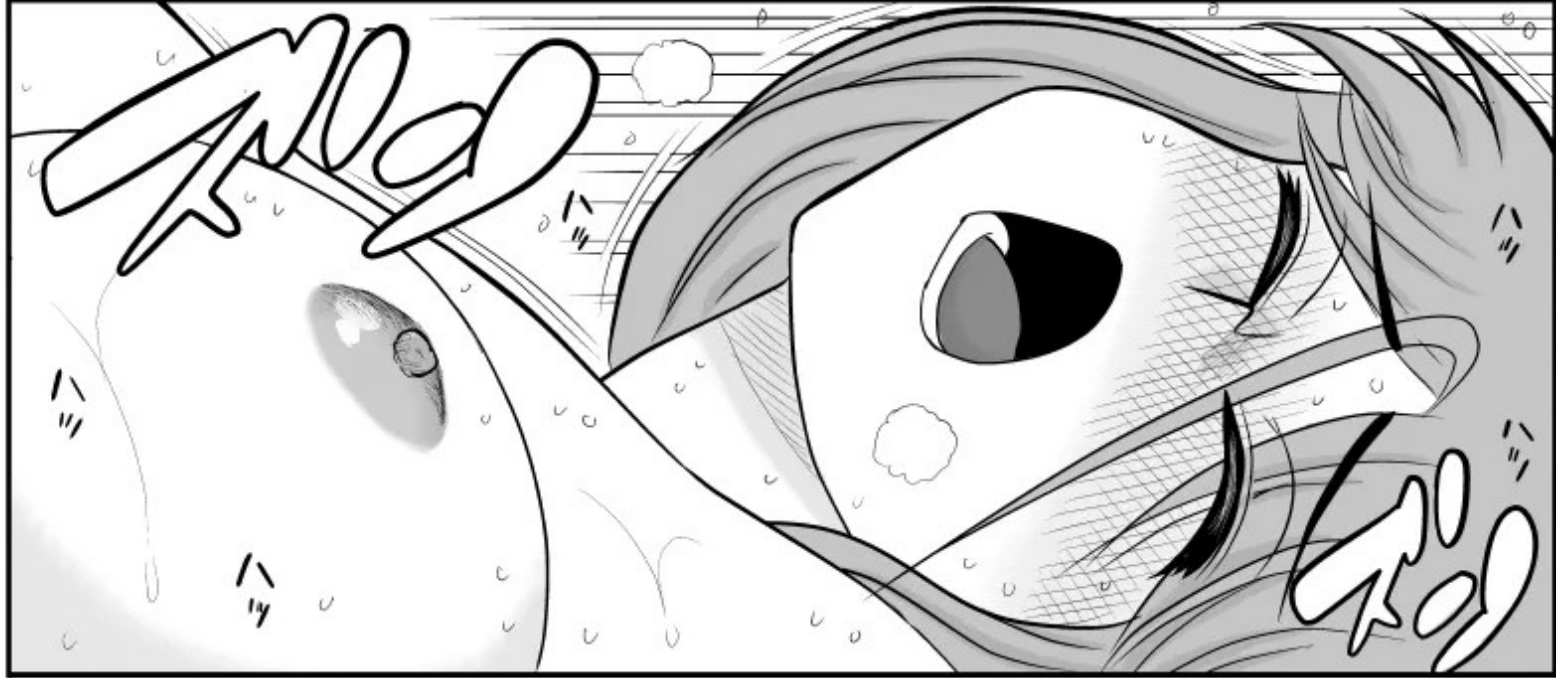
アハハ

アハハ

アハハ









ハッハッハッ

ハッ...

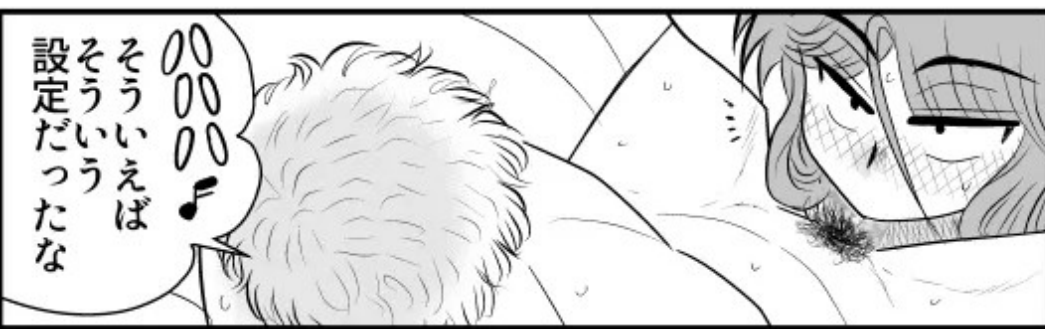
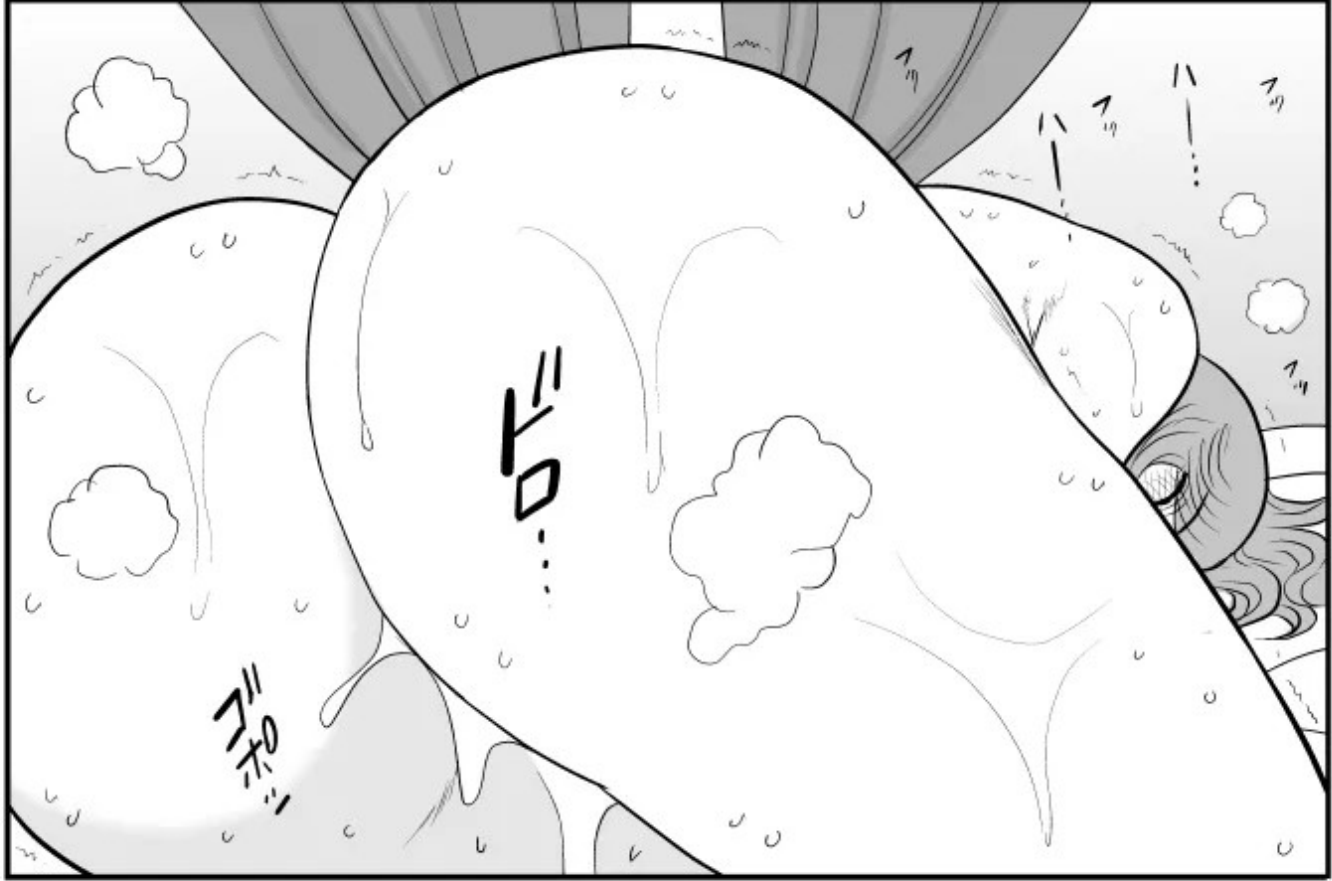
ハッ

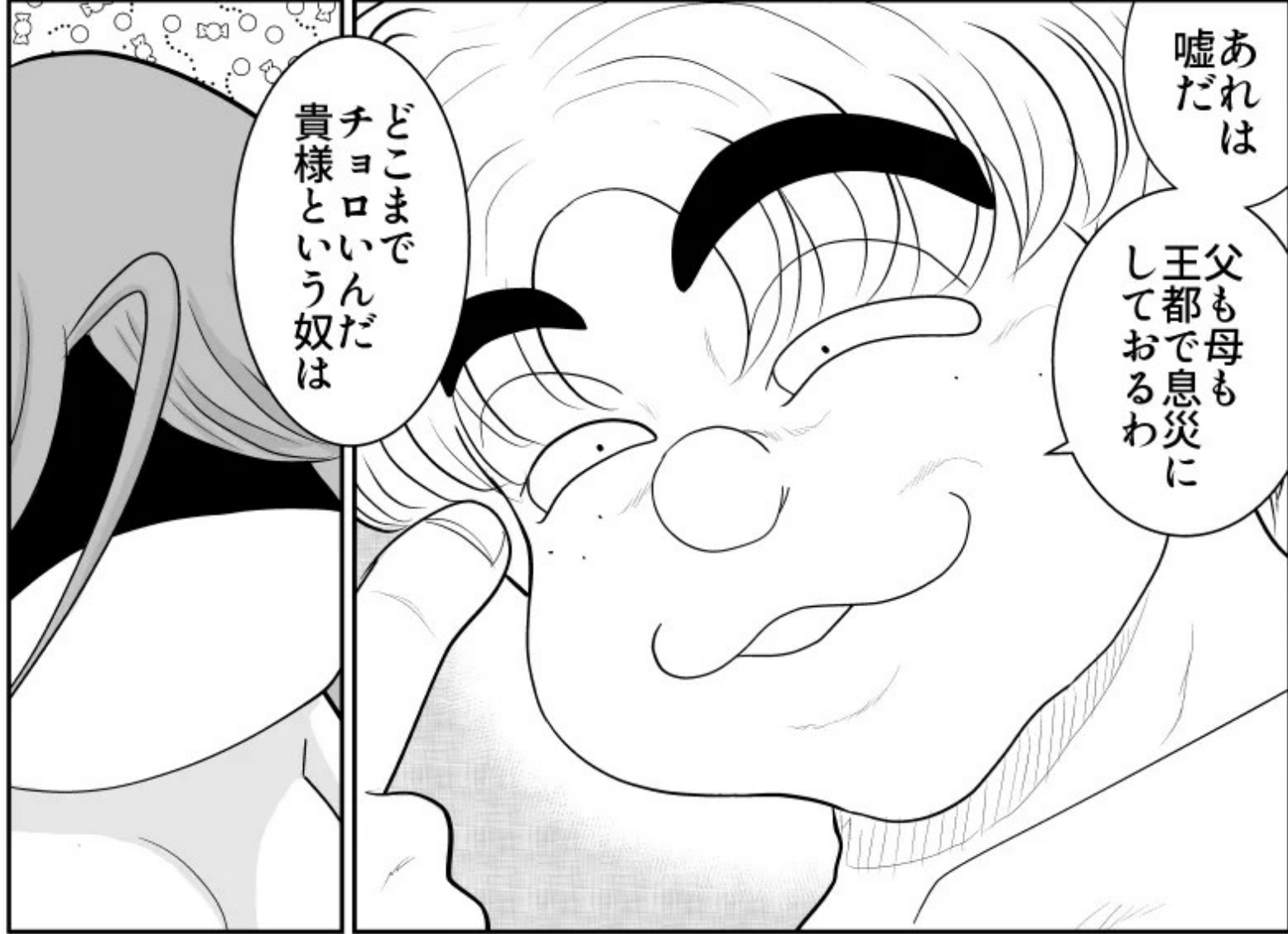
ハッ

ハッハッハッハッ

ハッハッハッ

ハッハッハッ

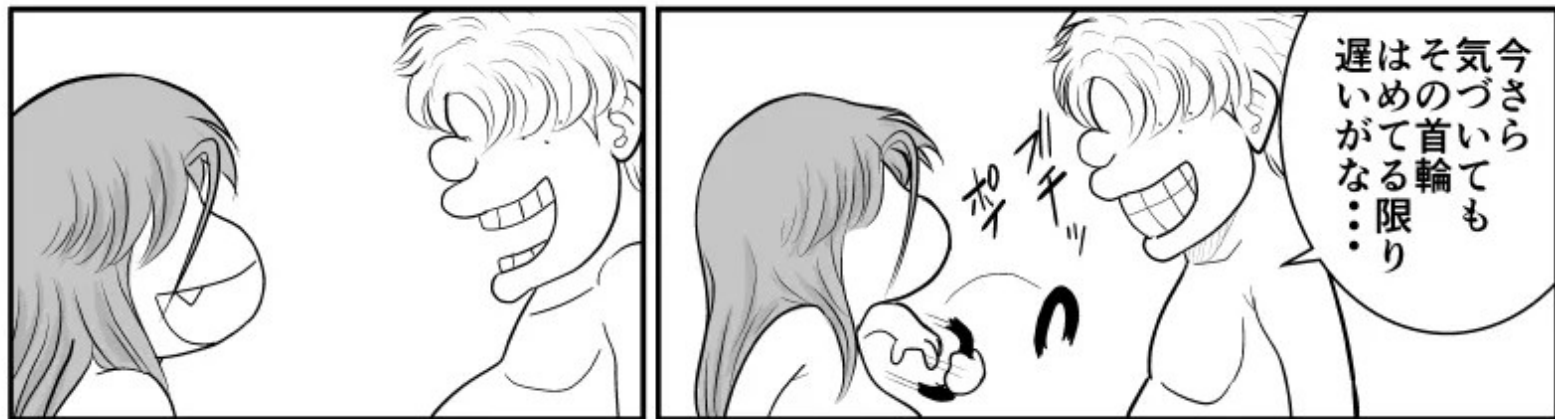




あれは
嘘だ

父も母も
王都で息災に
しておるわ

どこまで
チョロいんだ
貴様という奴は



今さら
気づいても
その首輪
はめてる限り
遅いかな...



だまされ美剣士コロナ総集編



だまされ美剣士コロナ

成年向



だまされ美剣士コロナ2

成年向

だまされ美剣士コロナ3



成年向

4



だまされ
美剣士 **30**

成年向

成年向



だまされ
美剣士

30+5

FAKE庵